

長岡市子育て・育ち“あい”プラン  
策定に関するニーズ調査

報 告 書

令和6年3月  
長岡市教育委員会

- 目次 -

第1章 はじめに.....	1
I. 調査の目的.....	1
II. 本書の構成.....	1
第2章 就学前児童、小学生のいる家庭の保護者に対する調査結果... 2	
I. 調査の概要.....	2
1. 調査対象と調査方法.....	2
2. 配付数、回収数.....	2
3. 結果の見方.....	2
II. 調査結果.....	3
1. 回答者の属性.....	3
2. 家庭の状況.....	4
3. 子育ての状況.....	8
4. 親の就労状況.....	13
5. 父親の子育て・家事.....	25
6. 生活のバランス.....	26
7. 平日の保育・教育事業の状況（就学前児童のみ）.....	29
8. 平日の保育・教育事業の希望（就学前児童のみ）.....	35
9. 土曜日・休日の保育・教育事業の希望（就学前児童のみ）.....	37
10. 地域の子育て支援事業の利用状況（就学前児童のみ）.....	40
11. お子さんが病気の時の対応.....	46
12. お子さんの一時預かり.....	52
13. 放課後過ごす場所.....	60
14. 生活習慣（小学生のみ）.....	68
15. 学習状況（小学生のみ）.....	70
16. 子どもの発達.....	71
17. 子育て支援事業等の認知度、利用.....	73
18. 「こどもの居場所」の利用経験.....	78
19. 子育て環境や支援に対する満足度.....	80
20. 長岡市の子育て支援に対する意見.....	82

### 第3章 市内の中学校、高等学校に通学する中高生に対する調査結果 83

I. 調査の概要.....	83
1. 調査対象及び調査方法 .....	83
2. 配付数、回収数 .....	83
3. 結果の見方 .....	83
II. 調査結果.....	84
1. 回答者の属性 .....	84
2. 日常生活 .....	86
3. 悩みや不安 .....	91
4. 将来への考えや意識 .....	93
5. 家族のお世話 .....	101
6. 自身の状況 .....	107
7. 自由意見 .....	109

### 第4章 考察..... 110

1. はじめに .....	110
2. 「就学前児童、小学生のいる家庭の保護者を対象とした調査」の考察	110
3. 長岡市内の中学校・高等学校に通学する中高生を対象とした調査	116
4. 総括 .....	119

# 第1章 はじめに

## I. 調査の目的

本報告書は、「第3期長岡市子ども・子育て支援事業計画」を検討するために実施した、就学前児童、小学生のいる家庭の保護者を対象にした調査と市内の中学校、高等学校に通学する中高生を対象にした調査の結果をまとめたものです。

就学前児童、小学生のいる家庭の保護者に対する調査は、地域の子育て家庭の生活実態や意識、サービスの利用実態及び今後の利用意向等を把握し、実態に即した目標事業量の設定等を効果的かつ円滑に行うことを目的として実施したものです。

市内の中学校、高等学校に通学する中高生に対する調査は、普段の生活実態や将来に対する考えなどを把握するために実施したものです。

## II. 本書の構成

本書の構成を下表に示します。

図表 I 本書の構成

	内容
第1章	調査の概要
第2章	就学前児童、小学生のいる家庭の保護者に対する調査結果
第3章	市内の中学校、高等学校に通学する中高生に対する調査結果
第4章	考察
資料編	調査票

## 第2章 就学前児童、小学生のいる家庭の保護者に対する調査結果

### I. 調査の概要

#### 1. 調査対象と調査方法

本調査は、就学前児童、小学生のいる家庭の保護者を対象に実施しました。

図表 2 調査対象及び配布・回収方法

調査対象		配付方法	回収方法
就学前児童 の保護者	0～2歳児	郵送による配付	郵送での回収及びWEB回答方式
	保育園等の就園児童	園経由での配付	園経由での回収及びWEB回答方式
小学生の保護者		学校経由での配付	学校経由での回収及びWEB回答方式

図表 3 調査期間

調査期間	令和6年1月9日～令和6年1月23日 (2月14日までに市役所に到着した回答票を集計対象としました)
------	---

#### 2. 配付数、回収数

図表 4 配付数、回収数

調査対象	配付数	回収数	有効 回収数	有効 回収率	(参考：回収方法別)			
					郵送回収		WEB回答	
					回収数	回収率	回収数	回収率
就学前児童 の保護者	1,499	1,147	1,147	76.5%	912	60.8%	235	15.7%
小学生 の保護者	1,438	1,228	1,223	85.0%	947	65.9%	281	19.5%

#### 3. 結果の見方

- ・ グラフ・表中の「n」は構成比算出の母数を示しています。
- ・ 比率はすべて百分率(%)で表し、小数点第2位を四捨五入して算出しています。そのため、合計が100.0%にならない場合もあります。
- ・ 複数回答の場合、回答の合計比率が100.0%となりません。
- ・ 質問文、選択肢の見出しを簡略化してある場合があります。
- ・ 比較できる質問は平成30年度調査(有効回収数:未就学児童967票、小学生1,427票)の結果と比較をしています。
- ・ 本報告書では「両親が同居する世帯」を「ふたり親世帯」としています。

## Ⅱ. 調査結果

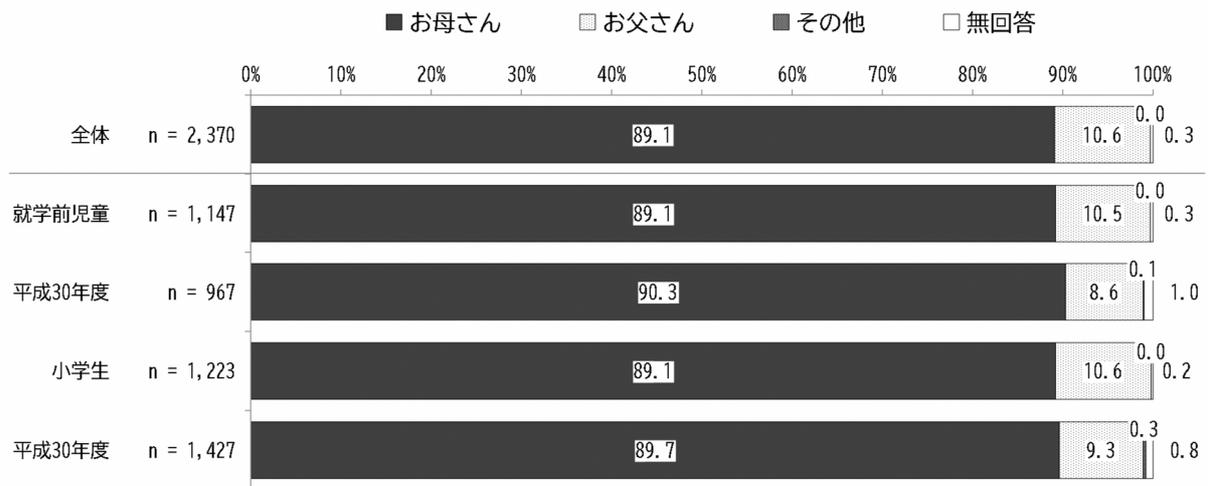
### 1. 回答者の属性

#### (1) 回答者の続柄

ご回答いただく方はどなたですか。続柄は宛名のお子さんからみた関係です。(○は1つ)

➤ 「お母さん」が89.1%、「お父さん」が10.6%となっています。

図表 5 回答者の続柄

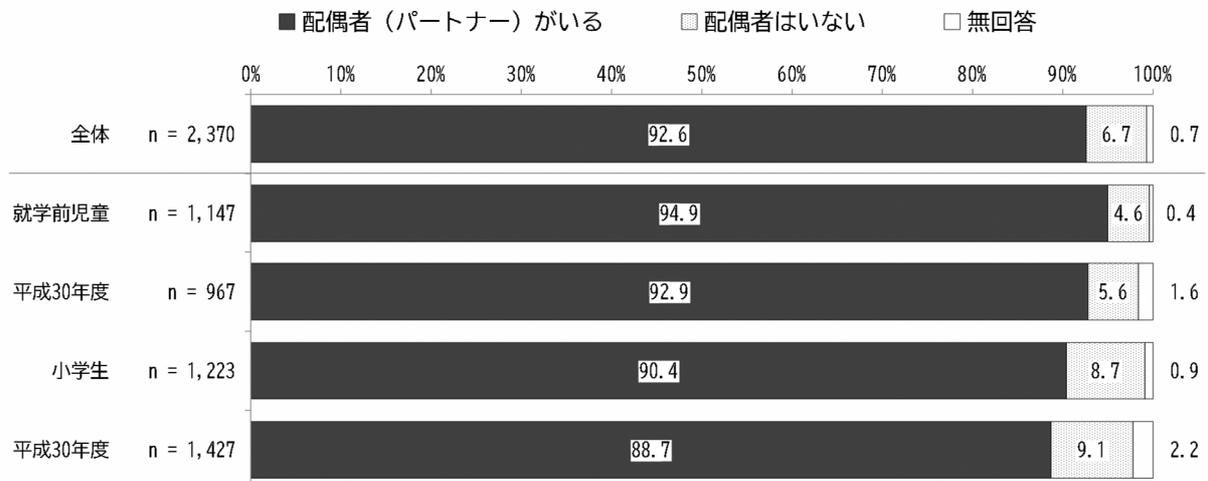


#### (2) 配偶者の有無

配偶関係についてお答えください。(○は1つ)

➤ 「配偶者（パートナー）がいる」が92.6%、「配偶者はいない」が6.7%となっています。

図表 6 配偶者の有無



## 2. 家庭の状況

### (1) 世帯類型

宛名のお子さんと同居している方はどなたですか。(〇はいくつでも)

図表 7 世帯類型



※上記の質問への回答から設定した世帯類型です。「無回答」がいるため、前頁の結果と一致しません。

### (2) 居住地域

現在宛名のお子さんが住んでいる地域はどちらですか。(〇は1つ)

図表 8 居住地域

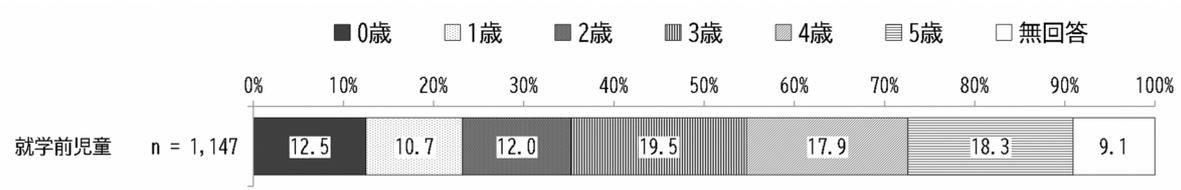
	調査数	長岡地域 (川東地域)	長岡地域 (川西地域)	中之島地域	越路地域	三島地域	山古志地域	小国地域	和島地域	寺泊地域	栃尾地域	与板地域	川口地域	長岡市外	無回答
全体	2,370	48.0	26.4	3.8	4.2	3.1	0.0	1.5	1.8	2.2	4.4	2.0	1.5	0.1	1.0
就学前児童	1,147	46.6	27.6	3.8	5.8	2.9	0.1	1.6	1.7	1.5	3.1	2.6	1.3	0.3	1.1
平成30年度	967	72.9		4.6	5.6	3.0	0.3	1.2	1.7	2.0	4.6	2.0	1.1	-	0.0
小学生	1,223	49.3	25.2	3.7	2.8	3.3	0.0	1.5	1.8	2.9	5.6	1.5	1.7	0.0	0.8
平成30年度	1,427	76.0		3.2	3.2	1.8	0.4	1.5	1.5	2.6	6.0	1.3	1.8	-	0.6

※平成30年度調査では川東地域、川西地域を「長岡地域」にまとめています。

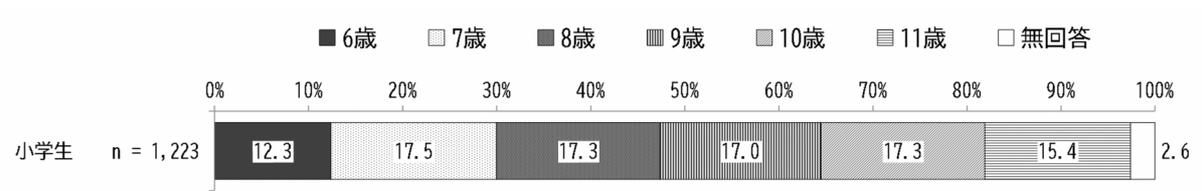
(3) 宛名の子の年齢.....

宛名のお子さんの生まれた年と月をご記入ください。

図表 9 宛名の子の年齢(就学前児童)



図表 10 宛名の子の年齢(小学生)

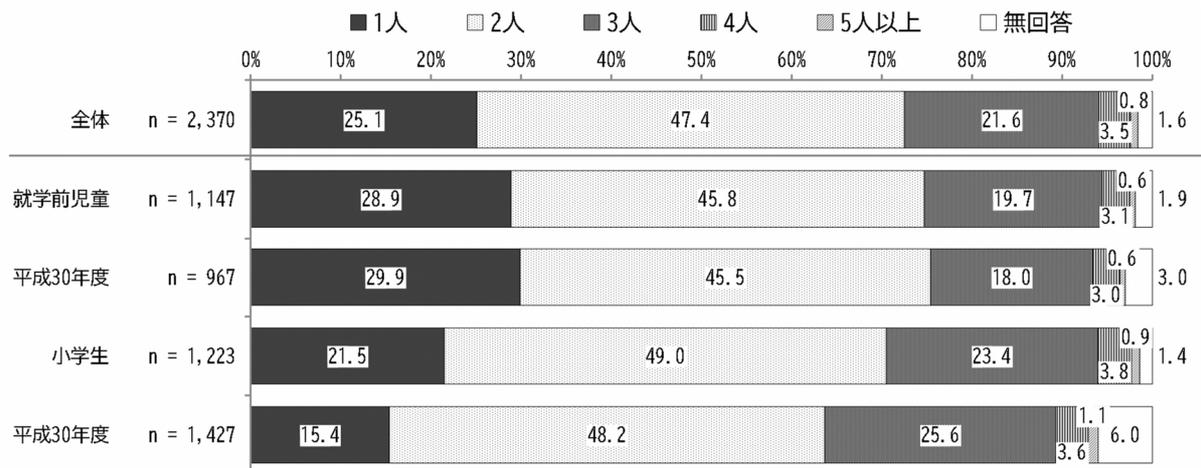


(4) 家族内の18歳以下の子ども的人数

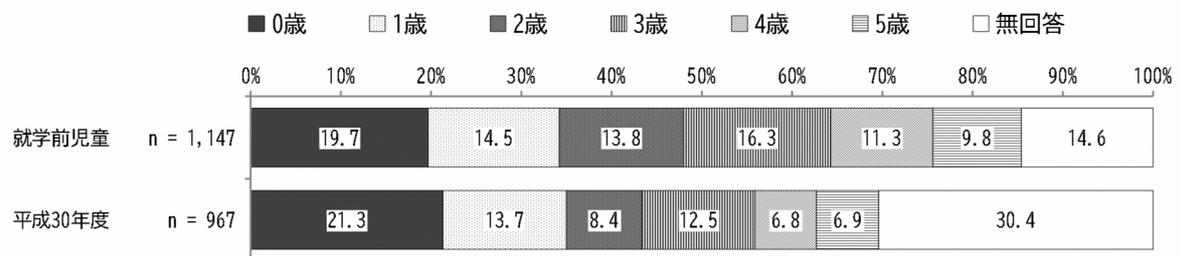
宛名のお子さん本人を含めて、ご家族に18歳以下のお子さんは何人いますか。そのうち、一番年下のお子さんの生まれた年と月をご記入ください。

- 「2人」が47.4%で最も多く、次いで「1人」が25.1%、「3人」が21.6%となっています。
- 就学前児童は、平成30年度とほぼ同様の傾向です。
- 小学生は、平成30年度に比べて「1人」が上昇しています。

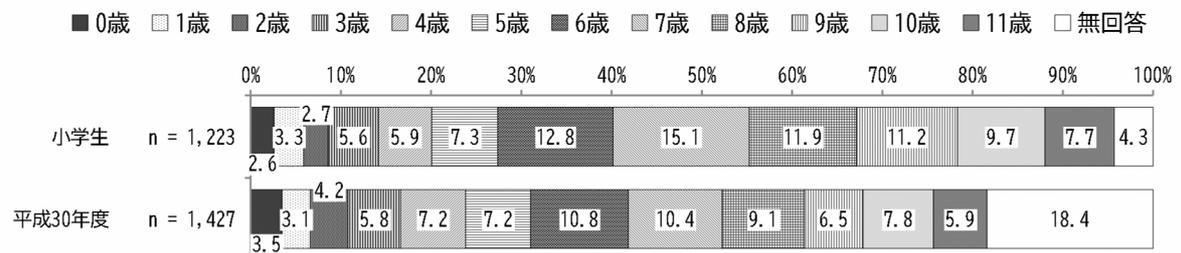
図表 11 家族内の18歳以下の子ども的人数



図表 12 末子の年齢(就学前児童)



図表 13 末子の年齢(小学生)



※平成30年度調査結果は、末子が、就学前児童で6歳以上、小学生が12歳以上となっている回答を「無回答」に再整理しています。

(5) 同居家族.....

宛名のお子さんと同居している方はどなたですか。続柄は宛名のお子さんからみた関係でお答えください。(〇はいくつでも)

- 「お父さん」が93.7%、「お母さん」が99.5%と高くなっています。
- 就学前児童、小学生ともに、平成30年度に比べて「お父さん」「お母さん」が上昇し、「祖父」「祖母」が低下しています。

図表 14 同居家族

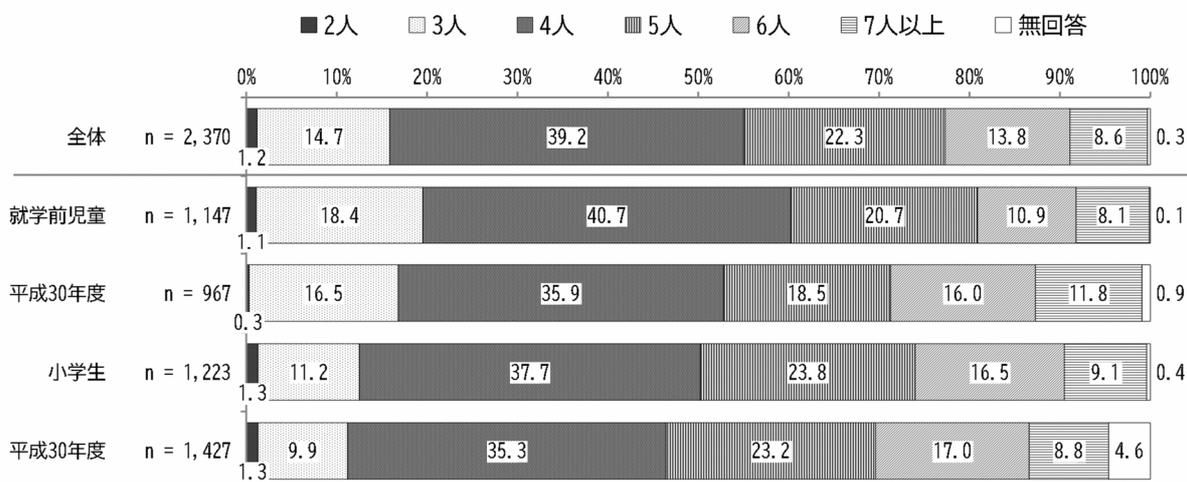
	調査数	お父さん	お母さん	祖父	祖母	兄弟姉妹	その他	無回答
全体	2,370	93.7	99.5	20.3	27.2	76.0	6.1	0.1
就学前児童	1,147	96.0	99.8	18.0	24.1	70.6	5.9	0.0
平成30年度	967	92.1	93.7	28.1	34.5	-	15.7	1.3
小学生	1,223	91.6	99.1	22.5	30.1	81.0	6.2	0.2
平成30年度	1,427	89.1	94.4	28.9	35.7	-	13.2	0.8

※平成30年度調査では「その他」に兄弟姉妹以外の注意書きがありましたが、兄弟姉妹を踏めた回答をしていたと考えられます。「兄弟姉妹」の選択肢は、令和5年度調査で新たに設定しました。

宛名のお子さんも含み、同居しているご家族は全員で何人ですか。

- 「4人」が39.2%で最も多く、次いで「5人」が22.3%、「3人」が14.7%となっています。
- 就学前児童は、平成30年度に比べて「2人」～「5人」がわずかに上昇し、「6人」「7人以上」が低下しています。
- 小学生は、平成30年度に比べて「3人」～「5人」「7人以上」がわずかに上昇し、「6人」が低下しています。

図表 15 同居家族の人数



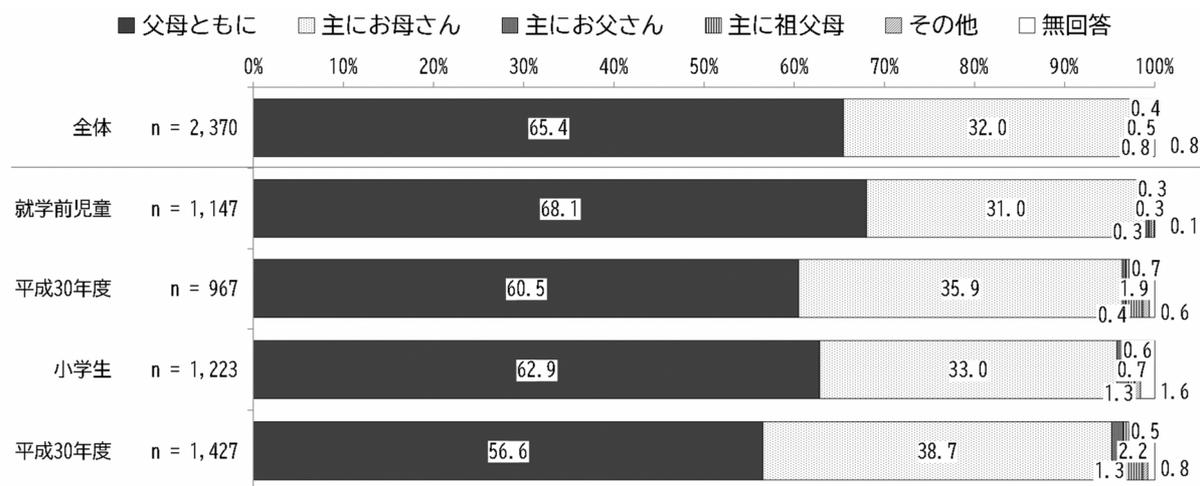
### 3. 子育ての状況

#### (1) 主に子育てを担っている方……………

宛名のお子さんの子育て（教育を含む）の役割を担っている方はどなたですか。続柄は宛名のお子さんからみた関係です。（○は1つ）

➤ 「父母ともに」が65.4%、「主にお母さん」が32.0%となっています。

図表 16 主に子育てを担っている方



(2) 子どもの預け先.....

1) 子どもを預かってくれる方の有無

日頃、宛名のお子さんを預かってもらえる親族や友人はいますか。(〇はいくつでも)

- 「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族に預かってもらえる」が56.2%、「日常的に祖父母等の親族に預かってもらえる」が37.5%となっています。
- 「いない」は9.9%となっています。
- 就学前児童は、平成30年度に比べて「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族に預かってもらえる」が上昇しています。
- 小学生は、平成30年度とほぼ同様の傾向です。

図表 17 子どもを預かってくれる方の有無

	調査数	緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族に預かってもらえる	日常的に祖父母等の親族に預かってもらえる	緊急時もしくは用事の際には友人・子どもを預ける	日常的に友人・子どもを預ける	いない	無回答
全体	2,370	56.2	37.5	5.8	1.2	9.9	0.5
就学前児童	1,147	62.6	32.2	4.4	0.9	10.3	0.0
平成30年度	967	54.7	37.7	3.4	1.1	11.5	0.8
小学生	1,223	50.2	42.5	7.2	1.5	9.6	1.1
平成30年度	1,427	47.7	45.4	8.3	2.4	8.8	0.7

## 2) 子どもを預かってもらう状況

(預かってもらえる人がいると回答された方のみ) お子さんを預かってもらう状況についてお答えください。(〇はいくつでも)

- 「親族・知人の身体的・精神的・経済的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」が58.9%、「親族・知人の身体的な負担が大きく心配である」が21.3%となっています。
- 就学前児童、小学生ともに、平成30年度に比べて「自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」が低下しています。

図表 18 子どもを預かってもらう状況

調査数	し約的親 子を・族 ど心経・ 配済知 もすの をるな みこ負 てと担 なや体的 らく時・ え、間精 る安的神 心制	大親 族 く・ 心知 配人 で ある 身 体的 な 負 担 が	配親 で あ る 知 人 の 時 間 的 制 約 が 心	大親 族 く・ 心知 配人 で あ る 精 神 的 な 負 担 が	い担自 をかた けち て親 の立 場 こと がし て、 心苦 し負	大親 族 く・ 心知 配人 で あ る 経 済 的 な 負 担 が	し心子 不安わ がの あし る教 育 環 境 で 発 達 に と つ て	そ の 他	無 回 答	
全体	2,122	58.9	21.3	18.8	8.8	17.3	3.5	5.2	1.3	1.0
就学前児童	1,029	53.4	24.7	23.2	10.5	18.4	3.6	5.6	1.3	1.3
平成30年度	848	54.6	23.7	24.2		29.1	-	7.5	1.7	1.7
小学生	1,093	64.0	18.1	14.6	7.2	16.3	3.4	4.8	1.3	0.7
平成30年度	1,292	64.4	14.7	15.9		24.1	-	7.0	1.7	1.0

※平成30年度調査では「親族・知人の時間的制約が心配である」と「親族・知人の精神的な負担が大きく心配である」をひとつの選択肢にまとめています。

また、「親族・知人の経済的な負担が大きく心配である」の選択肢は、令和5年度調査で新たに設定しました。

### (3) 子育てに関する相談

#### 1) 相談先

子育てに関する悩みや不安を誰に相談していますか。(〇はいくつでも)

- 「配偶者（夫又は妻）・パートナー」が80.1%で最も多く、次いで「その他の親族（親、兄弟姉妹など）」が59.3%となっています。
- 「相談しない」は3.2%となっています。

図表 19 子育てに関する相談先

	調査数	配偶者（夫又は妻）・パートナー	その他の親族（親、兄弟姉妹など）	知人・友人	保育園、幼稚園、こども園、学校等の先生	近所の人、地域の人	自治体の子育て関連窓口	インターネットを利用した相談サービス	相談しない	その他	無回答
全体	2,370	80.1	59.3	55.4	25.6	5.9	3.8	1.4	3.2	2.4	0.8
就学前児童	1,147	84.4	61.9	56.2	37.3	5.1	5.6	1.8	2.6	2.3	0.4
平成30年度	967	83.4	63.8	60.2	36.5	7.5	6.1	1.2	1.6	2.2	0.4
小学生	1,223	76.1	56.8	54.7	14.6	6.6	2.0	0.9	3.8	2.5	1.2
平成30年度	1,427	74.3	55.5	61.0	20.0	8.2	1.9	0.7	3.6	2.4	0.4

#### 2) 相談しない理由

(相談しないと回答された方のみ) 相談しないのはなぜですか。(〇はいくつでも)

- 「適当な相談相手がないから」が31.6%で最も多く、次いで「ひとりで解決できるから」「相談するのが面倒だから」「特に悩みや不安は無いから」が13.2%、「どこに相談したらよいかわからないから」「相談したい場所がないから」が6.6%となっています。

図表 20 相談しない理由

	調査数	適当な相談相手がないから	ひとりで解決できるから	相談するのが面倒	どこに相談したらいいかわからないから	相談したい場所がないから	相談するのが嫌だ	その他	特に悩みや不安はないから	無回答
全体	76	31.6	13.2	13.2	6.6	6.6	2.6	6.6	13.2	15.8
就学前児童	30	33.3	13.3	20.0	3.3	10.0	3.3	3.3	0.0	20.0
平成30年度	15	33.3	6.7	13.3	6.7	20.0	13.3	13.3	26.7	6.7
小学生	46	30.4	13.0	8.7	8.7	4.3	2.2	8.7	21.7	13.0
平成30年度	51	31.4	13.7	9.8	23.5	11.8	11.8	5.9	29.4	0.0

### 3) 相談しやすくなる要素

(「相談したい場所がない」と回答された方のみ)どのような所だったら、相談しやすいと思いますか。(○は3つまで。□内には数字(一枠に一字)でご記入ください。)

- 「オープンな場所や窓口で気軽に相談できる」が40.0%、「匿名で相談できる」「個別の相談室で安心して話ができる」「予約なしで相談ができる」が20.0%となっています。

図表 21 相談しやすくなる要素

	調査数	オープンな場所や窓口で気軽に相談できる	匿名で相談できる	個別の相談室で安心して話ができる	予約なしで相談ができる	予約制できつちり話ができる	電話で相談できる	直接会って相談できる	家庭訪問してもらえ	夕方以降に相談できる	土日に相談できる	その他	無回答
全体	5	40.0	20.0	20.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0	20.0
就学前児童	3	33.3	33.3	33.3	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0
小学生	2	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0

## 4. 親の就労状況

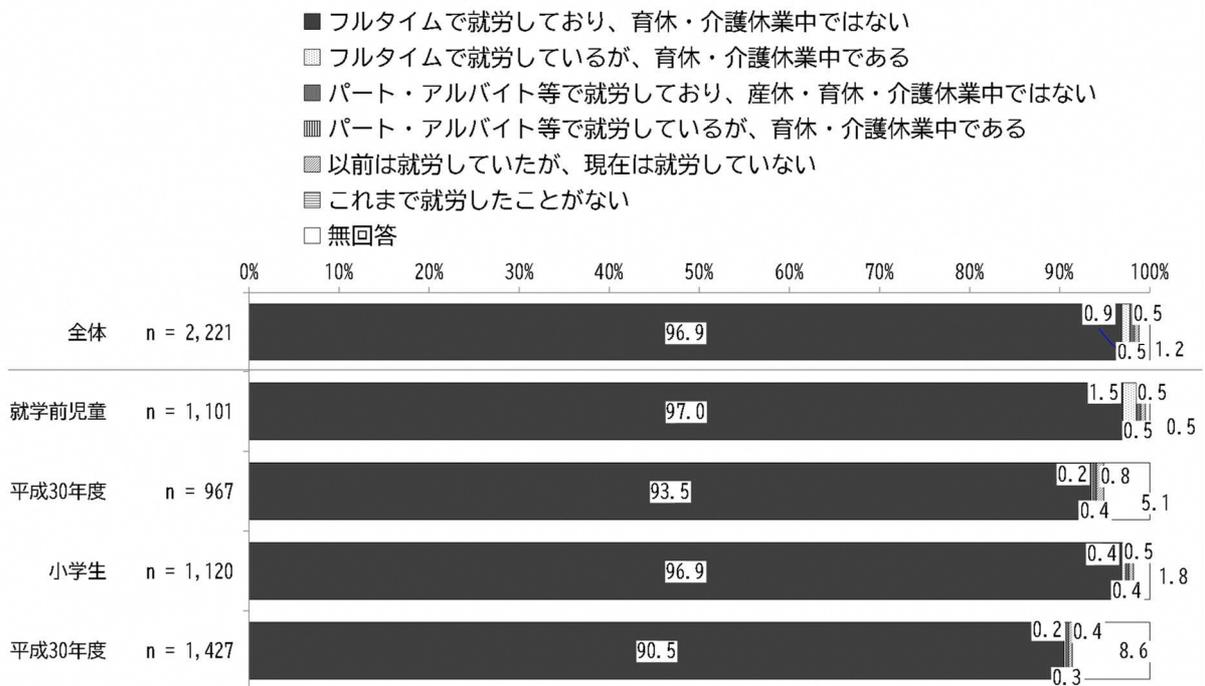
### (1) 就労状況

#### 1) 父親（父親がいる世帯のみ）

父親の就労についての状況を教えてください。

- 「フルタイムで就労しており、育休・介護休業中ではない」が96.9%で最も多く、次いで「フルタイムで就労しているが、育休・介護休業中である」が0.9%、「パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」「以前は就労していたが、現在は就労していない」が0.5%となっています。

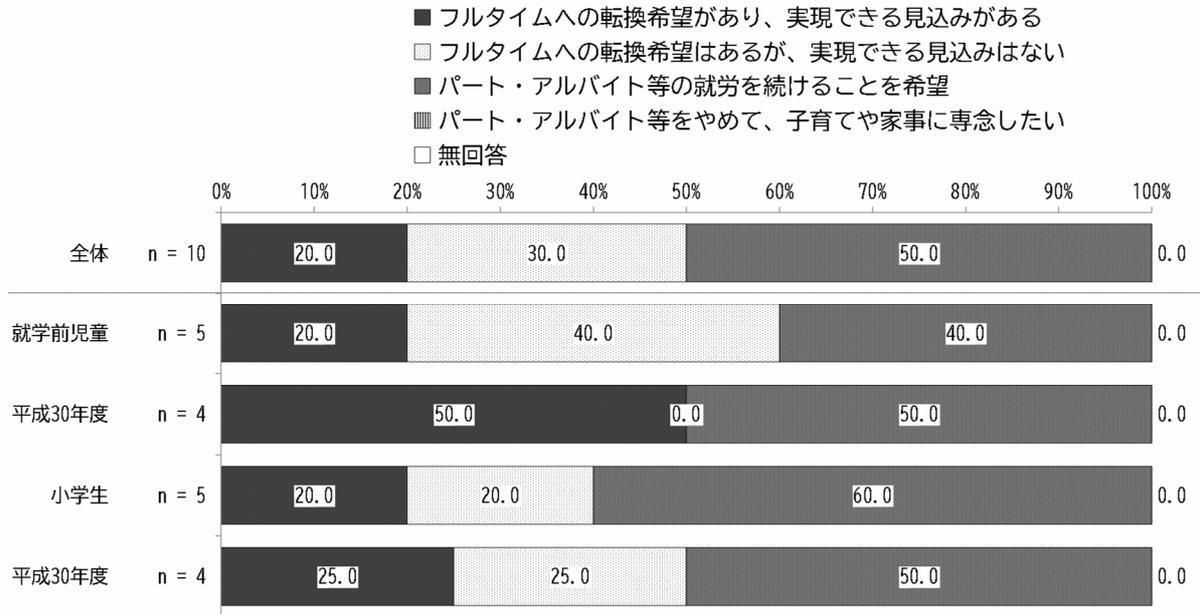
図表 22 父親の就労状況



(パート・アルバイト等の就労されている方のみ)フルタイムへの転換希望はありますか。

- 「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」が50.0%、「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」が30.0%となっています。

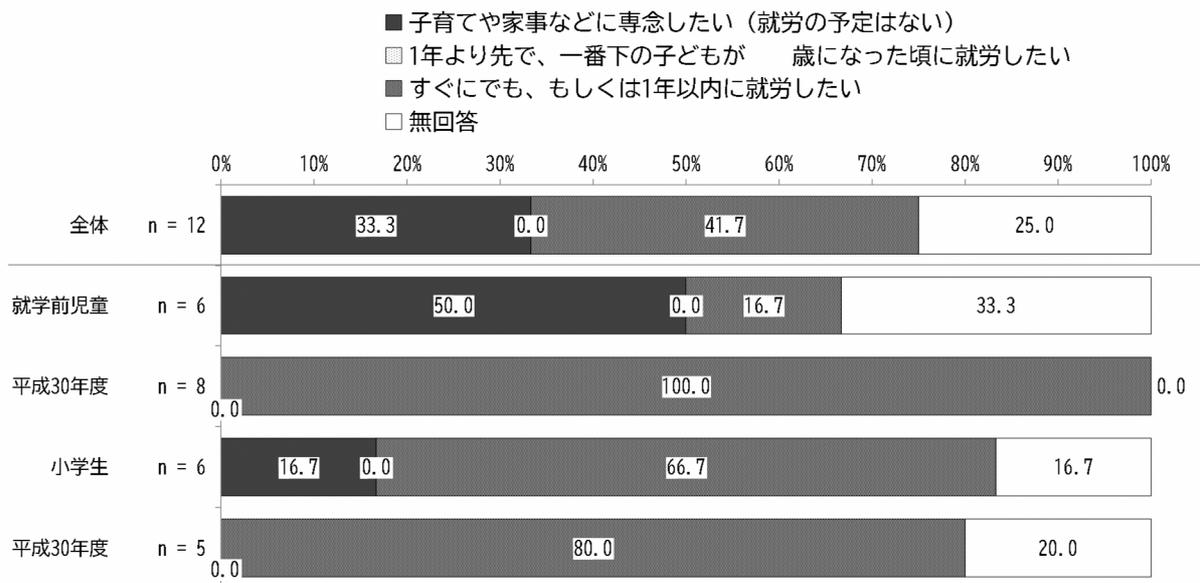
図表 23 フルタイムへの転換希望(父親)



(現在またはこれまで就労していない方のみ)就労したいという希望はありますか。

- 「子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)」が33.3%、「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」が41.7%となっています。

図表 24 今後の就労の希望(父親)

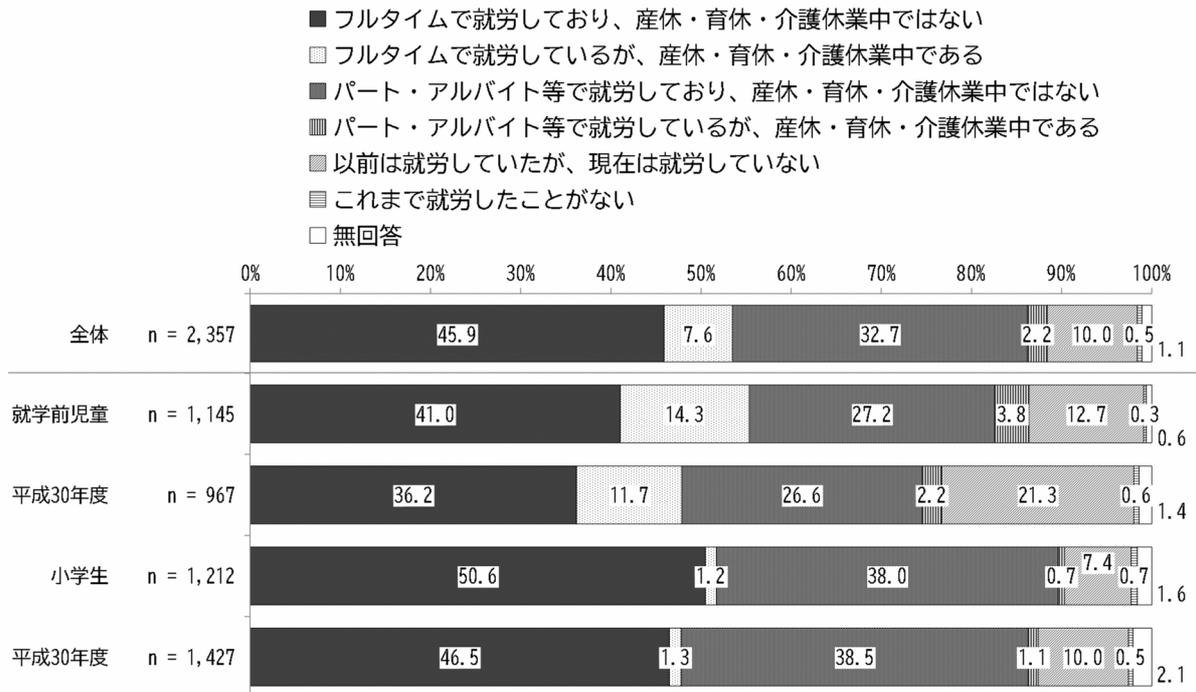


## 2) 母親（母親がいる世帯のみ）

母親の就労についての状況を教えてください。

- 「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が45.9%で最も多く、次いで「パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が32.7%、「以前は就労していたが、現在は就労していない」が10.0%となっています。

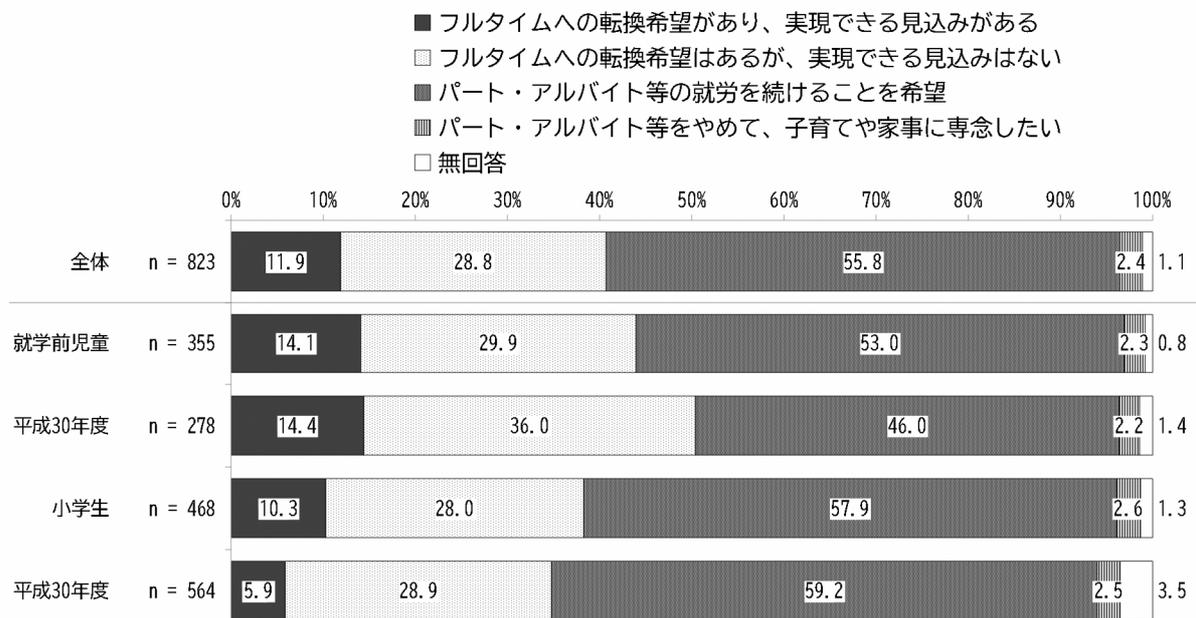
図表 25 母親の就労状況



(パート・アルバイト等の就労されている方のみ) フルタイムへの転換希望はありますか。

- 「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」が55.8%、「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」が28.8%となっています。

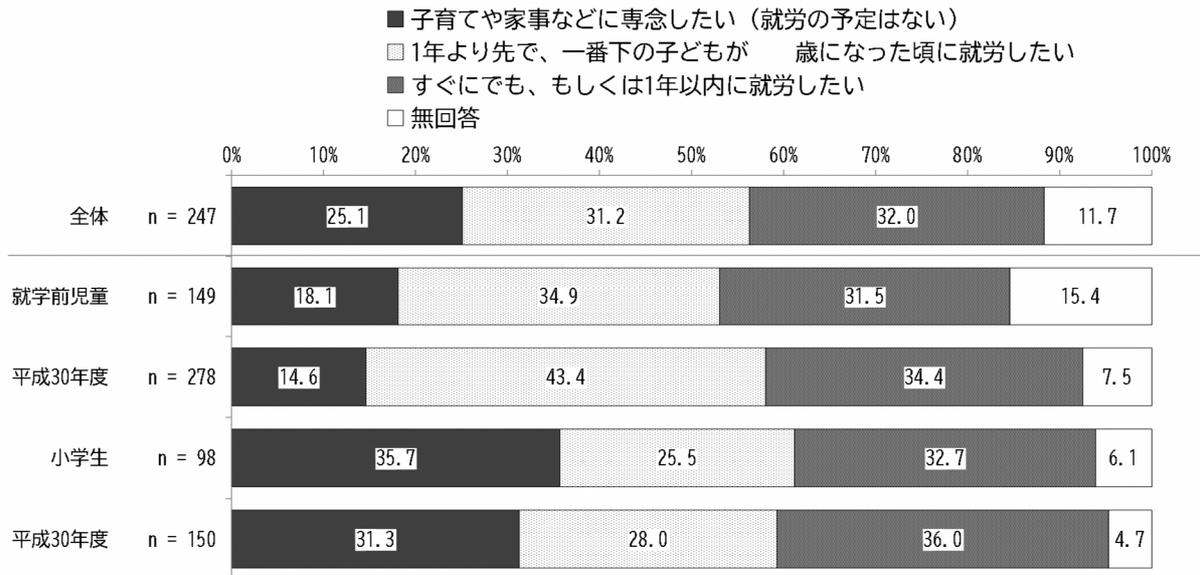
図表 26 フルタイムへの転換希望(母親)



(現在またはこれまで就労していない方のみ)就労したいという希望はありますか。

- 「子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）」が 25.1%、「1 年より先で、一番下の子どもが●歳になった頃に就労したい」が 31.2%、「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」が 32.0%となっています。
- 転換を希望する際の一番下の子どもの年齢は「3 歳」が 29.9%、「6～8 歳」が 24.7%、「9～11 歳」が 14.3%となっています。

図表 27 今後の就労の希望(母親)



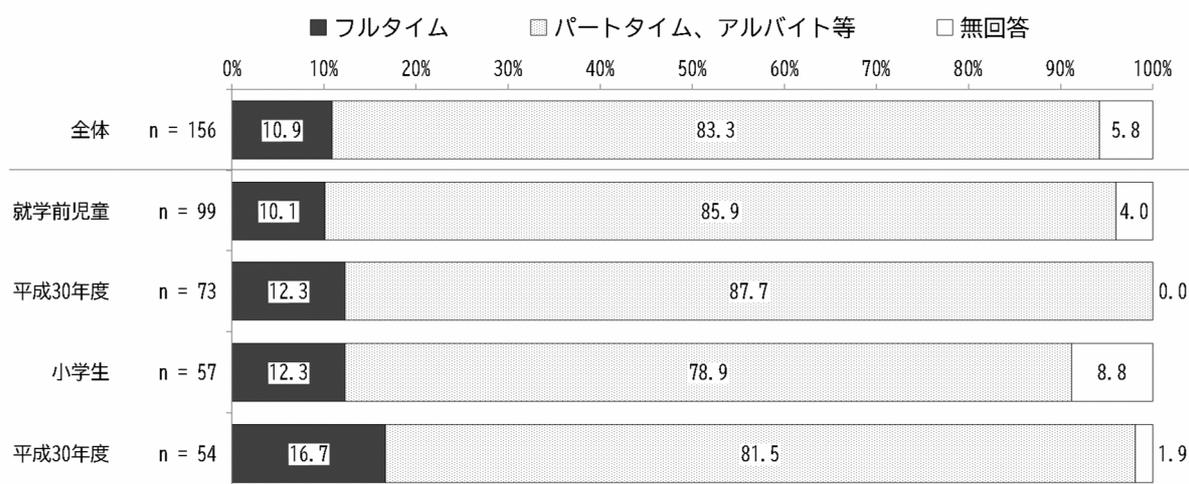
図表 28 転換を希望する際の一番下の子どもの年齢

	調査数	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳	11歳以上	無回答
全体	77	3.9	6.5	29.9	2.6	7.8	24.7	14.3	7.8	2.6			
就学前児童	52	5.8	9.6	38.5	3.8	11.5	21.2	3.8	1.9	3.8			
小学生	25	0.0	0.0	12.0	0.0	0.0	32.0	36.0	20.0	0.0			

(現在またはこれまで就労しておらず、「就労したい」と回答された方のみ)希望する就労形態、1週あたりの労働日数、1日あたりの労働時間を教えてください。(○はそれぞれに1つ)

- 「フルタイム」が10.9%、「パートタイム、アルバイト等」が83.3%となっています。
- 希望する1週間当たりの労働日数は「5日以上」が36.1%、「4日」が29.9%、「3日」が27.9%となっています。
- 希望する1日当たりの労働時間は「5時間」が27.9%、「4時間」が25.2%、「6時間」が22.4%となっています。

図表 29 希望する就労形態(母親)



図表 30 希望する1週間当たりの労働日数(母親)

	調査数	1日	2日	3日	4日	5日以上	無回答
全体	147	0.0	0.0	27.9	29.9	36.1	6.1
就学前児童	95	0.0	0.0	23.2	30.5	38.9	7.4
小学生	52	0.0	0.0	36.5	28.8	30.8	3.8

図表 31 希望する1日当たりの労働時間(母親)

	調査数	3時間以下	4時間	5時間	6時間	7時間	8時間以上	無回答
全体	147	6.8	25.2	27.9	22.4	0.7	8.8	8.2
就学前児童	95	5.3	27.4	25.3	24.2	1.1	8.4	8.4
小学生	52	9.6	21.2	32.7	19.2	0.0	9.6	7.7

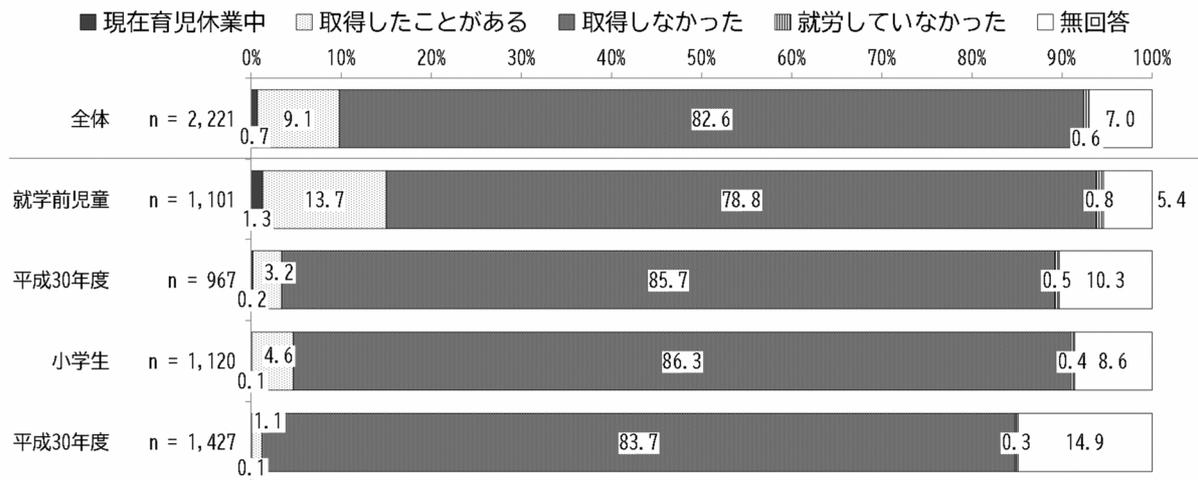
(2) 育児休業の取得

1) 父親（父親がいる世帯のみ）

これまでに育児休業を取得したことがありますか

- 「現在育児休業中」が0.7%、「取得したことがある」が9.1%で合わせて9.8%です。
- 「取得しなかった」が82.6%となっています。

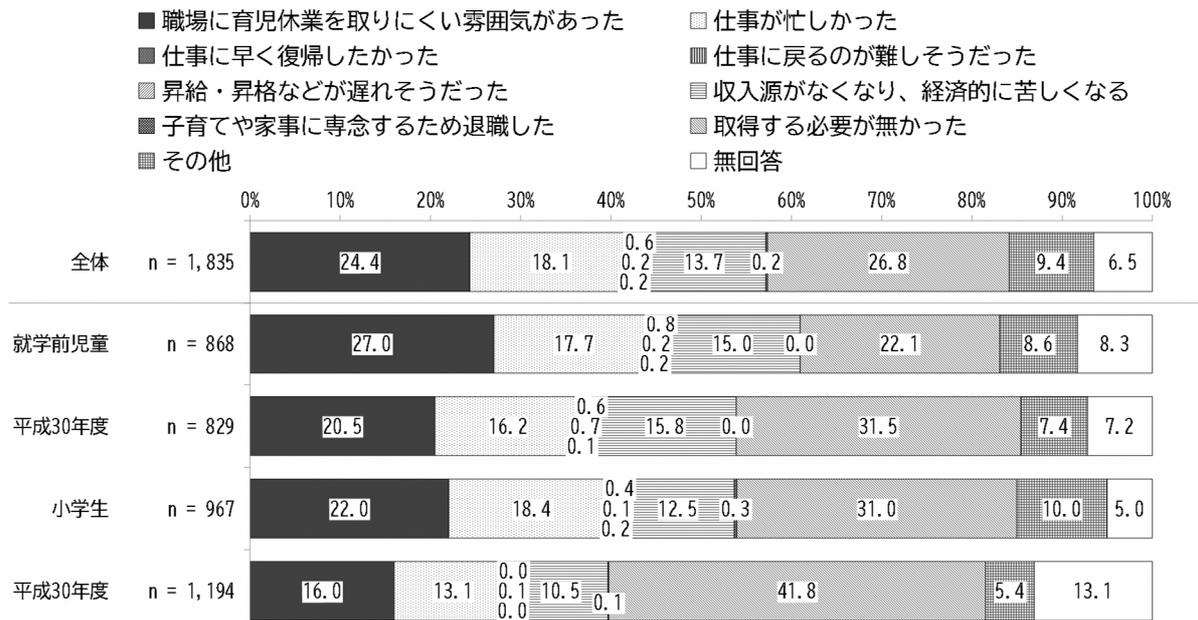
図表 32 育休の取得経験（父親）



(育休を取得しなかった方のみ) 取得しなかった主な理由は何ですか。

- 「取得する必要が無かった」が26.8%で最も多く、次いで「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」が24.4%、「仕事が忙しかった」が18.1%となっています。

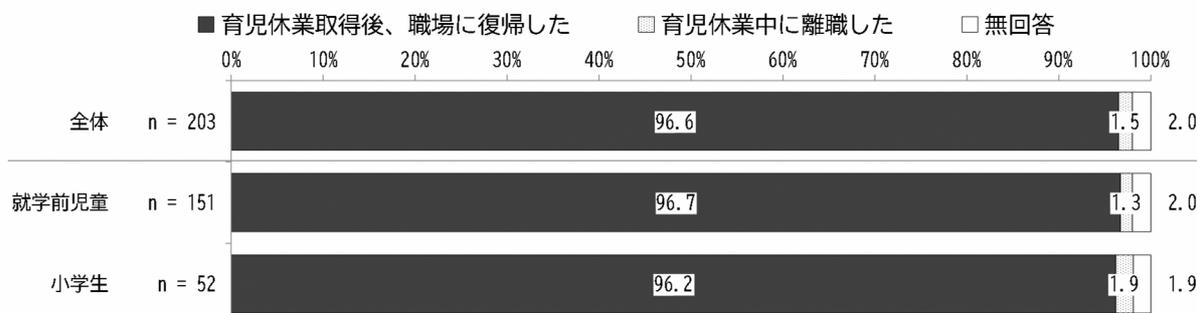
図表 33 育休を取らなかった理由（父親）



(育児を取得した方のみ) 育児休業取得後、職場に復帰しましたか。

- 「育児休業取得後、職場に復帰した」が96.6%、「育児休業中に離職した」が1.5%となっています。

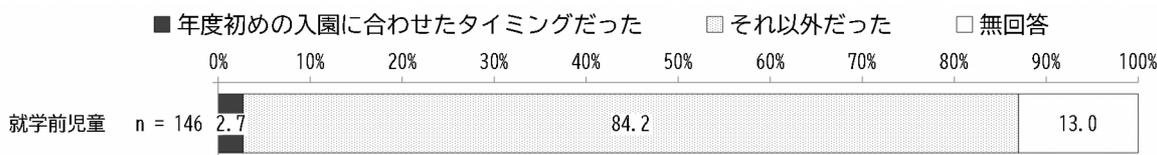
図表 34 育児後の職場への復帰(父親)



(育児休業取得後、職場に復帰したと回答した就学前児童の保護者の方のみ) 育児休業から職場に復帰したのは、保育園等の年度初めの入園に合わせたタイミングでしたか。あるいはそれ以外でしたか。

- 「年度初めの入園に合わせたタイミングだった」が2.7%、「それ以外だった」が84.2%となっています。

図表 35 育児後の復帰のタイミング(父親)



(育児休業取得後、職場に復帰したと回答した就学前児童の保護者の方のみ) 育児休業からは、「実際」にお子さんが何歳何か月のときに職場復帰しましたか。また、お勤め先の育児休業の制度の期間内で、「希望」としては何歳何か月のときまで取りたかったですか。

- 実際に職場復帰したのは「1歳未満」が52.6%、「1~2歳未満」が2.0%、「2~3歳未満」が1.5%となっています。
- 希望していた育児取得期間は「1歳未満」が36.7%、「1~2歳未満」が12.8%、「2~3歳未満」が1.5%となっています。

図表 36 育児後の復帰の時期(現実と希望)(父親)

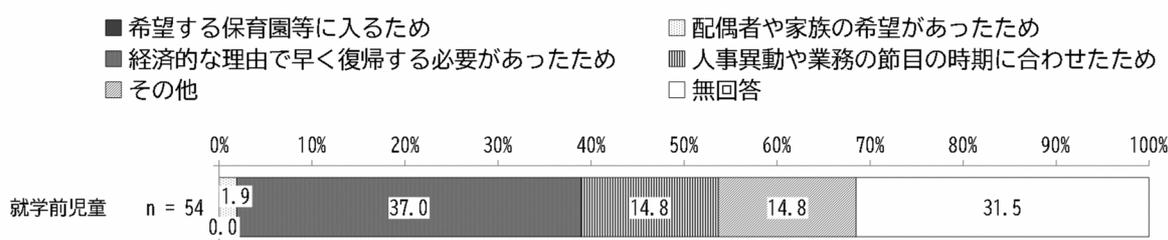
	調査数	1歳未満	1~2歳未満	2~3歳未満	3歳以上	無回答
実際	196	52.6	2.0	1.5	0.0	43.9
希望	196	36.7	12.8	1.5	0.5	48.5

※「無回答」が多いのは、育児休業取得期間が数日などの短期間の方が無回答を選択したことが理由と推察されます。

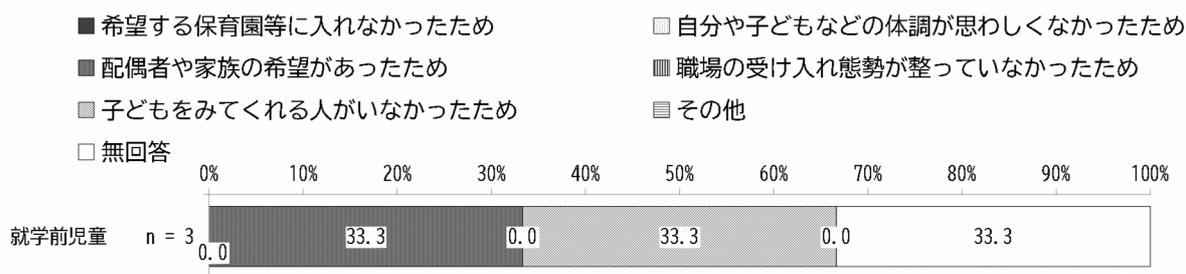
(実際の復帰と希望が異なる就学前児童の保護者の方のみ) 希望の時期に職場復帰しなかった理由は何ですか。

- 希望より早く復帰した理由は「経済的な理由で早く復帰する必要があるため」が37.0%、「人事異動や業務の節目の時期に合わせたため」「その他」が14.8%となっています。
- 希望より遅く復帰した理由は「配偶者や家族の希望があったため」「子どもをみてくれる人がいなかったため」が33.3%となっています。

図表 37 希望より早く復帰した理由(父親)



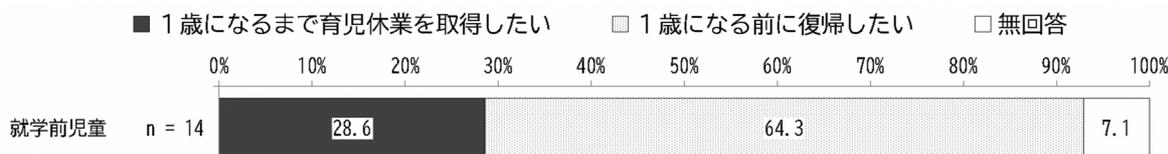
図表 38 希望より遅く復帰した理由(父親)



(現在育児休業中の就学前児童の保護者の方のみ) お子さんが1歳になったときに必ず利用できる保育園等があれば、1歳になるまで育児休業を取得しますか。

- 「1歳になるまで育児休業を取得したい」が28.6%、「1歳になる前に復帰したい」が64.3%となっています。

図表 39 利用できる保育園があった場合の育休取得意向(父親)

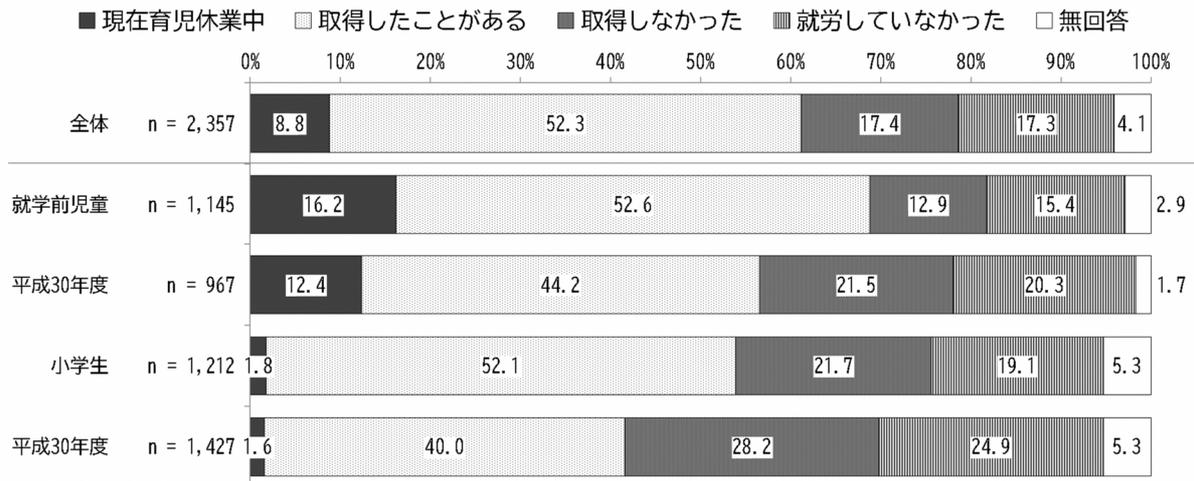


## 2) 母親（母親がいる世帯のみ）

これまでに育児休業を取得したことがありますか

- 「現在育児休業中」が8.8%、「取得したことがある」が52.3%で、合わせて61.1%となっています。
- 「取得しなかった」が17.4%となっています。

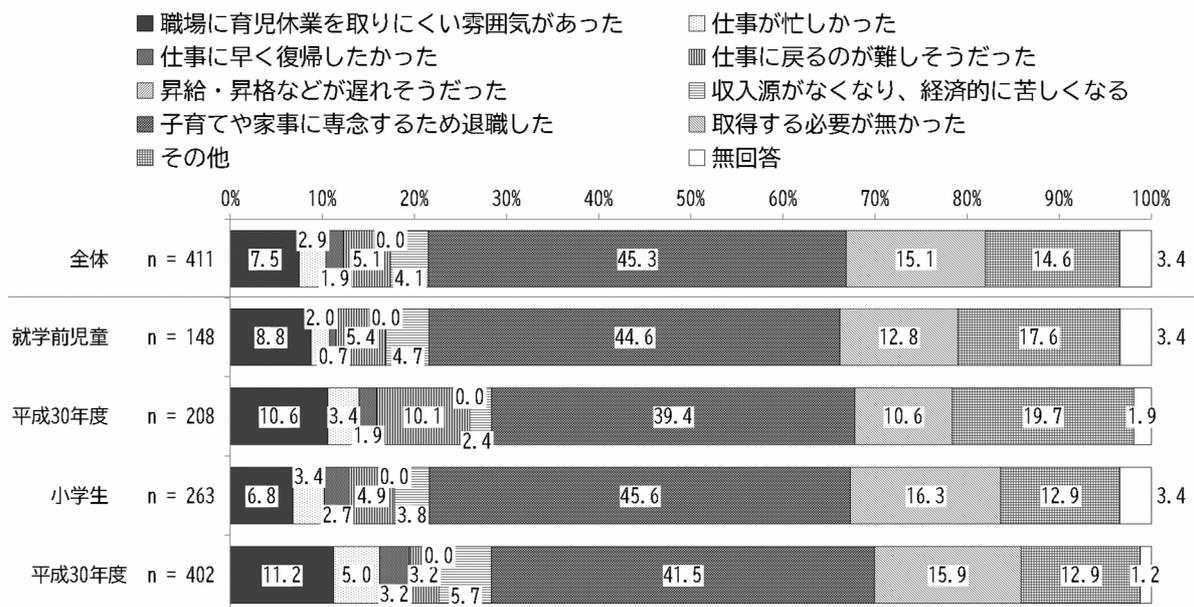
図表 40 育休の取得経験（母親）



（取得しなかった方のみ）取得しなかった主な理由は何ですか。

- 「子育てや家事に専念するため退職した」が45.3%で最も多く、次いで「取得する必要が無かった」が15.1%、「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」が7.5%となっています。

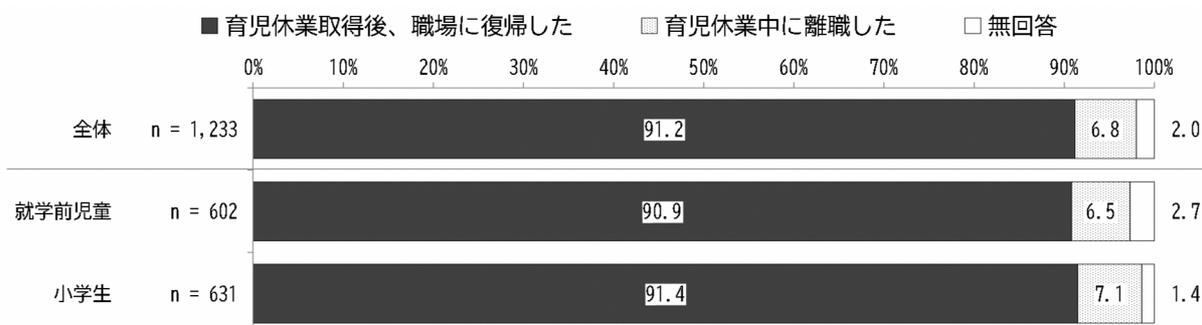
図表 41 育休を取らなかった理由（母親）



(育児を取得した方のみ) 育児休業取得後、職場に復帰しましたか。

- 「育児休業取得後、職場に復帰した」が91.2%、「育児休業中に離職した」が6.8%となっています。

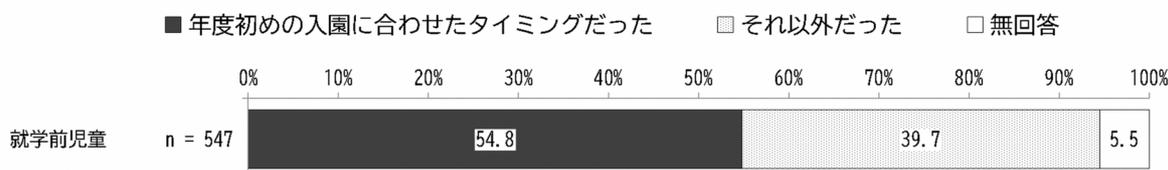
図表 42 育児後の職場への復帰(母親)



(育児休業取得後、職場に復帰したと回答した就学前児童の保護者の方のみ) 育児休業から職場に復帰したのは、保育園等の年度初めの入園に合わせたタイミングでしたか。あるいはそれ以外でしたか。

- 「年度初めの入園に合わせたタイミングだった」が54.8%、「それ以外だった」が39.7%となっています。

図表 43 育児後の復帰のタイミング(母親)



(育児休業取得後、職場に復帰したと回答した就学前児童の保護者の方のみ) 育児休業からは、「実際」にお子さんが何歳何か月のときに職場復帰しましたか。また、お勤め先の育児休業の制度の期間内で、「希望」としては何歳何か月のときまで取りたかったですか。

- 実際に職場復帰したのは「1歳未満」が12.1%、「1～2歳未満」が28.6%、「2～3歳未満」が1.6%となっています。
- 希望していた育休取得期間は「1歳未満」が3.1%、「1～2歳未満」が29.3%、「2～3歳未満」が6.4%となっています。

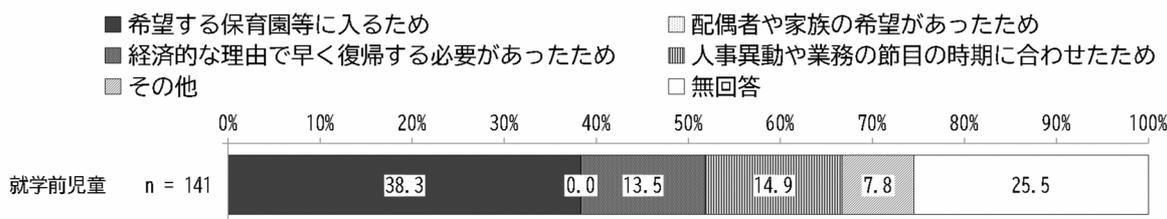
図表 44 育児後の復帰の時期(現実と希望)(母親)

	調査数	1歳未満	1歳～2歳未満	2歳～3歳未満	3歳以上	無回答
実際	1,124	12.1	28.6	1.6	0.1	57.6
希望	1,124	3.1	29.3	6.4	3.4	57.8

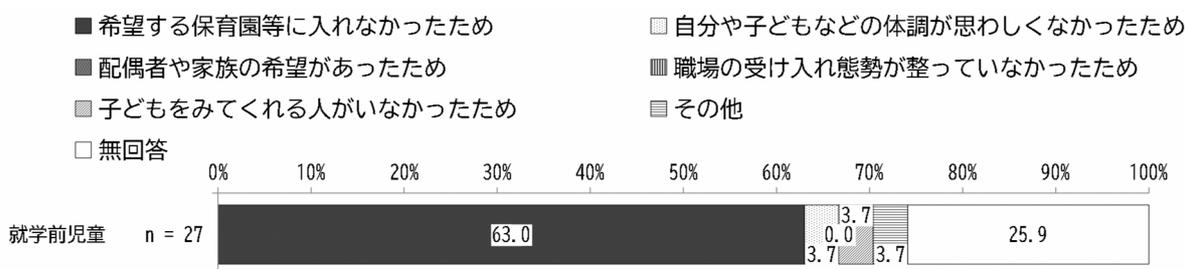
(実際の復帰と希望が異なる就学前児童の保護者の方のみ)希望の時期に職場復帰しなかった理由は何ですか。

- 希望より早く復帰した理由は「希望する保育園等に入るため」が38.3%、「人事異動や業務の節目の時期に合わせたため」が14.9%となっています。
- 希望より遅く復帰した理由は「希望する保育園等に入れなかったため」が63.0%となっています。

図表 45 希望より早く復帰した理由(母親)



図表 46 希望より遅く復帰した理由(母親)



(現在育児休業中の就学前児童の保護者の方のみ) お子さんが1歳になったときに必ず利用できる保育園等があれば、1歳になるまで育児休業を取得しますか。

- 「1歳になるまで育児休業を取得したい」が86.6%、「1歳になる前に復帰したい」が8.1%となっています。

図表 47 利用できる保育園があった場合の育休取得意向(母親)



(3) 子育てしながら働くために必要なこと……………

保護者にとって、子どもを育てながら働くために、特にどんなことが必要だと思いますか。現在、就労していない方もお答えください。(〇は2つまで)

- 「子育てをする人に配慮した労働条件・制度があり、それが実際に活用できる職場環境」が62.9%で最も多く、次いで「夫婦が子育てや家事を分担し、協力しあうこと」が61.7%となっています。

図表 48 子育てしながら働くために必要なこと

	調査数	実際に子育てをするに活用できる職場環境	夫婦が協力して子育てや家事を分担し、協力しあうこと	育児休業中の経済的支援の充実	病児・多様な保育サービス	短時間勤務に合わせた「ギグワーク」	自身の都合に合わせて単発・再就職のための職業訓練、就業支援	その他	無回答
全体	2,370	62.9	61.7	29.3	24.2	7.2	2.2	2.3	3.8
就学前児童	1,147	63.7	59.3	33.0	25.8	6.8	2.3	2.4	3.5
平成30年度	967	59.8	49.8	22.3	22.9	-	2.9	2.3	19.0
小学生	1,223	62.1	64.0	25.8	22.6	7.6	2.2	2.2	4.0
平成30年度	1,427	68.6	62.3	20.2	28.6	-	3.2	2.5	1.6

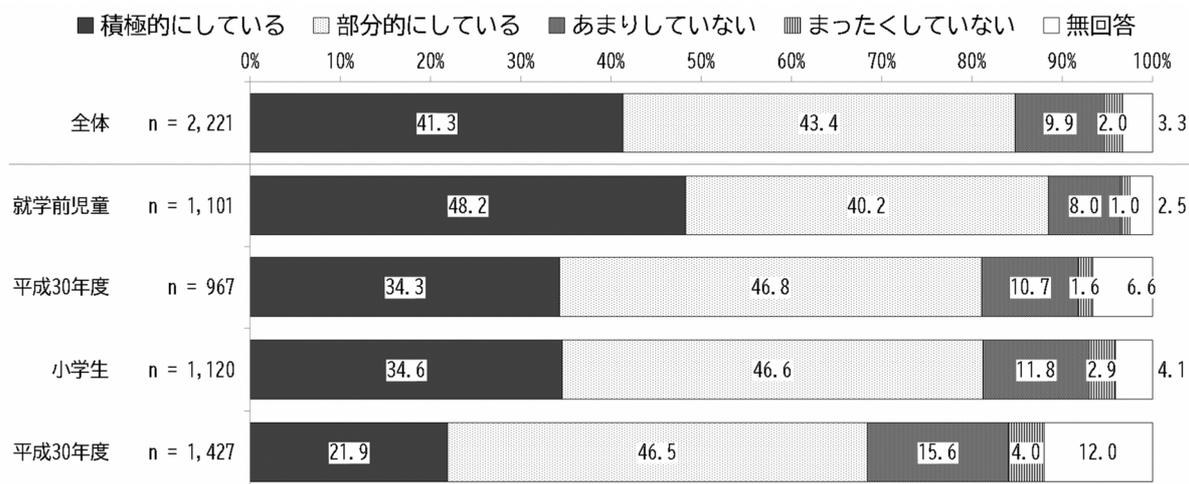
※平成30年度調査には「ギグワーク」に関する選択肢がありません。

## 5. 父親の子育て・家事

お父さんは、どのように子育て・家事をしていますか。(〇は1つ)

- 「積極的にしている」が41.3%、「部分的にしている」が43.4%となっています。

図表 49 父親の子育て・家事の状況



(あまりしていない・まったくしていない方のみ) お父さんが子育て・家事を(あまり)していないのはなぜですか。(〇はいくつでも)

- 「仕事などにより時間的に難しいから」が74.2%、「自分の時間(趣味など)を優先したいから」が28.4%となっています。

図表 50 子育て・家事を(あまり)していない理由

	調査数	難仕事などにより時間的に	自分の優先した時間(趣味など)	母親がした方がよいと思	からかわり方がわからない	その他	無回答
全体	264	74.2	28.4	23.9	13.3	11.4	1.5
就学前児童	99	74.7	32.3	17.2	6.1	15.2	1.0
平成30年度	118	78.0	22.9	14.4	6.8	11.0	0.8
小学生	165	73.9	26.1	27.9	17.6	9.1	1.8
平成30年度	280	70.4	24.3	17.1	11.8	8.2	0.7

## 6. 生活のバランス

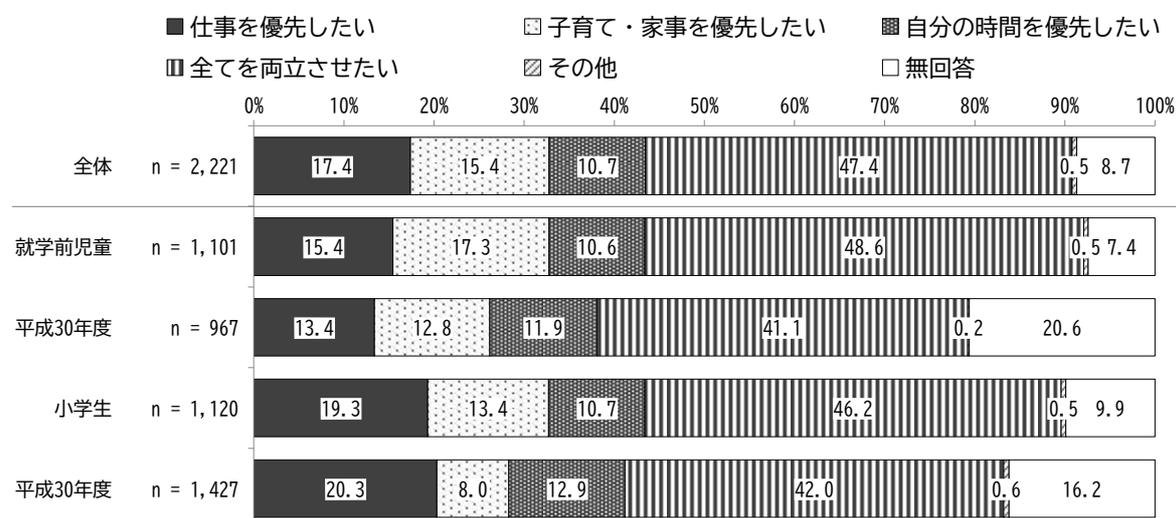
### (1) 生活の中の優先度

#### 1) 父親

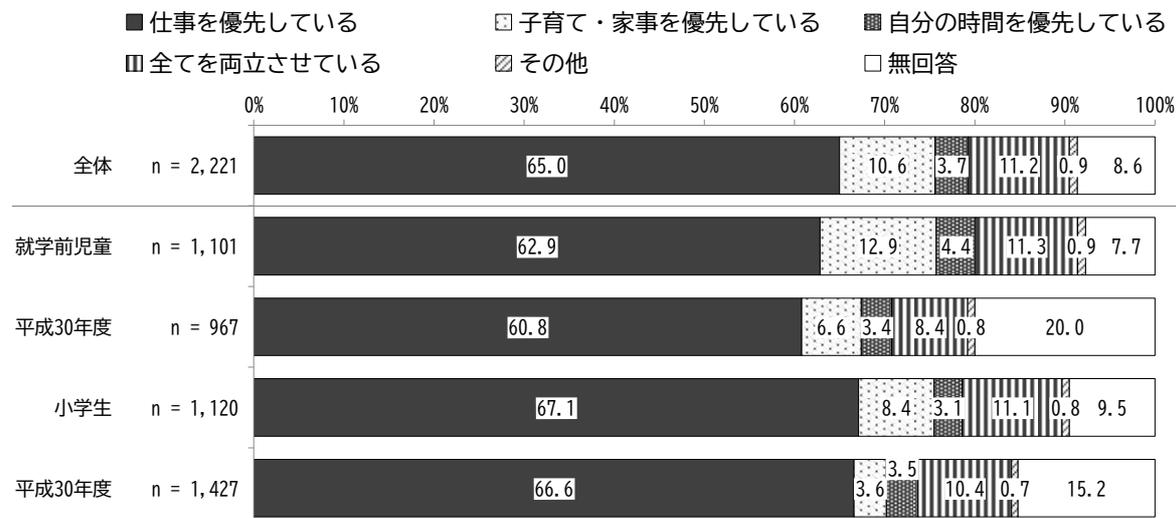
生活の中での「仕事」「子育て・家事」「自分の時間（趣味など）」について、希望する優先度、現実の優先度、それぞれ一番近いものはどれですか。

- 希望の優先度は「全てを両立させたい」が47.4%、「仕事を優先したい」が17.4%となっています。
- 現実の優先度は「仕事を優先している」が65.0%、「全てを両立させている」が11.2%となっています。

図表 51 希望の生活の中の優先度（父親）



図表 52 現実の生活の中の優先度（父親）

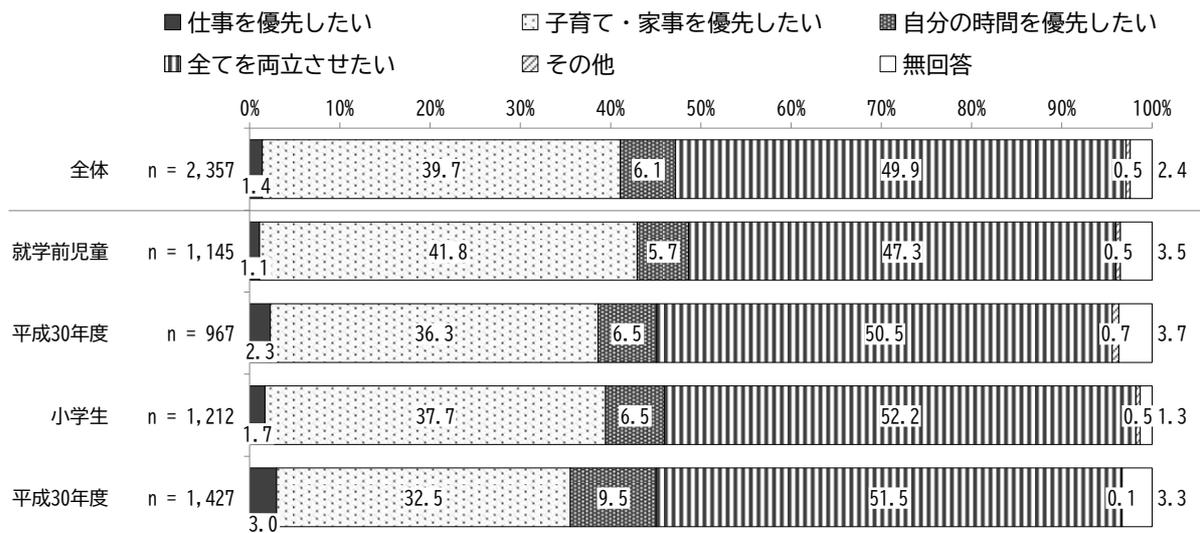


## 2) 母親

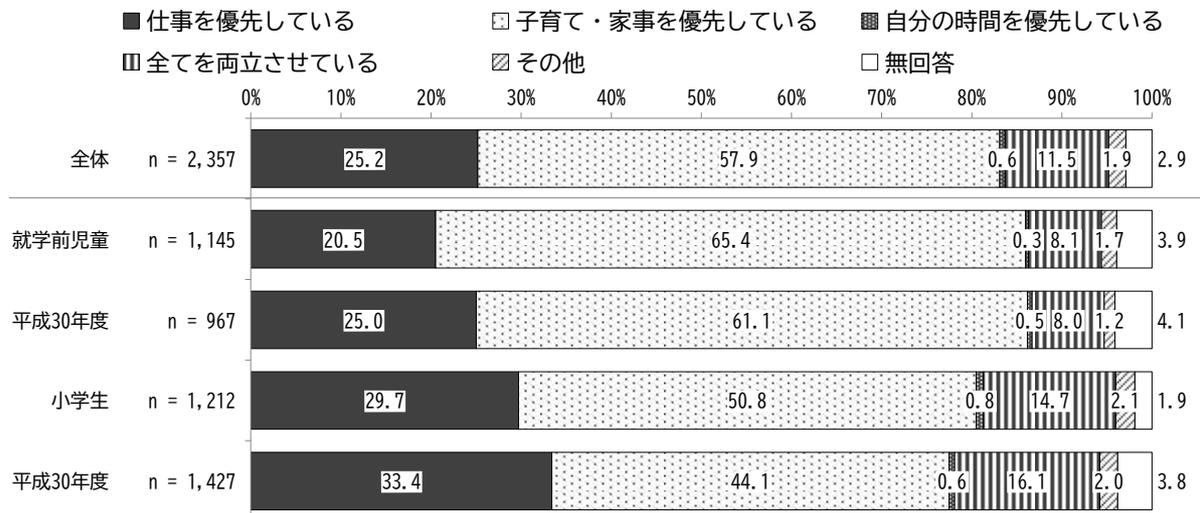
生活の中での「仕事」「子育て・家事」「自分の時間（趣味など）」について、希望する優先度、現実の優先度、それぞれ一番近いものはどれですか。

- 希望の優先度は「全てを両立させたい」が49.9%、「子育て・家事を優先したい」が39.7%となっています。
- 現実の優先度は「子育て・家事を優先している」が57.9%「仕事を優先している」が25.2%となっています。

図表 53 希望の生活の中の優先度（母親）



図表 54 現実の生活の中の優先度（母親）



(2) 生活のバランスをとるために必要なこと……………

現在の生活において、「仕事」「子育て・家事」「自分の時間（趣味など）」のバランスをうまくとるために必要なことは何だと思いますか。（○は2つまで）

- 「子育て・家事における夫婦の協力」が65.5%、「効率よく時間を使うなど、自身が工夫・意識すること」が49.5%となっています。

図表 55 生活のバランスをとるために必要なこと

	調査数	子育て・家事における夫婦の協力	効率よく時間を使うなど、自身が工夫・意識すること	育児休業など、職場の支援・理解	祖父母など配偶者以外の家族の協力	行政や民間の子育て支援・サービス	地域の集まりやサークルなど近隣同士の支えあい	その他	無回答
全体	2,370	65.5	49.5	29.1	22.8	14.7	1.1	2.8	0.9
就学前児童	1,147	68.4	45.3	31.5	23.4	16.3	1.0	2.5	1.1
平成30年度	967	64.6	50.9	26.0	26.1	14.9	1.0	2.2	2.0
小学生	1,223	62.8	53.4	26.8	22.3	13.2	1.1	3.0	0.7
平成30年度	1,427	55.5	58.9	19.2	24.8	12.5	2.2	2.7	2.5

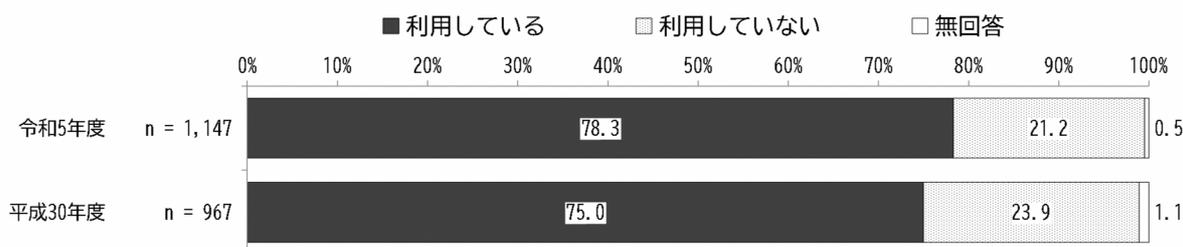
## 7. 平日の保育・教育事業の状況（就学前児童のみ）

### (1) 定期的な保育・教育事業の利用状況

宛名のお子さんは現在、保育園や幼稚園などの「定期的な保育・教育事業」を利用されていますか。(〇は1つ)

➤ 「利用している」が78.3%、「利用していない」が21.2%となっています。

図表 56 定期的な保育・教育事業の利用状況



### (2) 定期的にご利用している保育・教育事業

(利用している方のみ) 宛名のお子さんは、平日どのような保育・教育事業を利用していますか。年間を通じて、「定期的に」利用している事業をお答えください。(〇はいくつでも)

➤ 「認定こども園」が52.0%で最も多く、次いで「公立認可保育園」が29.0%、「私立認可保育園」が14.6%となっています。

図表 57 利用している保育・教育事業

	調査数	認定こども園	公立認可保育園	私立認可保育園	事業所内保育施設	小規模な保育施設	公立幼稚園	幼稚園の預かり保育	その他認可外保育施設	ファミリー・サポート・センター	私立幼稚園	居宅訪問型保育（ベビーシッター）	その他	無回答
令和5年度	898	52.0	29.0	14.6	2.6	0.9	0.4	0.2	0.2	0.1	0.0	0.0	0.9	0.6
平成30年度	725	27.3	28.6	34.6	1.8	0.0	1.8	0.7	0.3	0.7	5.8	0.0	0.4	0.8

※私立認可保育園の割合の減少は、調査票での注釈に保育園名等を記載したことにより、正確に認定こども園などを選択されたことが理由と推察されます。

平日に定期的に利用している保育・教育の事業について、どのくらい利用していますか。また、希望としてはどのくらい利用したいですか。

- 1週間当たりの利用日数は希望、実際ともに「5日」が最も多くなっています。
- 1日当たりの利用時間は希望、実際ともに「8時間」が最も多くなっています。
- 利用開始時間は希望、実際ともに「8時台」が最も多くなっています。
- 利用終了時間は希望、実際ともに「16時台」が最も多くなっています。

図表 58 保育・教育事業の1週間当たりの利用日数

	調査数	1日	2日	3日	4日	5日	6日以上	無回答
希望	898	0.1	0.2	0.2	0.7	89.3	5.5	4.0
実際	898	0.1	0.3	0.2	0.9	93.8	3.1	1.6

図表 59 保育・教育事業の1日当たりの利用時間

	調査数	4時間未満	4時間	5時間	6時間	7時間	8時間	9時間	10時間以上	無回答
希望	898	0.1	0.1	1.3	5.2	15.8	26.9	18.3	22.4	9.8
実際	898	0.1	0.0	2.2	6.8	20.2	25.3	15.8	22.2	7.5

図表 60 保育・教育事業の利用開始時間

	調査数	7時台	8時台	9時台	10時以降	無回答
希望	898	16.9	52.6	24.9	0.2	5.3
実際	898	18.9	54.8	24.2	0.3	1.8

図表 61 保育・教育事業の利用終了時間

	調査数	15時台	16時台	17時台	18時台	19時以降	無回答
希望	898	11.6	31.8	29.6	19.7	1.9	5.3
実際	898	15.6	38.3	24.4	19.2	0.8	1.8

利用している保育・教育事業の実施場所はどこですか。(○は1つ)

- 「長岡地域 (川東地域)」が43.1%、「長岡地域 (川西地域)」が29.1%となっています。

図表 62 保育・教育事業の実施場所

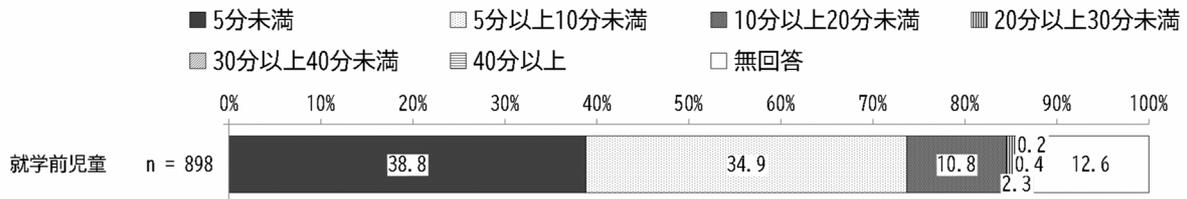
	調査数	長岡地域 (川東地域)	長岡地域 (川西地域)	中之島地域	越路地域	三島地域	山古志地域	小国地域	和島地域	寺泊地域	栃尾地域	与板地域	川口地域	長岡市外	無回答
就学前児童	898	43.1	29.1	3.7	6.3	3.5	0.0	1.4	1.9	1.6	3.6	3.1	1.4	0.4	0.9

(3) 通園にかかる時間.....

(通園バスを利用しない場合) 自宅からの片道の通園時間はどのくらいですか。(○は1つ)

- 「5分未満」が38.8%、「5分以上10分未満」が34.9%となっています。

図表 63 通園バスの利用

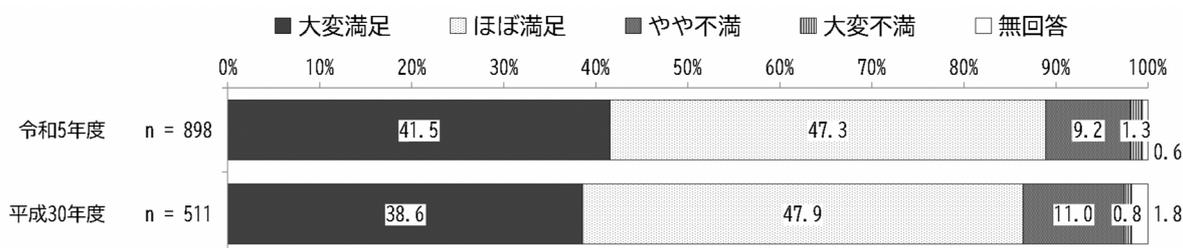


(4) 利用している保育園、幼稚園に対する感想……………

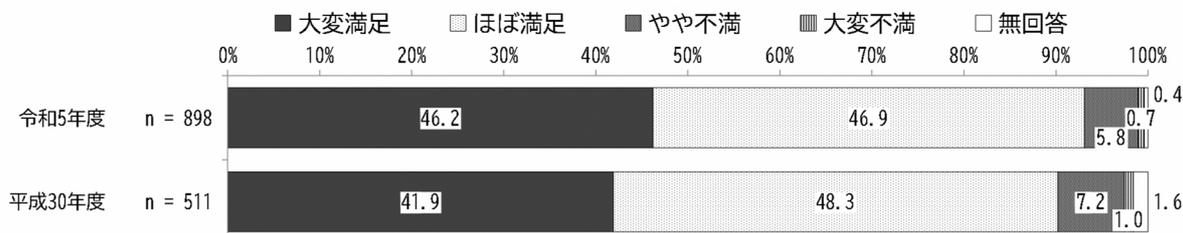
宛名のお子さんが通う保育園、幼稚園などに対してどのように感じていますか。(〇はそれぞれに1つ)

- 「大変満足」「ほぼ満足」を合わせた割合が高いのは、「食事」で96.9%、「安全対策」で95.7%、「衛生対策」で94.1%となっています。
- 「やや不満」「不満」を合わせた割合が高いのは、「利用者間のネットワークづくり」で16.9%、「保育料または授業料」で14.1%、「保護者への情報伝達」で12.5%となっています。
- 平成30年度調査と比較をすると、「行事」以外の項目で「大変満足」「ほぼ満足」を合わせた割合が上昇しています。

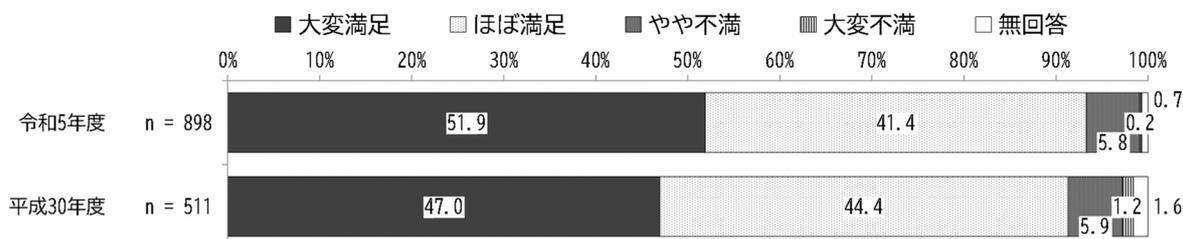
図表 64 施設・環境(園舎・園庭、玩具など)



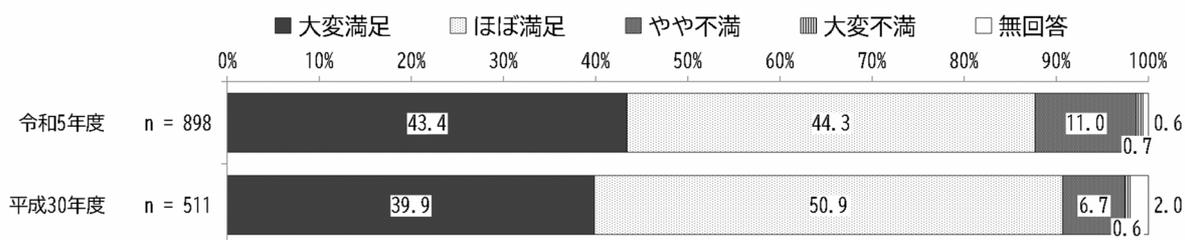
図表 65 保育士(教諭)の配置状況(人員体制)



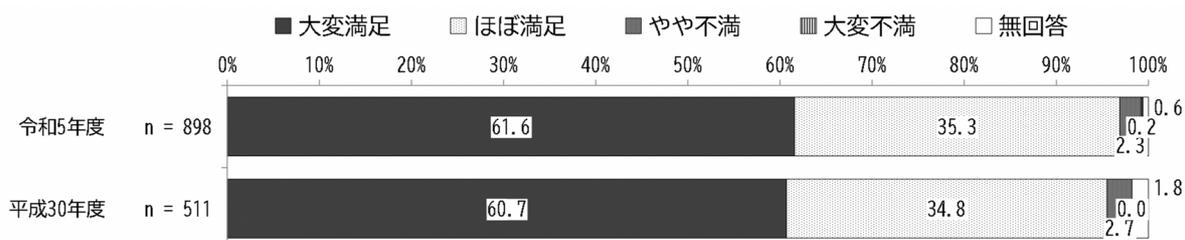
図表 66 子どもへの接し方・日常の遊び(保育内容)



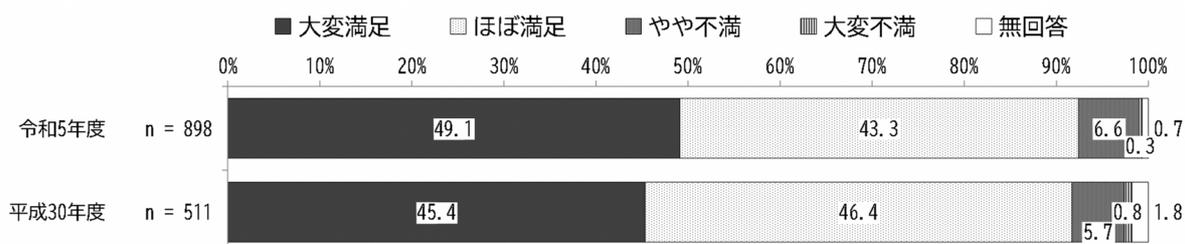
図表 67 行事(保育参観や運動会など)



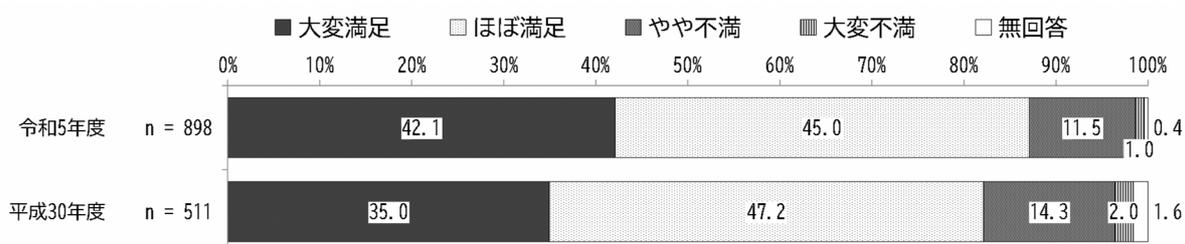
図表 68 食事



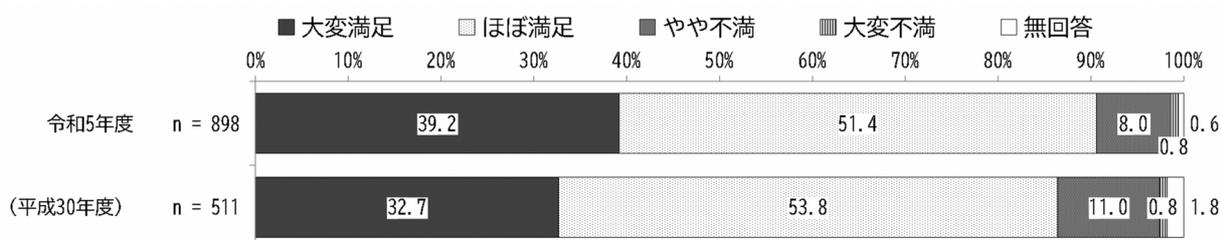
図表 69 病気やけがの時の対応



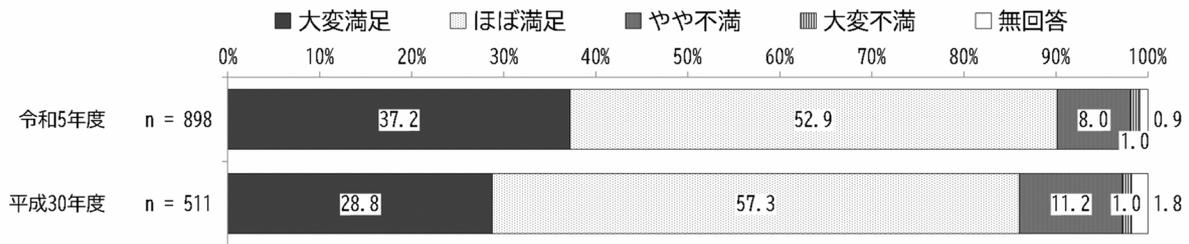
図表 70 保護者への情報伝達



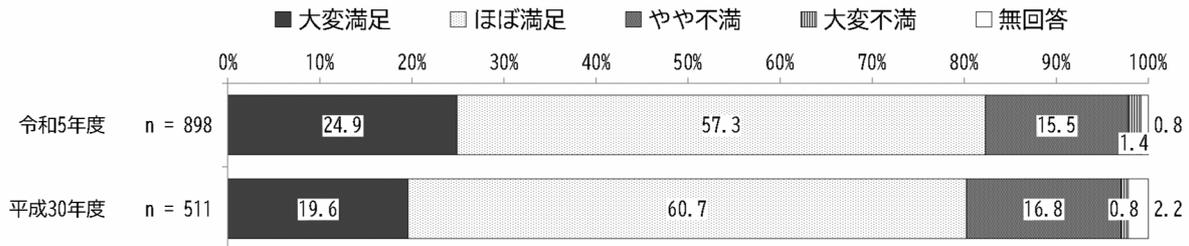
図表 71 悩みごとなどへの相談対応



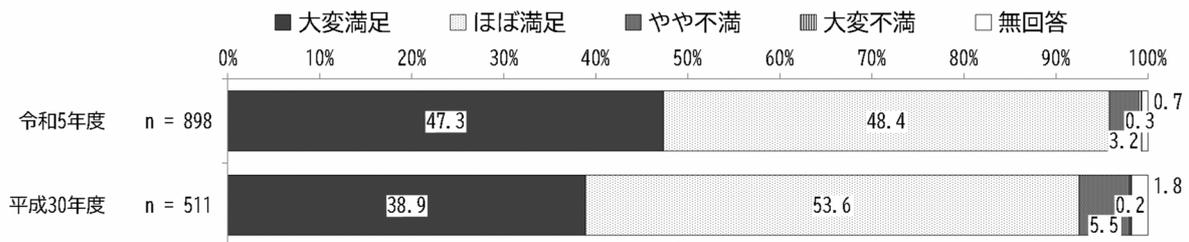
図表 72 保護者の要望・意見への対応



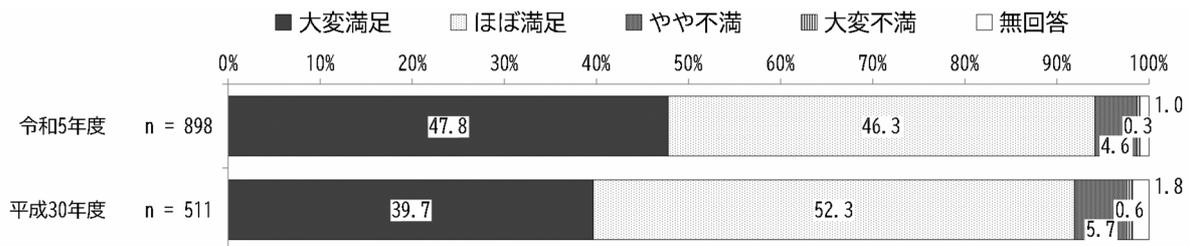
図表 73 利用者間のネットワークづくり



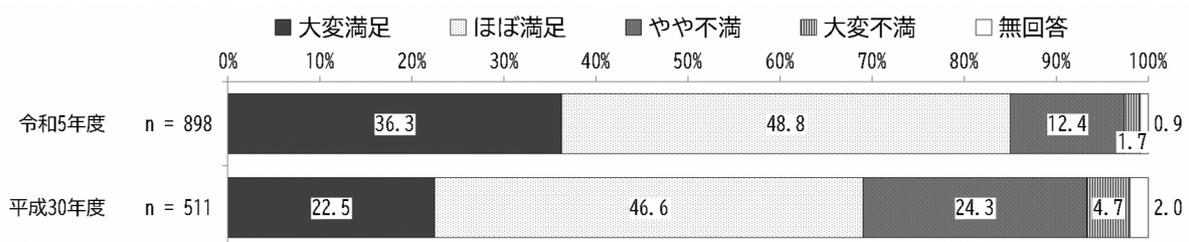
図表 74 安全対策



図表 75 衛生対策



図表 76 保育料または授業料



## 8. 平日の保育・教育事業の希望（就学前児童のみ）

現在、利用している、利用していないに関わらず、宛名のお子さんの平日の保育・教育事業として、「定期的に」利用したいと考える事業をすべてお答えください。（○はいくつでも）

- 「認定こども園」が60.9%で最も多く、次いで「認可保育園」が55.4%、「幼稚園」が17.2%となっています。
- 平成30年度調査と比べると「認定こども園」が大きく上昇し、「認可保育園」が低下しています。

図表 77 保育・教育事業の利用希望

	調査数	認定こども園	認可保育園	幼稚園	幼稚園の預かり保育	ファミリー・サポート・センター	小規模な保育施設	事業所内保育施設	居宅訪問型保育（ベビーシッター）	家庭的保育	その他認可外保育施設	その他	利用希望はない	無回答
令和5年度	1,147	60.9	55.4	17.2	11.0	9.5	7.1	6.0	5.2	2.2	1.1	0.7	5.1	1.0
平成30年度	967	39.9	67.8	22.3	12.8	5.6	4.1	7.7	0.9	2.2	0.3	0.5	4.0	1.7

（平日の保育・教育事業を利用したいと回答された方のみ）利用したい保育・教育事業の実施場所はどこですか。

- 「長岡地域（川東地域）」が45.7%、「長岡地域（川西地域）」が28.7%となっています。

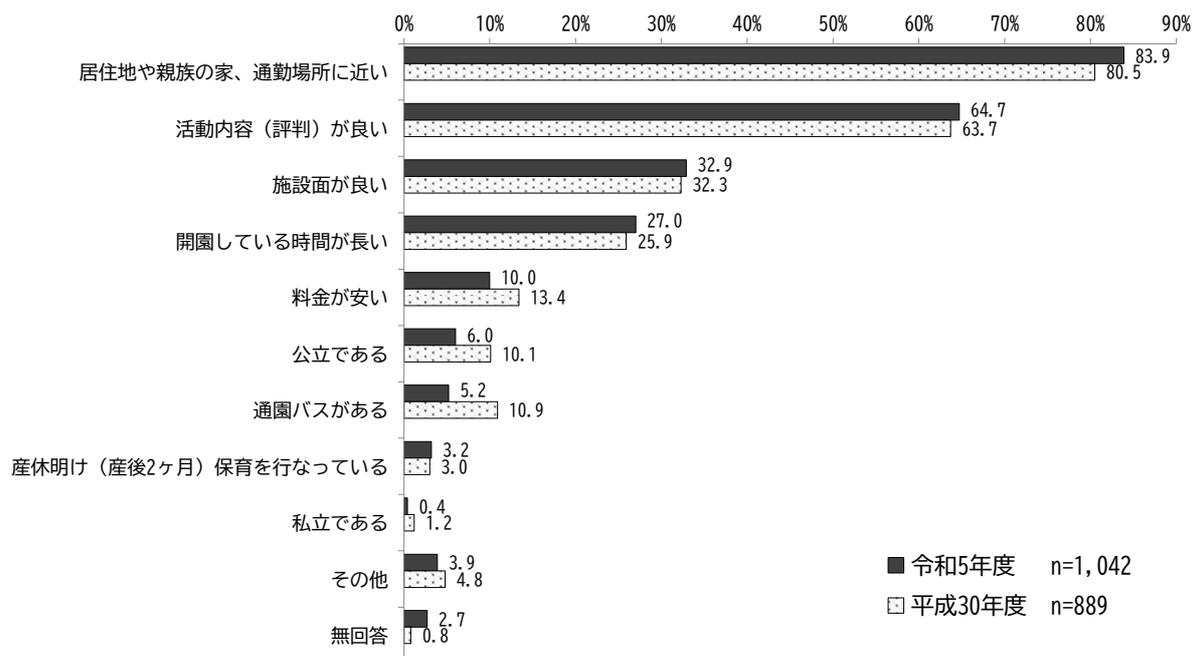
図表 78 保育・利用を希望する実施場所

	調査数	長岡地域（川東地域）	長岡地域（川西地域）	中之島地域	越路地域	三島地域	山古志地域	小国地域	和島地域	寺泊地域	栃尾地域	与板地域	川口地域	長岡市外	無回答
令和5年度	1,077	45.7	28.7	3.8	5.2	3.1	0.0	1.3	1.9	1.4	2.9	2.3	1.2	0.7	1.9
平成30年度	912	72.9		3.8	5.7	2.7	0.3	1.3	1.6	2.3	4.9	2.0	1.0	0.3	1.0

(保育園、幼稚園、認定こども園を利用したいと回答された方のみ) 園を選ぶ時に、何に重点を置きますか。(〇は3つまで)

- 「居住地や親族の家、通勤場所に近い」が83.9%で最も多く、次いで「活動内容(評判)が良い」が64.7%、「施設面が良い」が32.9%となっています。
- 平成30年度調査と比べると「料金が安い」「公立である」「通園バスがある」が低下しています。

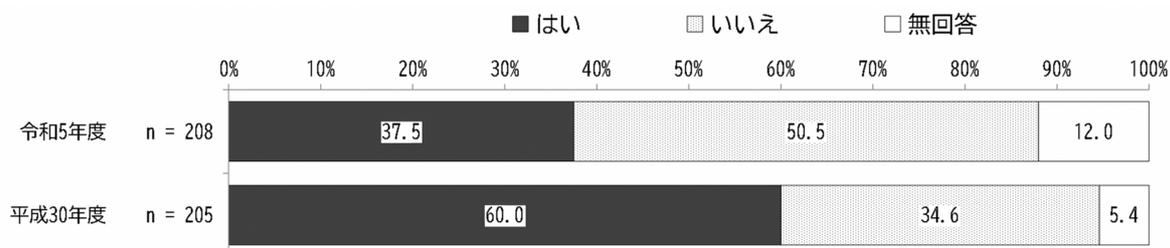
図表 79 園を選ぶときに重点を置くこと



(幼稚園または幼稚園の預かり保育を選択し、かつ幼稚園以外の教育・保育事業も利用したいと回答した方のみ) 特に幼稚園(幼稚園の預かり保育をあわせて利用する場合を含む)の利用を強く希望しますか。

- 「はい」が37.5%、「いいえ」が50.5%となっています。
- 平成30年度調査と比べると「はい」が大きく低下しています。

図表 80 幼稚園の利用希望



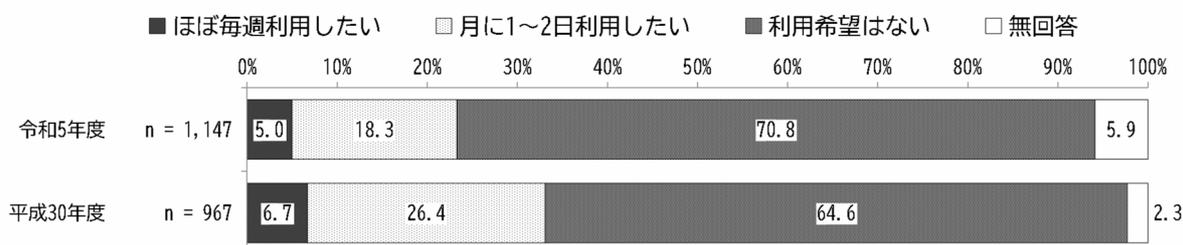
## 9. 土曜日・休日の保育・教育事業の希望（就学前児童のみ）

宛名のお子さんについて、土曜日・日曜日・祝日の定期的な保育・教育事業（一時的な利用や親族・知人による預かりは除きます）の利用希望が現在ありますか。現在の利用状況に関係なく、お答えください。

### (1) 土曜日・……………

- 「利用希望はない」が70.8%で最も多く、次いで「月に1~2日利用したい」が18.3%となっています。
- 平成30年度調査と比べると「利用希望はない」が上昇しています。

図表 81 土曜日の保育・教育事業の利用希望



図表 82 ほぼ毎週利用したい人の利用希望時間

#### <開始時間>

調査数	7時台	8時台	9時台	10時以降	無回答
57	22.8	40.4	36.8	0.0	0.0

#### <終了時間>

調査数	15時台	16時台	17時台	18時台	19時以降	無回答
57	21.1	19.3	22.8	33.3	3.5	0.0

図表 83 月に1~2日利用したい人の利用希望時間

#### <開始時間>

調査数	7時台	8時台	9時台	10時以降	無回答
210	19.5	34.8	17.6	2.9	25.2

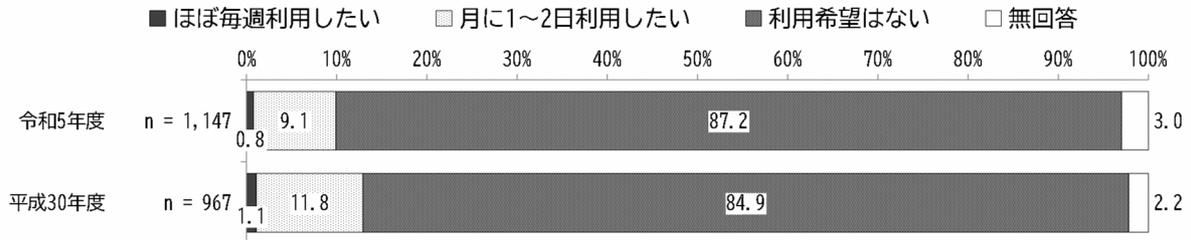
#### <終了時間>

調査数	15時台	16時台	17時台	18時台	19時以降	無回答
210	12.9	20.5	22.9	17.1	1.4	25.2

(2) 日曜日・祝日.....

- 「利用希望はない」が 87.2%で最も多く、次いで「月に 1~2 日利用したい」が 9.1%となっています。
- 平成 30 年度調査と比べると「利用希望はない」が上昇しています。

図表 84 日曜日・祝日の保育・教育事業の利用希望



図表 85 ほぼ毎週利用したい人の利用希望時間

<開始時間>

調査数	5 7 時台	8 時台	9 時台	1 0 時 以 降	無 回 答
9	44.4	33.3	22.2	0.0	0.0

<終了時間>

調査数	5 1 5 時台	1 6 時台	1 7 時台	1 8 時台	1 9 時 以 降	無 回 答
9	11.1	22.2	11.1	55.6	0.0	0.0

図表 86 月に 1~2 日利用したい人の利用希望時間

<開始時間>

調査数	5 7 時台	8 時台	9 時台	1 0 時 以 降	無 回 答
104	24.0	23.1	20.2	2.9	29.8

<終了時間>

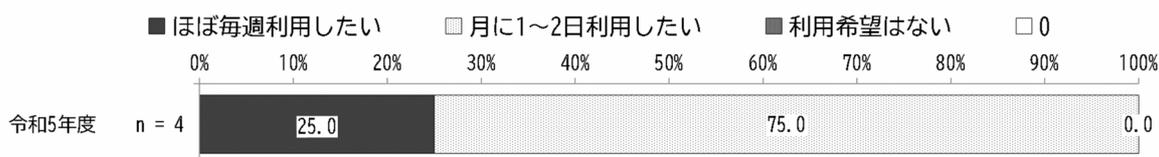
調査数	5 1 5 時台	1 6 時台	1 7 時台	1 8 時台	1 9 時 以 降	無 回 答
104	7.7	18.3	18.3	24.0	1.9	29.8

(3) 長期休暇.....

(幼稚園を利用されている方のみ) 宛名のお子さんについて、長期休暇期間に教育・保育事業の利用を希望しますか。※この事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。

- 「月に1~2日利用したい」が75.0%で最も多く、次いで「ほぼ毎週利用したい」が25.0%となっています。

図表 87 長期休暇の保育・教育事業の利用希望



図表 88 ほぼ毎週利用したい人の利用希望時間

<開始時間>

<終了時間>

調査数	7時台	8時台	9時台	10時以降	無回答
1	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0

調査数	15時台	16時台	17時台	18時台	19時以降	無回答
1	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0

図表 89 月に1~2日利用したい人の利用希望時間

<開始時間>

<終了時間>

調査数	7時台	8時台	9時台	10時以降	無回答
3	0.0	0.0	66.7	0.0	33.3

調査数	15時台	16時台	17時台	18時台	19時以降	無回答
3	66.7	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3

## 10. 地域の子育て支援事業の利用状況（就学前児童のみ）

### (1) 地域の子育て支援事業の利用経験……………

この1年間で、地域の子育て支援事業を利用したことがありますか。（○はいくつでも）

- 「長岡地域の子育ての駅を利用したことがある」が52.0%で最も多く、次いで「保育園、認定こども園等の子育て支援センター等を利用したことがある」が18.7%となっています。
- 平成30年度調査と比べると「いずれも利用したことはない」が上昇しています。

図表 90 地域の子育て支援事業の利用経験

	調査数	をの保 利子育 用育園 して た支認 こ援定 とセこ があども タも園 ある等	利長 用岡 し地 た域 この と子 が育 あて るの 駅を	利支 用所 し地 た域 この と子 が育 あて るの 駅を	ない ず れ も 利 用 し た こ と は	無 回 答
令和5年度	1,147	18.7	52.0	9.9	32.6	10.1
平成30年度	967	40.1	75.8		15.9	3.6

※平成30年度調査では長岡地域と支所地域の「子育ての駅」を一つにまとめています。

図表 91 保育園、認定こども園等の子育て支援センター等の利用回数

<1週間あたり>

調査数	1回	2回	3回	4回	5回以上
94	10.6	14.9	10.6	2.1	61.7

<1ヶ月あたり>

調査数	1回	2回	3回以上
44	45.5	31.8	22.7

<年あたり>

調査数	1回	3回	6回	1回以上
72	63.9	25.0	9.7	1.4

図表 92 長岡地域の子育ての駅の利用回数

<1週間あたり>

調査数	1回	2回	3回	4回	5回以上
44	61.4	18.2	15.9	2.3	2.3

<1ヶ月あたり>

調査数	1回	2回	3回以上
185	51.9	34.6	13.5

<年あたり>

調査数	1回	3回	6回	1回以上
354	39.8	48.9	9.9	1.4

図表 93 支所地域の子育ての駅の利用回数

<1週間あたり>

調査数	1回	2回	3回	4回	5回以上
8	50.0	25.0	12.5	12.5	0.0

<1ヶ月あたり>

調査数	1回	2回	3回以上
24	58.3	25.0	16.7

<年あたり>

調査数	1回	3回	6回	1回以上
80	65.0	33.8	1.3	0.0

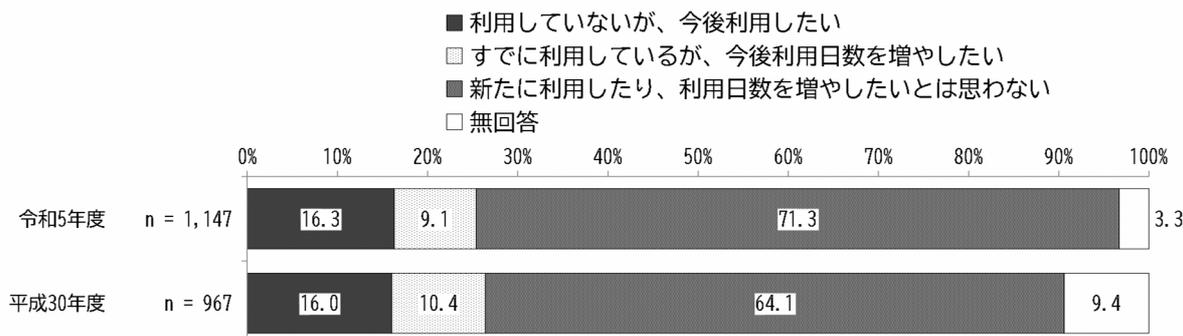
(2) 地域の子育て支援事業の利用希望.....

地域の子育て支援事業の利用希望についておたずねします。

1) 保育園、認定こども園等の子育て支援センター等

- 「新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない」が71.3%で最も多く、次いで「利用していないが、今後利用したい」が16.3%となっています。

図表 94 保育園、認定こども園等の子育て支援センター等の利用希望



図表 95 保育園、認定こども園等の子育て支援センター等の利用希望回数(今後利用したい方)

<1週間あたり>

<1ヶ月あたり>

<年あたり>

調査数	<1週間あたり>					<1ヶ月あたり>			<年あたり>					
	1回	2回	3回	4回	5回以上	調査数	1回	2回	3回以上	調査数	1回	3回	6回	1回以上
41	56.1	9.8	7.3	2.4	24.4	73	19.2	8.2	5.5	44	68.2	29.5	2.3	0.0

図表 96 保育園、認定こども園等の子育て支援センター等の利用希望回数(利用を増やしたい方)

<1週間あたり>

<1ヶ月あたり>

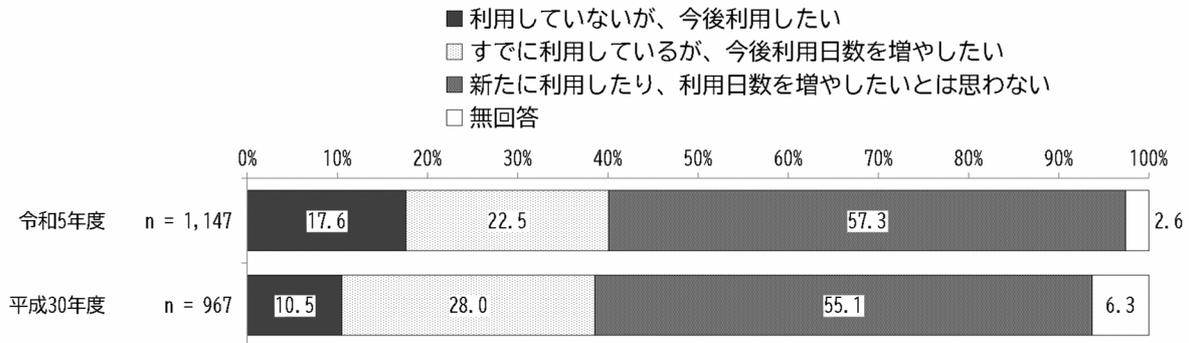
<年あたり>

調査数	<1週間あたり>					<1ヶ月あたり>			<年あたり>					
	1回	2回	3回	4回	5回以上	調査数	1回	2回	3回以上	調査数	1回	3回	6回	1回以上
37	73.0	13.5	10.8	2.7	0.0	40	55.0	32.5	12.5	15	33.3	46.7	20.0	0.0

## 2) 長岡地域の子育ての駅

- 「新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない」が57.3%で最も多く、次いで「すでに利用しているが、今後日数を増やしたい」が22.5%となっています。

図表 97 長岡地域の子育ての駅の利用希望



※平成30年度調査は長岡地域と支所地域の「子育ての駅」を一つにまとめています。

図表 98 長岡地域の子育ての駅の利用希望の利用希望回数(今後利用したい方)

<1週間当たり>

<1ヶ月当たり>

<年当たり>

調査数	1回	2回	3回	4回	5回以上	調査数	1回	2回	3回以上	調査数	1回	3回	6回	1回以上
18	83.3	11.1	5.6	0.0	0.0	88	68.2	29.5	2.3	70	48.6	44.3	7.1	0.0

図表 99 長岡地域の子育ての駅の利用希望の利用希望回数(利用を増やしたい方)

<1週間当たり>

<1ヶ月当たり>

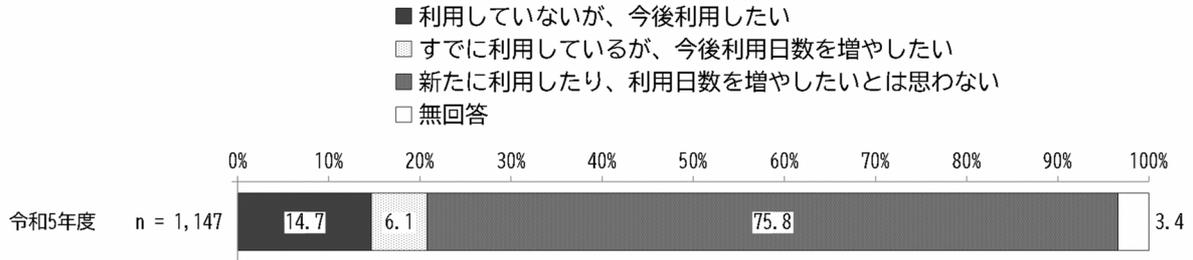
<年当たり>

調査数	1回	2回	3回	4回	5回以上	調査数	1回	2回	3回以上	調査数	1回	3回	6回	1回以上
42	78.6	14.3	2.4	2.4	2.4	138	57.2	26.8	15.9	62	27.4	41.9	24.2	6.5

### 3) 支所地域の子育ての駅

- 「新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない」が75.8%で最も多く、次いで「利用していないが、今後利用したい」が14.7%となっています。

図表 100 支所地域の子育ての駅の利用希望



図表 101 支所地域の子育ての駅の利用希望回数(今後利用したい方)

<1週間あたり>

<1ヶ月あたり>

<年あたり>

調査数	1回	2回	3回	4回	5回以上
16	93.8	6.3	0.0	0.0	0.0

調査数	1回	2回	3回以上
73	74.0	26.0	0.0

調査数	1回	3回	6回	1回以上
60	65.0	26.7	8.3	0.0

図表 102 支所地域の子育ての駅の利用希望回数(利用を増やしたい方)

<1週間あたり>

<1ヶ月あたり>

<年あたり>

調査数	1回	2回	3回	4回	5回以上
8	75.0	25.0	0.0	0.0	0.0

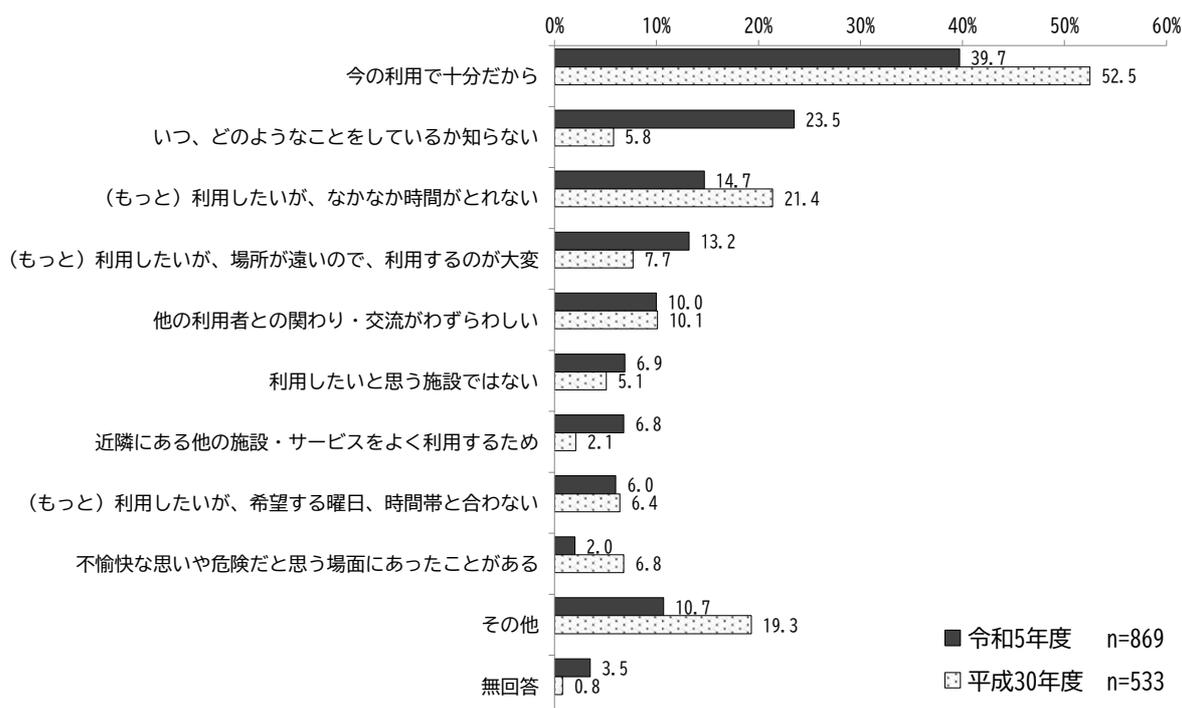
調査数	1回	2回	3回以上
24	58.3	25.0	16.7

調査数	1回	3回	6回	1回以上
80	65.0	33.8	1.3	0.0

(支所地域の子育ての駅を「新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない」と回答した方のみ) 新たに利用したり、利用日数を増やしたいと思わない理由は何ですか。(〇はいくつでも)

- 「今の利用で十分だから」が39.7%で最も多く、「いつ、どのようなことをしているか知らない」が23.5%、「(もっと)利用したいが、なかなか時間がとれない」が14.7%となっています。

図表 103 支所地域の子育ての駅を利用したり、利用日数を増やしたいと思わない理由



※平成30年度調査は長岡地域と支所地域の「子育ての駅」を一つにまとめて確認しています。

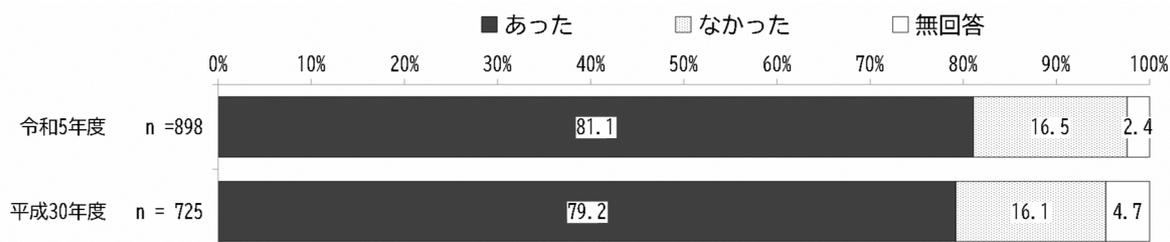
## 1.1. お子さんが病気の時の対応

### (1) 就学前児童

(平日の定期的な保育・教育の事業を利用している保護者の方のみ) この1年間に、宛名のお子さんが病気や怪我で通常の事業が利用できなかったことはありますか。

- 「あった」が81.1%、「なかった」が16.5%となっています。

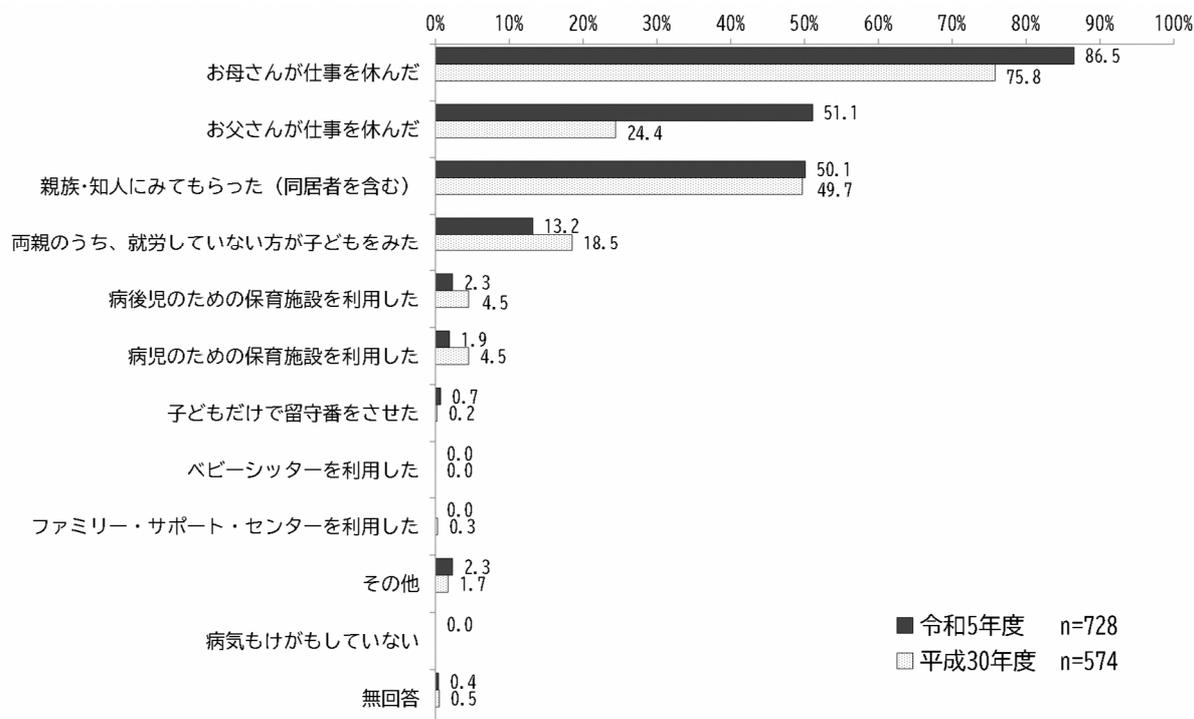
図表 104 病気やけがで保育・教育事業を利用できなかった経験の有無



(病気や怪我で通常の事業が利用できなかったことがあったと回答した方のみ) 宛名のお子さんが病気やけがで普段利用している保育・教育の事業が利用できなかった場合に、この1年間に行なった対処方法としてあてはまるものすべてに○をつけてください。

- 「お母さんが仕事を休んだ」が86.5%で最も多く、次いで「お父さんが仕事を休んだ」が51.1%となっています。
- 平成30年度調査と比べると「お父さんが仕事を休んだ」が大きく上昇しています。

図表 105 病気やけがで保育・教育事業を利用できなかったときの対処方法



※平成30年度調査は「病後児のための保育施設を利用した」と「病児のための保育施設を利用した」を一つにまとめて確認しています。また、「病気もけがもしていない」はありません。

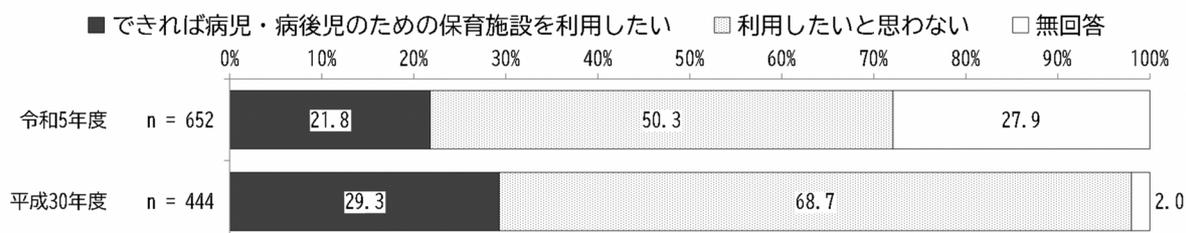
図表 106 対処方法別の日数

	調査数	1 ～ 2 日	3 ～ 5 日	6 ～ 1 0 日	1 1 日 以 上	無 回 答
お母さんが仕事を休んだ	630	5.9	19.2	35.6	35.7	3.7
お父さんが仕事を休んだ	372	25.5	41.9	22.8	6.5	3.2
親族・知人にみてもらった（同居者を含む）	365	15.6	35.6	25.8	18.4	4.7
両親のうち、就労していない方が子どもをみた	96	8.3	19.8	28.1	38.5	5.2
病後児のための保育施設を利用した	17	29.4	35.3	17.6	17.6	0.0
病児のための保育施設を利用した	14	50.0	28.6	14.3	7.1	0.0
子どもだけで留守番をさせた	5	40.0	40.0	0.0	0.0	20.0
ベビーシッターを利用した	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
ファミリー・サポート・センターを利用した	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他	17	11.8	5.9	29.4	23.5	29.4

（お父さんまたはお母さんが仕事を休んだ、子どもだけで留守番をさせたと回答された方のみ）「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思われましたか。

- 「できれば病児・病後児のための保育施設を利用したい」が21.8%、「利用したいと思わない」が50.3%となっています。

図表 107 病児・病後児のための保育施設等の利用意向



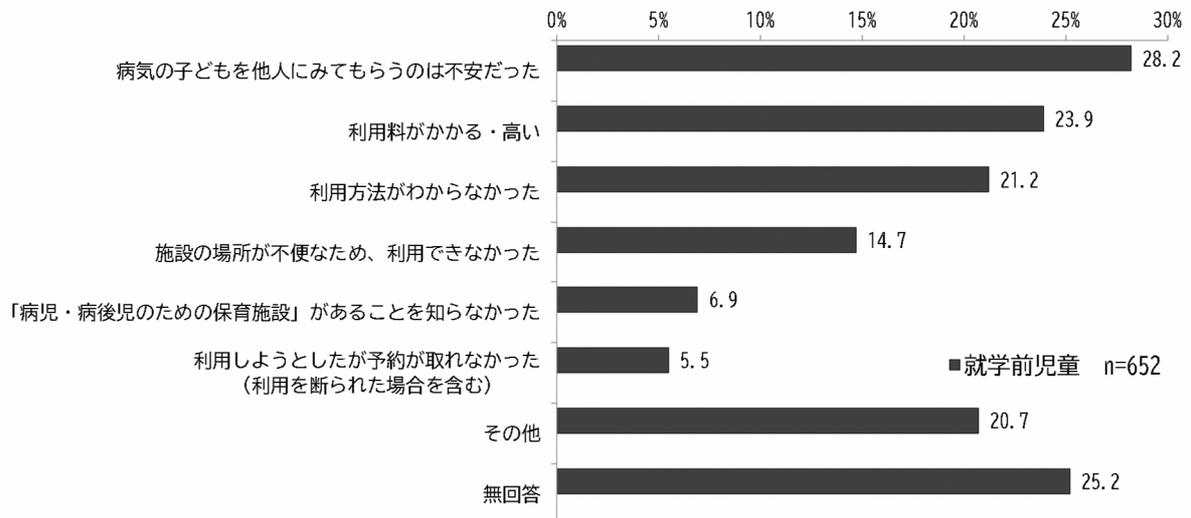
図表 108 病児・病後児のための保育施設等の利用希望日数

	調査数	1 ～ 2 日	3 ～ 5 日	6 ～ 1 0 日	1 1 日 以 上	無 回 答
病児保育施設	142	13.4	31.7	19.0	9.2	26.8
病後児保育施設	142	15.5	33.1	20.4	10.6	20.4

「病児・病後児のための保育施設を利用しなかった」のはなぜですか。(〇はいくつでも)

- 「病気の子どもを他人にみてもらうのは不安だった」が28.2%で最も多く、「利用料がかかる・高い」が23.9%、「利用方法がわからなかった」が21.2%となっています。

図表 109 病児・病後児のための保育施設等を利用しなかった理由

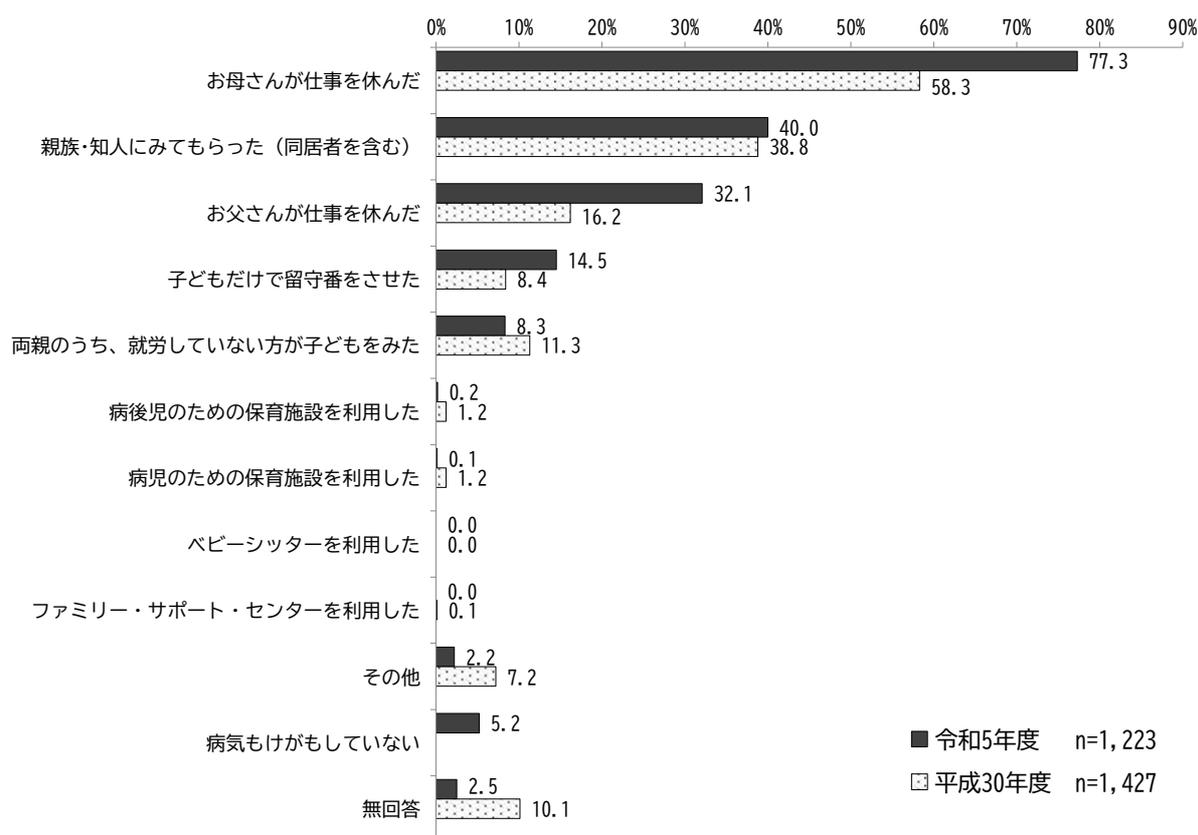


(2) 小学生.....

宛名のお子さんが病気やけがで学校を休んだ場合に、この1年間に行なった対処方法としてあてはまるものすべてに○をつけてください。

- 「お母さんが仕事を休んだ」が77.3%で最も多く、次いで「親族・知人にみてもらった（同居者を含む）」が40.0%となっています。
- 平成30年度調査と比べると「お父さんが仕事を休んだ」「子供だけで留守番をさせた」が上昇しています。

図表 110 病気やけがで学校を休んだときの対処方法



※平成30年度調査は「病後児のための保育施設を利用した」と「病児のための保育施設を利用した」を一つにまとめて確認しています。また、「病気もけがもしていない」はありません。

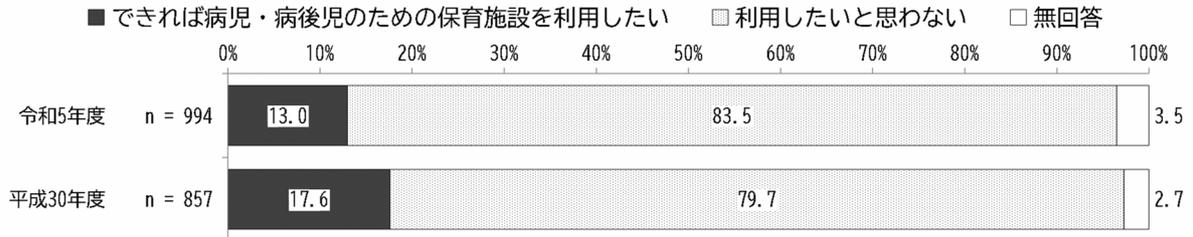
図表 III 対処方法別の日数

	調査数	1 ～ 2 日	3 ～ 5 日	6 ～ 1 0 日	1 1 日 以上	無 回 答
お母さんが仕事を休んだ	945	22.9	35.7	24.8	12.9	3.8
親族・知人にみてもらった（同居者を含む）	489	27.2	37.0	23.7	7.2	4.9
お父さんが仕事を休んだ	392	45.9	36.0	14.0	1.5	2.6
子どもだけで留守番をさせた	177	53.7	31.6	10.2	1.7	2.8
両親のうち、就労していない方が子どもをみた	102	14.7	32.4	24.5	20.6	7.8
病後児のための保育施設を利用した	3	33.3	0.0	0.0	0.0	66.7
病児のための保育施設を利用した	1	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
ベビーシッターを利用した	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
ファミリー・サポート・センターを利用した	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他	27	33.3	29.6	14.8	7.4	14.8

(お父さんまたはお母さんが仕事を休んだ、子どもだけで留守番をさせたと回答された方のみ)「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思われましたか。

- 「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」が13.0%、「利用したいと思わない」が83.5%となっています。

図表 112 病児・病後児のための保育施設等の利用意向



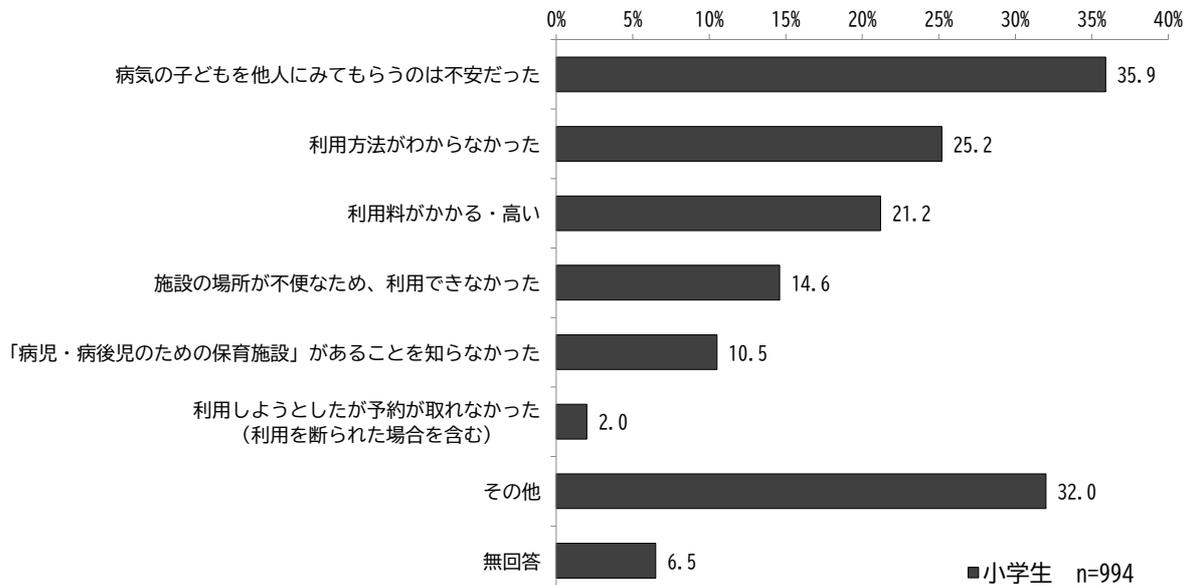
図表 113 病児・病後児のための保育施設等の利用日数

	調査数	1日	3日	6日	1日以上	無回答
病児保育施設	100	26.0	51.0	19.0	4.0	0.0
病後児保育施設	100	24.0	54.0	20.0	2.0	0.0

「病児・病後児のための保育施設を利用しなかった」のはなぜですか。(〇はいくつでも)

- 「病気の子どもを他人にみてもらうのは不安だった」が35.9%で最も多く、次いで「利用方法がわからなかった」が25.2%、「利用料がかかる・高い」が21.2%となっています。

図表 114 病児・病後児のための保育施設等を利用しなかった理由



## 12. お子さんの一時預かり

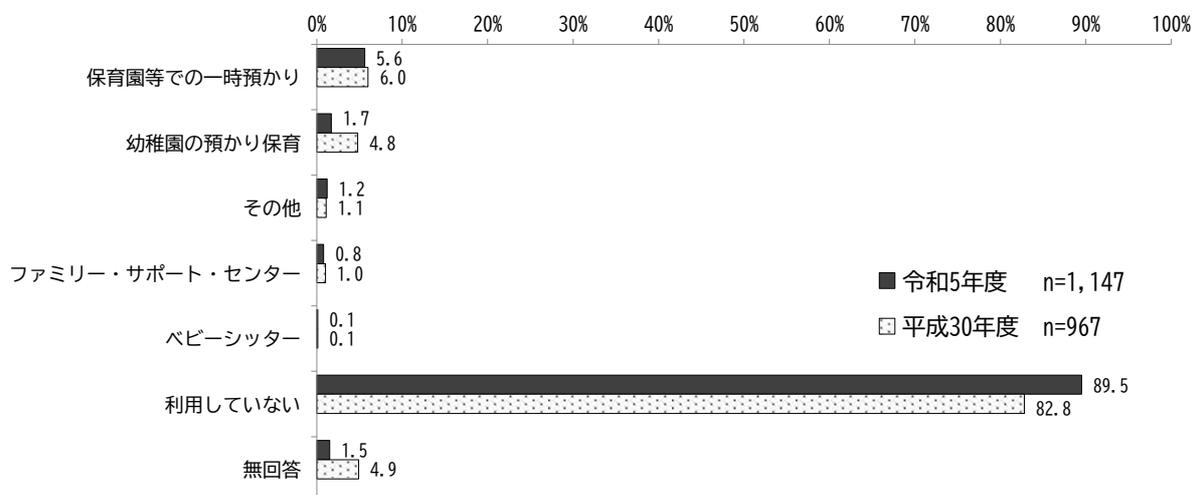
### (1) 就学前児童

#### 1) 不定期に利用している事業

宛名のお子さんについて、日中の定期的な保育や病気のため以外に、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で不定期に利用している事業はありましたか。ある場合は、あてはまるものすべてに○をつけてください。

- 「利用していない」が89.5%で最も多く、次いで「保育園等での一時預かり」が5.6%となっています。

図表 115 不定期に利用している事業の有無



図表 116 不定期に利用している事業の日数

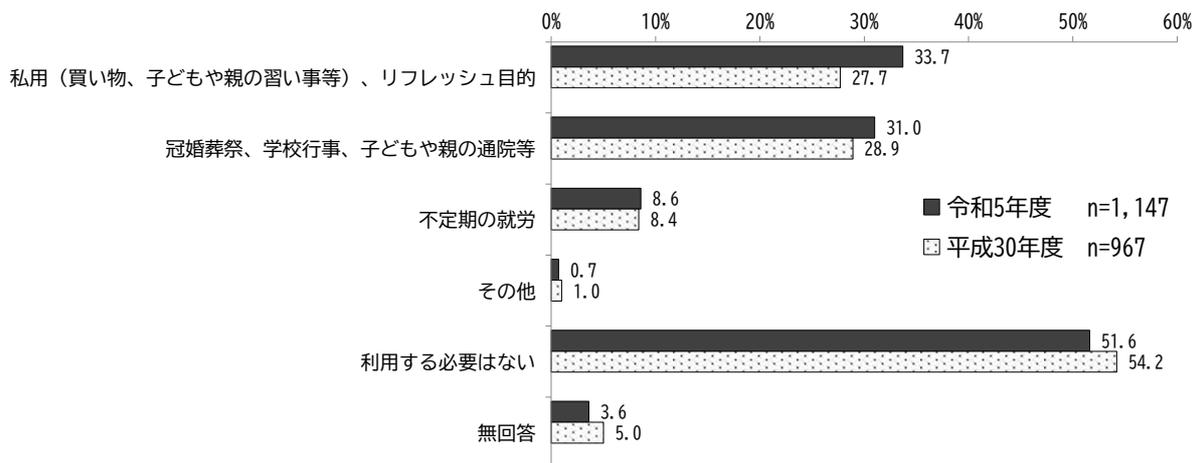
	調査数	1	3	6	1	無回答
		日	日	日	日以上	
保育園等で一時預かり	64	23.4	26.6	20.3	20.3	9.4
幼稚園預かり保育	20	25.0	35.0	15.0	15.0	10.0
ファミリー・サポート・センター	9	44.4	22.2	0.0	11.1	22.2
ベビーシッター	1	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
その他	14	21.4	35.7	28.6	7.1	7.1

## 2) 事業を不定期に利用する見込み

宛名のお子さんについて、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で、年間何日くらい事業を利用する必要があると思いますか。利用希望についてあてはまる番号すべてに○をつけてください。

- 「利用する必要はない」が51.6%で最も多く、次いで「私用（買い物、子どもや親の習い事等）、リフレッシュ目的」が33.7%、「冠婚葬祭、学校行事、子どもや親の通院等」が31.0%となっています。

図表 117 事業を不定期に利用する見込み



図表 118 目的別利用日数

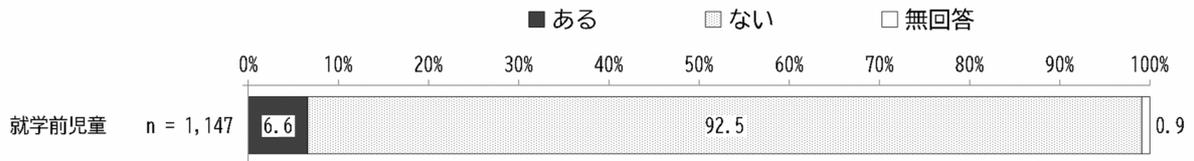
	調査数	1日	3日	6日	1日以上	無回答
私用（買い物、子どもや親の習い事等）、リフレッシュ目的	387	7.0	31.8	26.4	33.1	1.8
冠婚葬祭、学校行事、子どもや親の通院等	356	12.1	41.0	28.4	16.6	2.0
不定期の就労	99	6.1	30.3	24.2	30.3	9.1
その他	8	12.5	62.5	12.5	0.0	12.5

### 3) 短期入所生活援助事業

この1年間に、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気、（兄弟姉妹を含め）子育て疲れや子育ての不安など）により、宛名のお子さんを泊まりがけで家族以外に預ける必要があると思いますか。

➤ 「ある」が6.6%、「ない」が92.5%となっています。

図表 119 泊りがけで家族以外に預ける見込み



（あると回答された方のみ）家族以外に預けるにあたり、短期入所生活援助事業（ショートステイ（施設等で一定期間、子どもを保護する事業））の利用希望の有無を教えてください。

➤ 「利用したい」が52.6%、「利用希望はない」が40.8%となっています。

図表 120 短期入所生活援助事業の利用希望の有無



図表 121 短期入所生活援助事業の利用希望日数

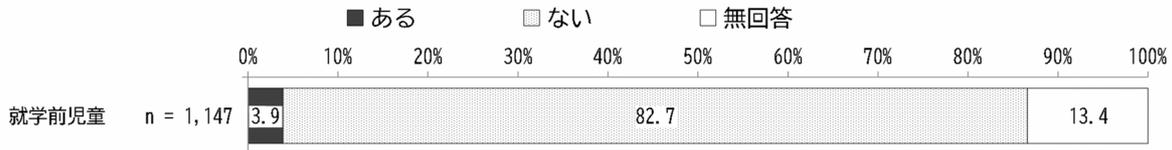
	調査数	1 ~ 2 日	3 ~ 5 日	6 ~ 1 0 日	1 ~ 1 日 以上	無 回 答
利用したい合計泊数	40	10.0	25.0	12.5	2.5	50.0
冠婚葬祭	14	85.7	14.3	0.0	0.0	0.0
保護者や家族の子育て疲れ・不安	25	60.0	36.0	4.0	0.0	0.0
保護者や家族の病気	26	26.9	53.8	15.4	3.8	0.0
その他	16	37.5	31.3	12.5	18.8	0.0

#### 4) 夜間養護等事業

宛名のお子さんについて、仕事その他の理由により、平日の夜間に家族以外に預ける必要があると思いますか。

➤ 「ある」が3.9%、「ない」が82.7%となっています。

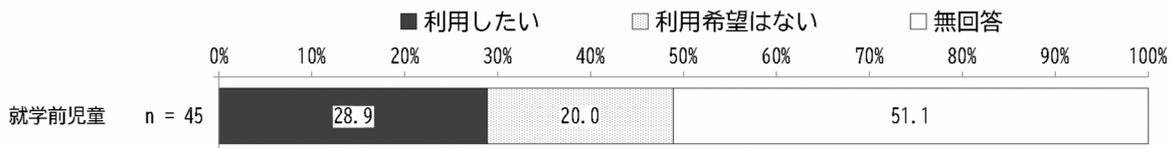
図表 122 平日の夜間に家族以外に預ける見込み



(あると回答された方のみ) 家族以外に預けるにあたり、夜間養護等事業(トワイライトステイ(施設等で一時的に夜間に子供を保護する事業))の利用希望の有無について、あてはまるものに○をつけてください。

➤ 「利用したい」が28.9%、「利用希望はない」が20.0%となっています。

図表 123 夜間養護等事業の利用希望



図表 124 夜間養護等事業の利用日数

調査数	1日	3日	6日	1日以上	無回答
	5	5	5	1	
	2	5	1	0	
	日	日	日	日	
	13	23.1	38.5	0.0	38.5
					0.0

図表 125 夜間養護等事業の利用時間

<開始時間>

<終了時間>

調査数	17時	17時台	18時台	19時以降	無回答
	5	1	1	1	
	13	23.1	30.8	23.1	23.1
					0.0

調査数	15時台	16時台	17時台	18時台	19時以降	無回答
	5	1	1	1	1	
	13	61.5	0.0	7.7	7.7	15.4
						7.7

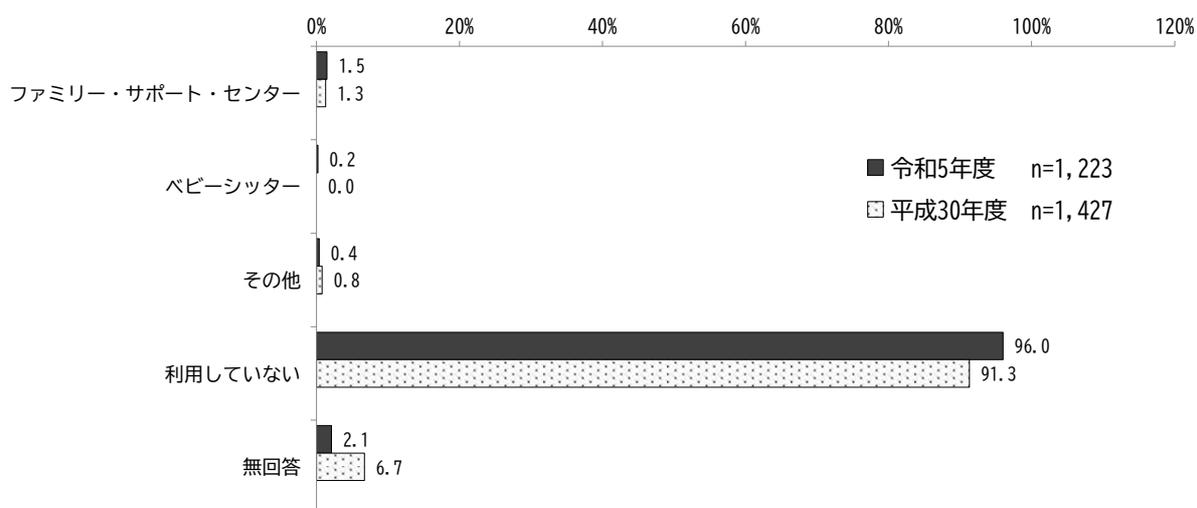
(2) 小学生.....

1) 不定期に利用している事業

宛名のお子さんについて、日中の定期的な保育や病気のため以外に、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で不定期に利用している事業はありましたか。ある場合は、あてはまるものすべてに○をつけてください。

- 「利用していない」が96.0%で最も多く、次いで「ファミリー・サポート・センター」が1.5%となっています。

図表 126 不定期に利用している事業の有無



図表 127 不定期に利用している事業の日数

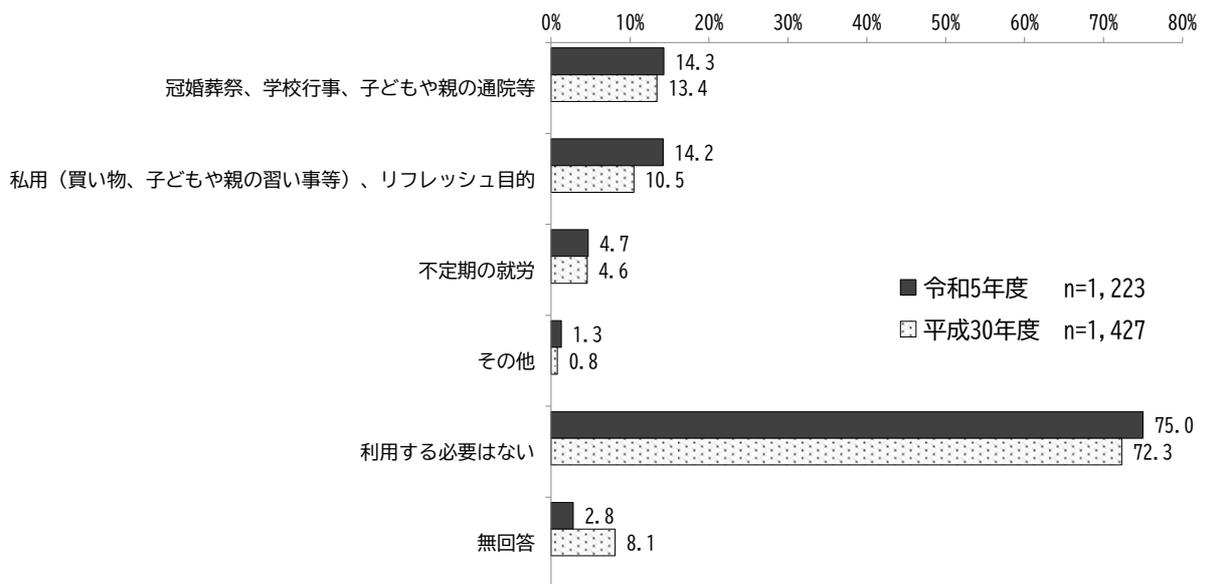
	調査数	1日	3日	6日	1日以上	無回答
ファミリー・サポート・センター	18	22.2	0.0	22.2	22.2	33.3
ベビーシッター	2	50.0	0.0	0.0	50.0	0.0
その他	5	0.0	40.0	20.0	20.0	20.0

## 2) 事業を不定期に利用する見込み

宛名のお子さんについて、私用、親の通院、不特定の就労等の目的で、年間何日くらい事業を利用する必要があると思いますか。利用希望についてあてはまる番号すべてに○をつけてください。

- 「利用する必要はない」が75.0%で最も多く、次いで「冠婚葬祭、学校行事、子どもや親の通院等」が14.3%、「私用（買い物、子どもや親の習い事等）、リフレッシュ目的」が14.2%となっています。

図表 128 事業を不定期に利用する見込み



図表 129 目的別利用日数

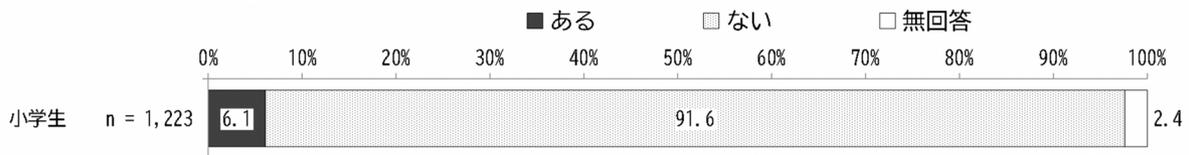
	調査数	1 〜 2 日	3 〜 5 日	6 〜 1 0 日	1 〜 1 日 以上	無 回 答
私用（買い物、子どもや親の習い事等）、リフレッシュ目的	174	11.5	35.6	19.0	30.5	3.4
冠婚葬祭、学校行事、子どもや親の通院等	175	15.4	39.4	25.1	17.1	2.9
不定期の就労	57	8.8	31.6	26.3	29.8	3.5
その他	16	0.0	0.0	25.0	18.8	56.3

### 3) 短期入所生活援助事業

この1年間に、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気、（兄弟姉妹を含め）子育て疲れや子育ての不安など）により、宛名のお子さんを泊まりがけで家族以外に預ける必要があると思いますか。

➤ 「ある」が6.1%、「ない」が91.6%となっています。

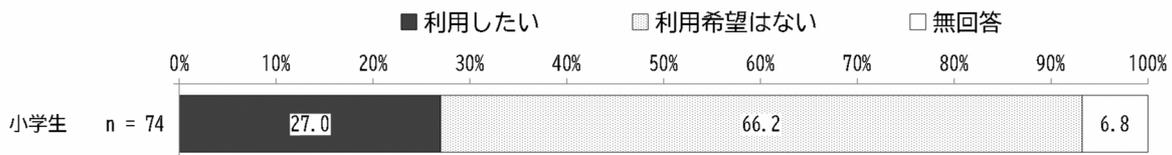
図表 130 泊りがけで家族以外に預ける見込み



（あると回答された方のみ）家族以外に預けるにあたり、短期入所生活援助事業（ショートステイ（施設等で一定期間、子どもを保護する事業））の利用希望の有無を教えてください。

➤ 「利用したい」が27.0%、「利用希望はない」が66.2%となっています。

図表 131 短期入所生活援助事業の利用希望の有無



図表 132 短期入所生活援助事業の利用希望日数

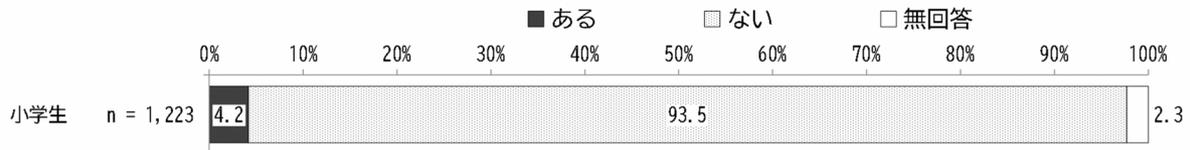
	調査数	1 日	3 日	6 日	1 日 以上	無 回 答
利用したい合計泊数	20	15.0	35.0	10.0	5.0	35.0
冠婚葬祭	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
保護者や家族の子育て疲れ・不安	15	53.3	26.7	0.0	6.7	13.3
保護者や家族の病気	11	63.6	27.3	9.1	0.0	0.0
その他の理由	4	75.0	25.0	0.0	0.0	0.0

#### 4) 夜間養護等事業

宛名のお子さんについて、仕事その他の理由により、平日の夜間に家族以外に預ける必要があると思いますか。

➤ 「ある」が4.2%、「ない」が93.5%となっています。

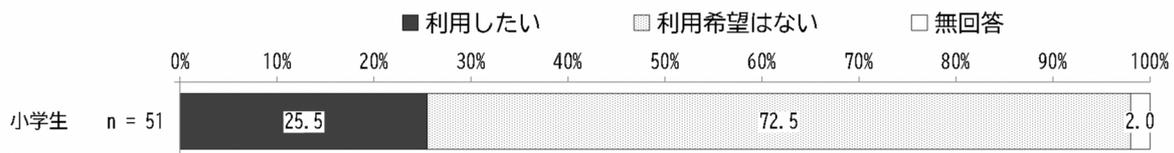
図表 133 平日の夜間に家族以外に預ける見込み



(あると回答された方のみ) 家族以外に預けるにあたり、夜間養護等事業(トワイライトステイ(施設等で一時的に夜間に子供を保護する事業))の利用希望の有無について、あてはまるものに○をつけてください。

➤ 「利用したい」が25.5%、「利用希望はない」が72.5%となっています。

図表 134 夜間養護等事業の利用希望



図表 135 夜間養護等事業の利用日数

調査数	1日	3日	6日	1日以上	無回答
	5	5	5	1	1
	2	5	1	0	1
	日	日	日	日	以上
	13	7.7	0.0	53.8	23.1
					15.4

図表 136 夜間養護等事業の利用時間

<開始時間>

<終了時間>

調査数	5時	7時台	8時台	9時以降	無回答
	1	1	1	1	無回答
	7	7	8	9	
	時	時台	時台	時以降	
	13	7.7	15.4	30.8	23.1
					23.1

調査数	5時台	6時台	7時台	8時台	9時以降	無回答
	1	1	1	1	1	無回答
	5	6	7	8	9	
	時台	時台	時台	時台	時以降	
	13	30.8	0.0	15.4	7.7	23.1
						23.1

### 13. 放課後過ごす場所

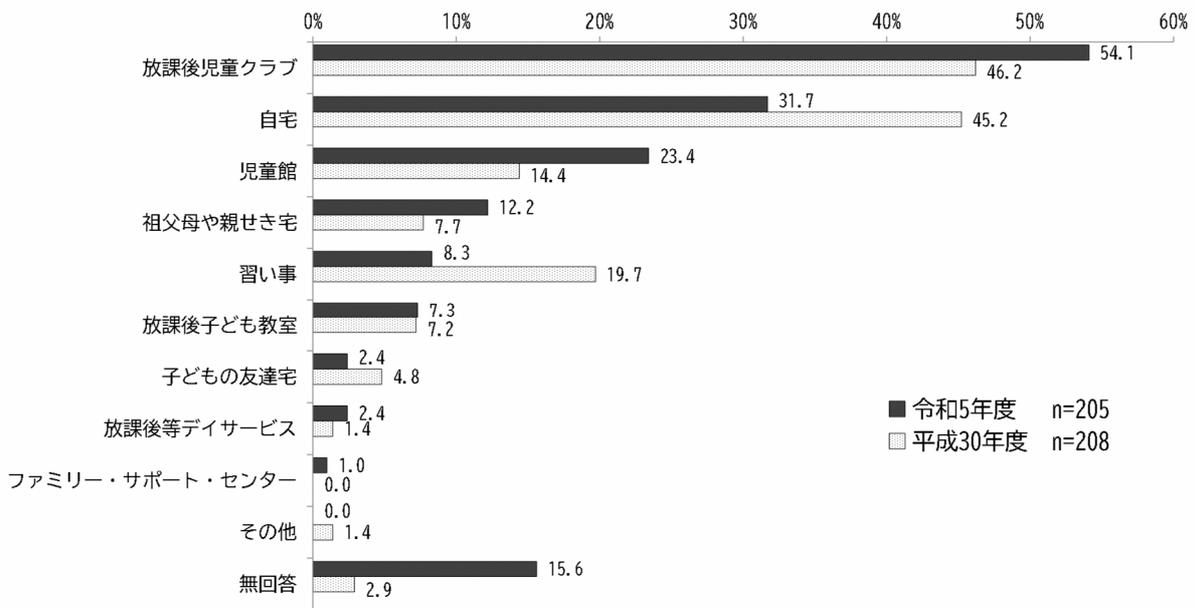
#### (1) 就学前児童……………

(宛名のお子さんが5歳以上である方のみ) 宛名のお子さんについて、小学生になったら、放課後(平日の小学校終了後)の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。低学年(1~3年生)と高学年(4~6年生)、それぞれについて、あてはまるものすべてに○をつけてください。

#### 1) 小学校低学年(1~3年生)

- 「放課後児童クラブ」が54.1%で最も多く、次いで「自宅」が31.7%、「児童館」が23.4%となっています。
- 平成30年度調査と比べると「児童館」が上昇、「自宅」「習い事」が大きく低下しています。

図表 137 希望する放課後の過ごす場所(小学校低学年時)



図表 138 場所別の希望日数(小学校低学年時)

	調査数	1日	2日	3日	4日	5日	6日以上	無回答
放課後児童クラブ	348	2.3	5.5	12.1	6.6	63.8	2.3	7.5
自宅	246	6.1	15.4	16.3	10.2	36.6	1.2	14.2
児童館	146	13.0	10.3	10.3	6.2	52.7	0.0	7.5
習い事	98	52.0	35.7	4.1	0.0	0.0	0.0	8.2
祖父母や親せき宅	89	21.3	19.1	12.4	4.5	30.3	0.0	12.4
放課後子ども教室	48	29.2	18.8	6.3	0.0	35.4	0.0	10.4
子どもの友達宅	28	53.6	35.7	3.6	3.6	3.6	0.0	0.0
放課後等デイサービス	13	23.1	15.4	0.0	7.7	46.2	0.0	7.7
ファミリー・サポート・センター	4	0.0	25.0	25.0	0.0	0.0	0.0	50.0
その他	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0

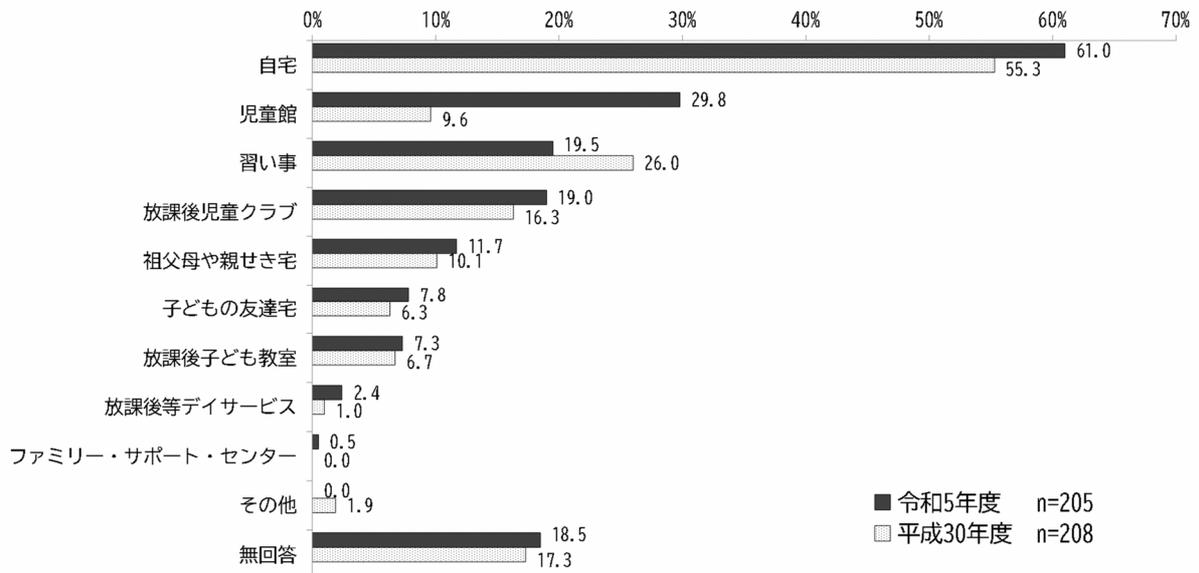
図表 139 放課後児童クラブの利用終了時間(小学校低学年時)

調査数	5時台	6時台	7時台	8時台	9時以降	無回答
348	2.6	10.3	29.6	42.0	5.5	10.1

## 2) 小学校高学年（4～6年生）

- 「自宅」が61.0%で最も多く、次いで「児童館」が29.8%、「習い事」が19.5%となっています。
- 平成30年度調査と比べると「自宅」「児童館」「放課後児童クラブ」が上昇、「習い事」が低下しています。

図表 140 希望する放課後の過ごす場所（小学校高学年時）



図表 141 場所別の希望日数（小学校高学年時）

	調査数	1日	2日	3日	4日	5日	6日以上	無回答
自宅	424	3.3	12.0	17.0	8.3	45.8	0.7	13.0
児童館	211	9.5	8.5	5.2	2.8	17.5	0.0	56.4
習い事	173	39.3	36.4	10.4	2.3	2.9	0.0	8.7
放課後児童クラブ	129	10.1	12.4	15.5	4.7	41.9	1.6	14.0
祖父母や親せき宅	90	17.8	20.0	12.2	3.3	38.9	0.0	7.8
放課後子ども教室	63	36.5	17.5	7.9	0.0	23.8	0.0	14.3
子どもの友達宅	58	44.8	31.0	12.1	1.7	5.2	0.0	5.2
放課後等デイサービス	9	11.1	22.2	0.0	11.1	44.4	0.0	11.1
ファミリー・サポート・センター	2	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	50.0
その他	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

図表 142 放課後児童クラブの利用終了時間（小学校高学年時）

調査数	15時台	16時台	17時台	18時台	19時以降	無回答
129	3.1	7.0	21.7	45.0	4.7	18.6

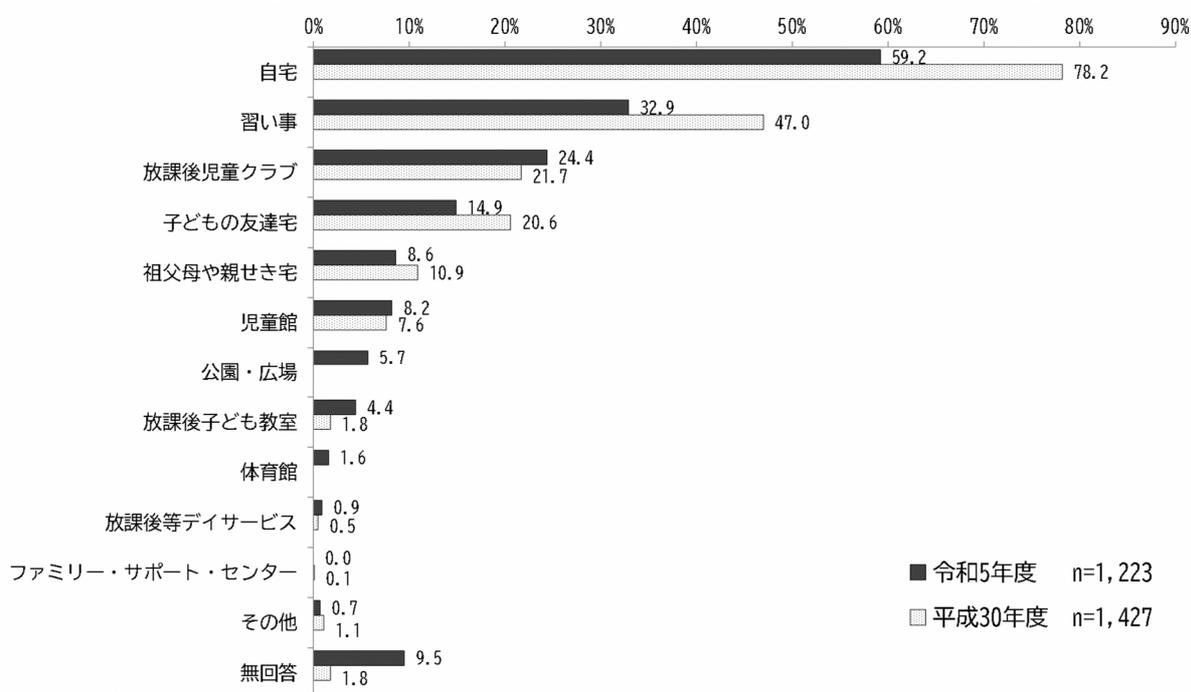
(2) 小学生.....

宛名のお子さんについて、現在、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどこで過ごされていますか。また、希望としては、対象のお子さんをどこで過ごさせたいですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

1) 現在過ごしている場所

- 「自宅」が59.2%で最も多く、次いで「習い事」が32.9%、「放課後児童クラブ」が24.4%となっています。
- 平成30年度調査と比べると「自宅」「習い事」「子どもの友達宅」が低下しています。

図表 143 現在、放課後過ごしている場所



※平成30年度調査では「公園・広場」「体育館」の選択肢はありませんでした。

図表 144 場所別の日数

	調査数	1日	2日	3日	4日	5日	6日以上	無回答
自宅	724	7.9	7.9	11.3	6.8	50.8	1.7	13.7
習い事	402	11.7	10.9	17.2	9.7	29.9	1.7	18.9
放課後児童クラブ	299	14.0	8.7	11.4	4.7	13.7	0.7	46.8
子どもの友達宅	182	12.6	16.5	19.2	18.7	18.7	2.2	12.1
祖父母や親せき宅	105	22.9	9.5	10.5	12.4	37.1	0.0	7.6
児童館	100	6.0	11.0	9.0	4.0	21.0	1.0	48.0
公園・広場	70	30.0	12.9	5.7	1.4	1.4	0.0	48.6
放課後子ども教室	54	5.6	5.6	11.1	13.0	31.5	0.0	33.3
体育館	19	42.1	10.5	10.5	0.0	0.0	0.0	36.8
放課後等デイサービス	11	9.1	45.5	9.1	9.1	18.2	0.0	9.1
ファミリー・サポート・センター	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他	8	0.0	50.0	12.5	12.5	25.0	0.0	0.0

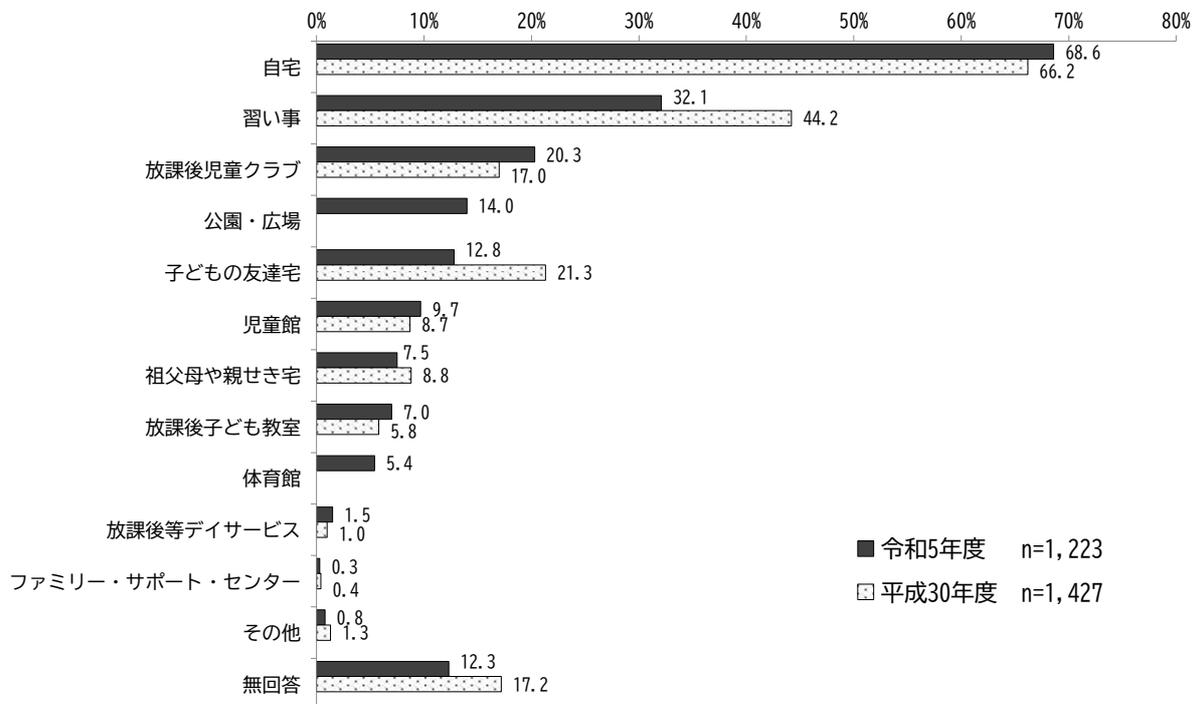
図表 145 放課後児童クラブの利用終了時間

調査数	5時台	6時台	7時台	8時台	9時以降	無回答
299	0.7	12.0	36.5	30.8	4.3	15.7

## 2) 過ごしてほしい場所

- 「自宅」が68.6%で最も多く、次いで「習い事」が32.1%、「放課後児童クラブ」が20.3%となっています。
- 平成30年度調査と比べると「習い事」「子どもの友達宅」が低下しています。

図表 146 放課後過ごしてほしい場所



※平成30年度調査では「公園・広場」「体育館」の選択肢はありませんでした。

図表 147 場所別の日数

	調査数	1日	2日	3日	4日	5日	6日以上	無回答
自宅	839	8.7	14.4	18.4	6.7	43.7	1.1	7.0
習い事	392	34.4	38.5	17.6	6.4	2.3	0.5	0.3
放課後児童クラブ	248	5.6	17.7	14.9	9.3	23.8	0.4	28.2
公園・広場	171	42.1	28.1	22.8	0.6	5.8	0.0	0.6
子どもの友達宅	157	59.9	31.8	7.0	0.6	0.6	0.0	0.0
児童館	119	21.0	22.7	16.8	5.9	29.4	2.5	1.7
祖父母や親せき宅	92	6.5	13.0	7.6	12.0	15.2	3.3	42.4
放課後子ども教室	86	51.2	31.4	9.3	2.3	4.7	0.0	1.2
体育館	66	10.6	12.1	3.0	10.6	36.4	0.0	27.3
放課後等デイサービス	18	16.7	38.9	33.3	0.0	11.1	0.0	0.0
ファミリー・サポート・センター	4	25.0	25.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0
その他	10	10.0	30.0	0.0	20.0	30.0	0.0	10.0

図表 148 放課後児童クラブの利用終了時間

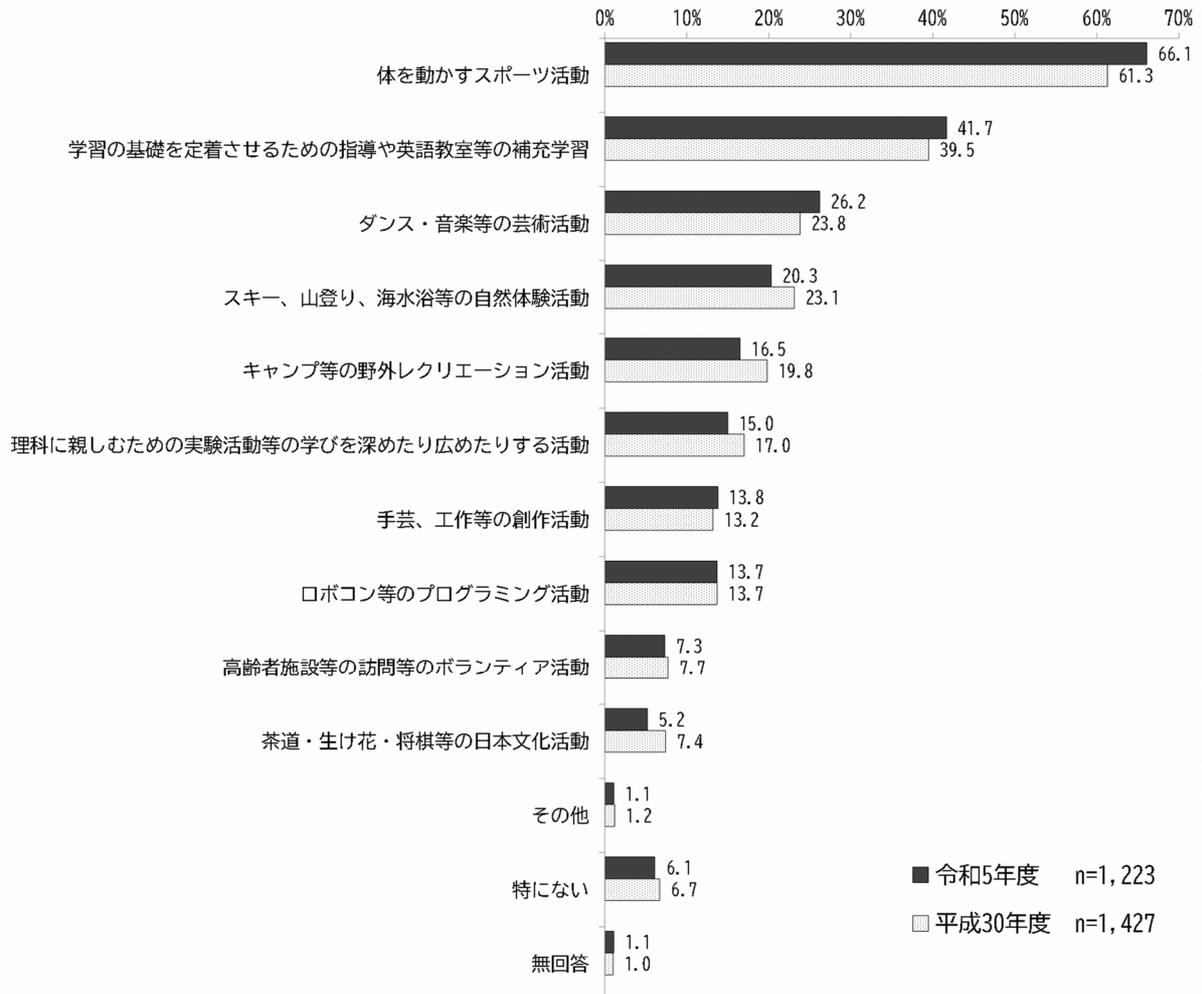
調査数	5時台	6時台	7時台	8時台	9時以降	無回答
248	0.8	14.5	37.1	27.0	5.2	15.3

### 3) 学校以外で参加させたい活動

今後学校以外の活動で、宛名のお子さんに参加させたい活動は何ですか。(〇は3つまで)

- 「体を動かすスポーツ活動」が66.1%で最も多く、次いで「学習の基礎を定着させるための指導や英語教室等の補充学習」が41.7%、「ダンス・音楽等の芸術活動」が26.2%となっています。
- 平成30年度調査とほぼ同様の傾向です。

図表 149 学校以外で参加させたい活動



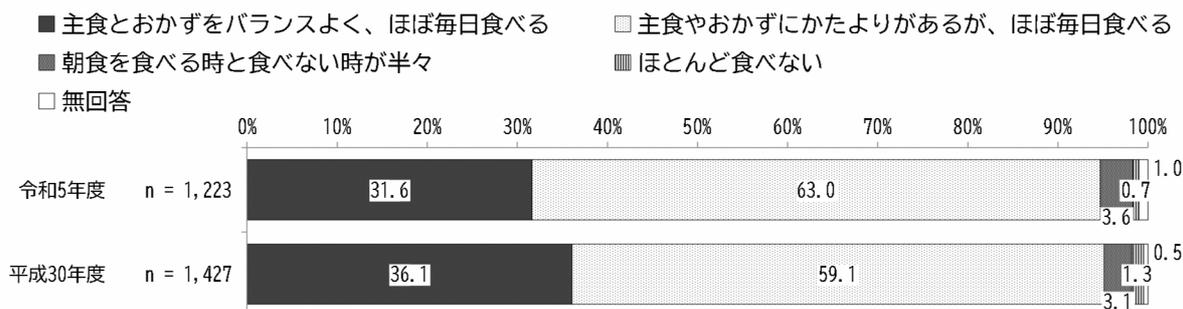
## 14. 生活習慣（小学生のみ）

### (1) 朝食の取り方

宛名のお子さんは、どのように朝食をとっていますか。（○は1つ）

- 「主食とおかずをバランスよく、ほぼ毎日食べる」が31.6%、「主食やおかずにかたよりのあるが、ほぼ毎日食べる」が63.0%となっています。

図表 150 朝食の取り方

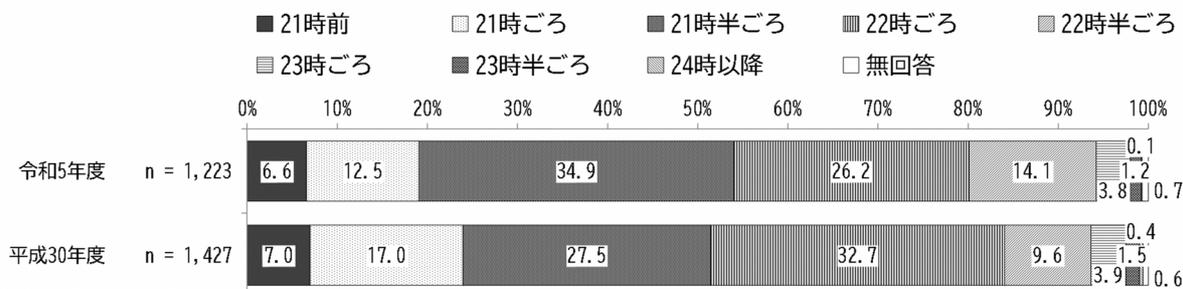


### (2) 就寝時間

宛名のお子さんは、平日の夜何時ごろに寝ていますか。（○は1つ）

- 「21時半ごろ」が34.9%で最も多く、次いで「22時ごろ」が26.2%、「22時半ごろ」が14.1%となっています。

図表 151 就寝時間

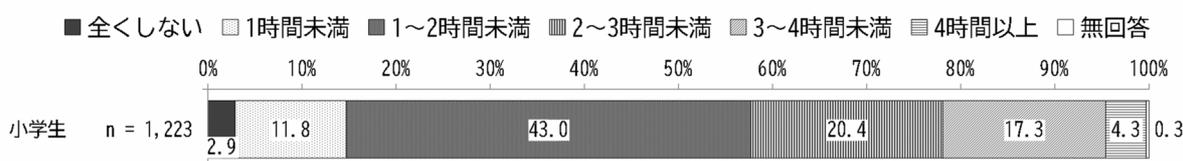


### (3) スクリーンタイム

宛名のお子さんが平日、家でゲームやYouTube、SNS等を利用する時間は一日でどれくらいですか。（○は1つ）

- 「1～2時間未満」が43.0%で最も多く、次いで「2～3時間未満」が20.4%、「3～4時間未満」が17.3%となっています。

図表 152 スクリーンタイム

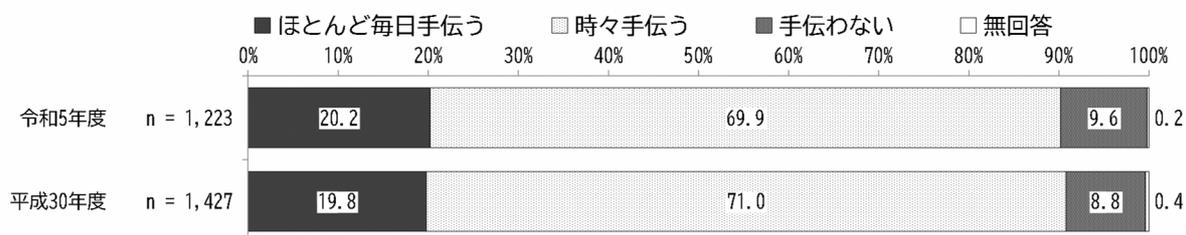


(4) お手伝い.....

宛名のお子さんは、家でお手伝いをしますか。(○は1つ)

➤ 「ほとんど毎日手伝う」が20.2%、「時々手伝う」が69.9%となっています。

図表 153 お手伝いの状況

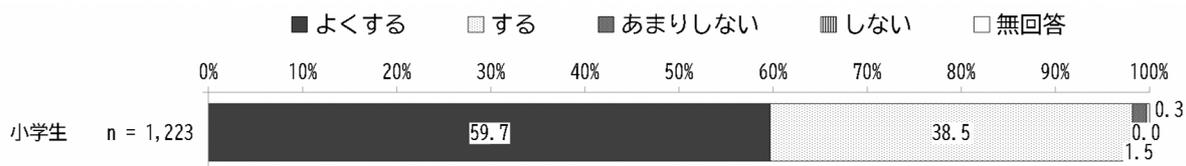


(5) 親子の会話.....

あなたは、宛名のお子さんとはよく会話をしますか。(○は1つ)

➤ 「よくする」が59.7%、「する」が38.5%となっています。

図表 154 親子の会話



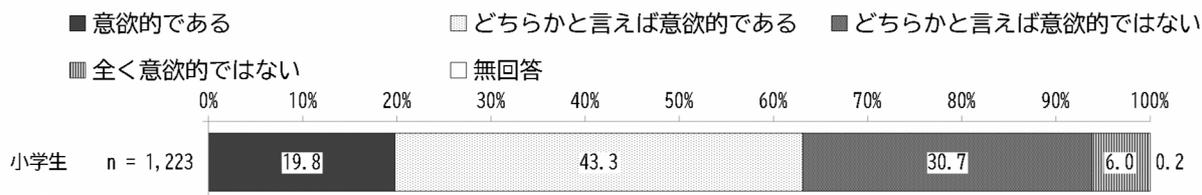
## 15. 学習状況（小学生のみ）

### （1）家庭学習の取組

宛名のお子さんは、家庭学習（宿題を含む）に意欲的に取り組んでいますか。（○は1つ）

- 「どちらかと言えば意欲的である」が43.3%、「どちらかと言えば意欲的ではない」が30.7%となっています。

図表 155 家庭学習の取組意欲

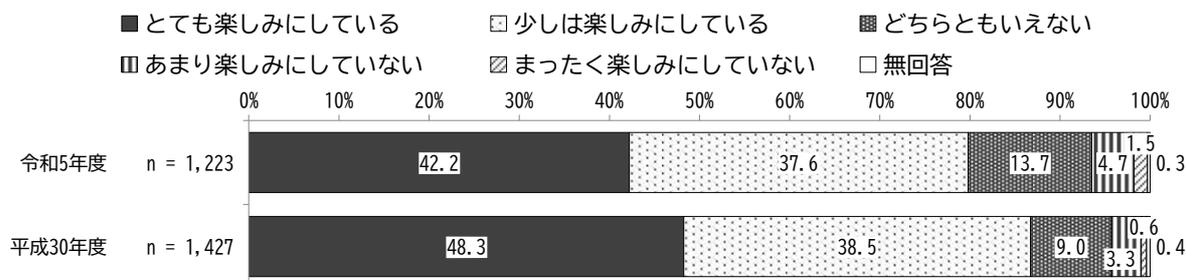


### （2）学校へ行くこと

宛名のお子さんは、学校に行くのを楽しみにしていますか。（○は1つ）

- 「とても楽しみにしている」と「少しは楽しみにしている」を合わせると79.8%となっています。
- 平成30年度調査と比べると「とても楽しみにしている」と「少しは楽しみにしている」を合わせた割合は低下しています。

図表 156 学校へ行くこと



## 16. 子どもの発達

### (1) 知った機会

子どもの発達障害の内容について、どのような機会に知りましたか。(〇はいくつでも)

- 「テレビで見た」が64.4%で最も多く、次いで「インターネットで調べた」が53.7%、「知り合いや家族から聞いた」が41.1%となっています。

図表 157 子どもの発達障害を知った機会

	調査数	テレビで見た	知り合いや家族から聞いた	保育園・幼稚園・認定こども園等で聞いた	医療機関で聞いた	インターネットで調べた	本・書籍で学んだ	学校の授業で学んだ	研修・講座などで学んだ	その他	子どもの発達障害について全く知らない	無回答
全体	2,370	64.4	41.1	21.1	14.7	53.7	20.1	10.6	11.9	8.1	2.1	1.0
就学前児童	1,147	65.2	40.0	14.1	13.5	56.6	18.4	13.2	10.8	7.7	2.4	1.2
小学生	1,223	63.6	42.2	27.7	15.9	51.0	21.7	8.2	12.9	8.4	1.7	0.7

(2) 子どもの発達の相談をしやすい場所・機会……………

子どもの発達に関する不安(言葉や行動など)を相談するとしたら、どのような場所・機会なら相談しやすいですか。(〇は3つまで)

- 「個別の相談室で安心して話ができる」が56.9%で最も多く、次いで「保育園・幼稚園・認定こども園等」が33.9%、「直接会って相談できる」が31.4%となっています。

図表 158 子どもの発達の相談をしやすい場所・機会

	調査数	個別の相談室で安心して話ができる	保育園・幼稚園・認定こども園等	直接会って相談できる	匿名で相談できる	予約なしで相談ができる	家庭訪問してもらえる	子育ての駅などオープンな場所や窓口で気軽に相談できる	予約制できつちり話ができる	電話で相談できる	土日に相談できる	夕方以降に相談できる	その他	無回答
全体	2,370	56.9	33.9	31.4	19.6	18.7	13.5	13.2	12.2	11.8	7.9	3.9	2.3	3.0
就学前児童	1,147	58.3	37.8	31.6	17.3	17.1	16.7	16.0	13.3	9.1	6.7	2.6	2.1	3.2
小学生	1,223	55.6	30.3	31.2	21.7	20.2	10.5	10.5	11.2	14.4	9.1	5.2	2.5	2.7

図表 159 土日に相談したい時間

<開始時間>

<終了時間>

	調査数	〇9時台	10時台	11時台	12時台	13時以降	無回答		調査数	〇18時台	19時台	20時台	21時台	22時以降	無回答
全体	188	35.6	16.0	0.5	0.0	7.4	40.4	全体	93	12.9	20.4	22.6	9.7	1.1	33.3
就学前児童	77	27.3	22.1	0.0	0.0	5.2	45.5	就学前児童	30	10.0	23.3	23.3	3.3	0.0	40.0
小学生	111	41.4	11.7	0.9	0.0	9.0	36.9	小学生	63	14.3	19.0	22.2	12.7	1.6	30.2

図表 160 夕方に相談したい時間

<開始時間>

<終了時間>

	調査数	〇15時台	16時台	17時台	18時台	19時以降	無回答		調査数	〇18時台	19時台	20時台	21時台	22時以降	無回答
全体	93	3.2	7.5	23.7	29.0	6.5	30.1	全体	93	12.9	20.4	22.6	9.7	1.1	33.3
就学前児童	30	0.0	6.7	33.3	23.3	3.3	33.3	就学前児童	30	10.0	23.3	23.3	3.3	0.0	40.0
小学生	63	4.8	7.9	19.0	31.7	7.9	28.6	小学生	63	14.3	19.0	22.2	12.7	1.6	30.2

## 17. 子育て支援事業等の認知度、利用

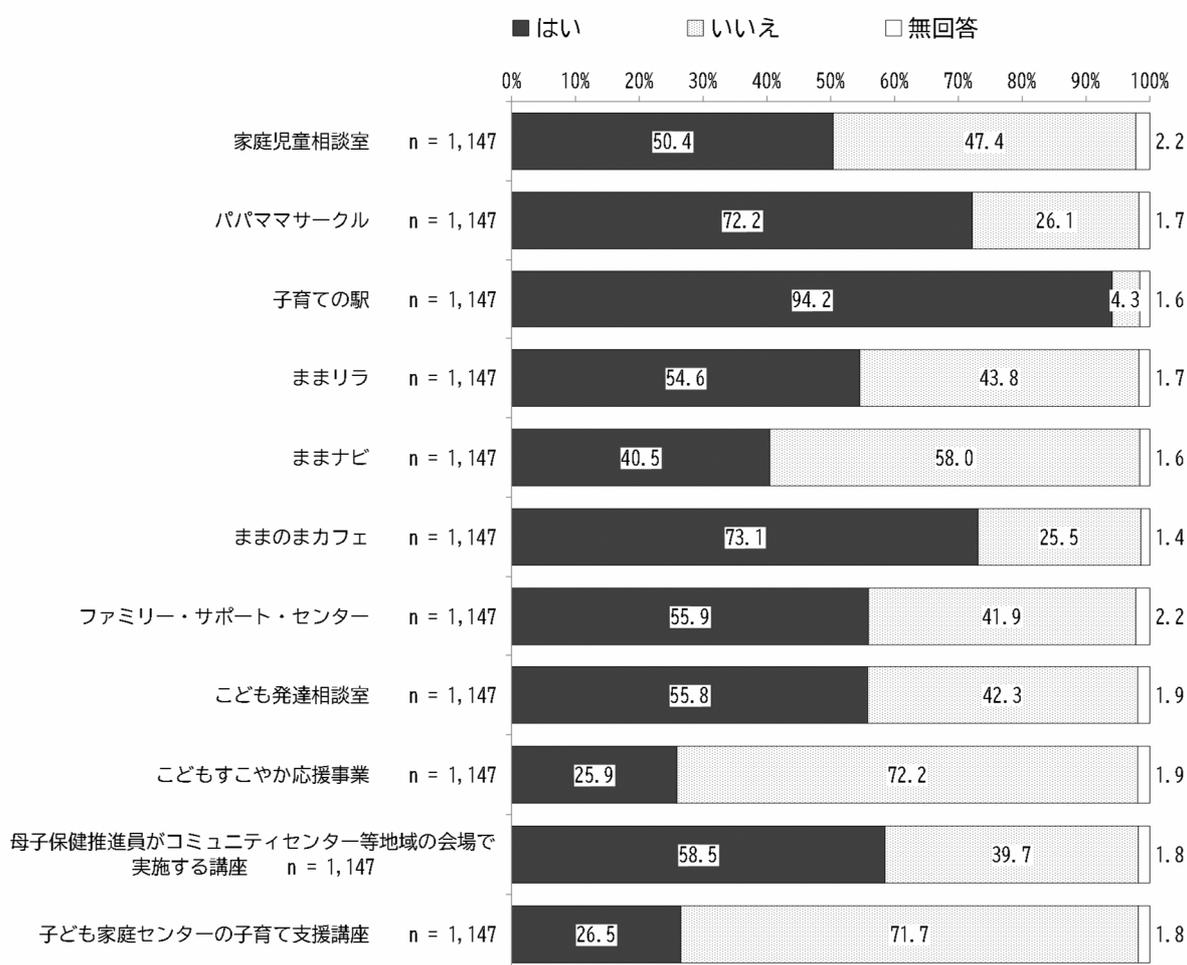
### (1) 就学前児童

#### 1) 認知度

下記のサービスを知っていますか。(〇はサービスの種類ごとに1つ)

- 認知度が高いのは「子育ての駅」「ままのまカフェ」「パパママサークル」です。
- 認知度が低いのは「こどもすこやか応援事業」「子ども家庭センターの子育て支援講座」です。

図表 161 子育て支援事業等の認知度(就学前児童)

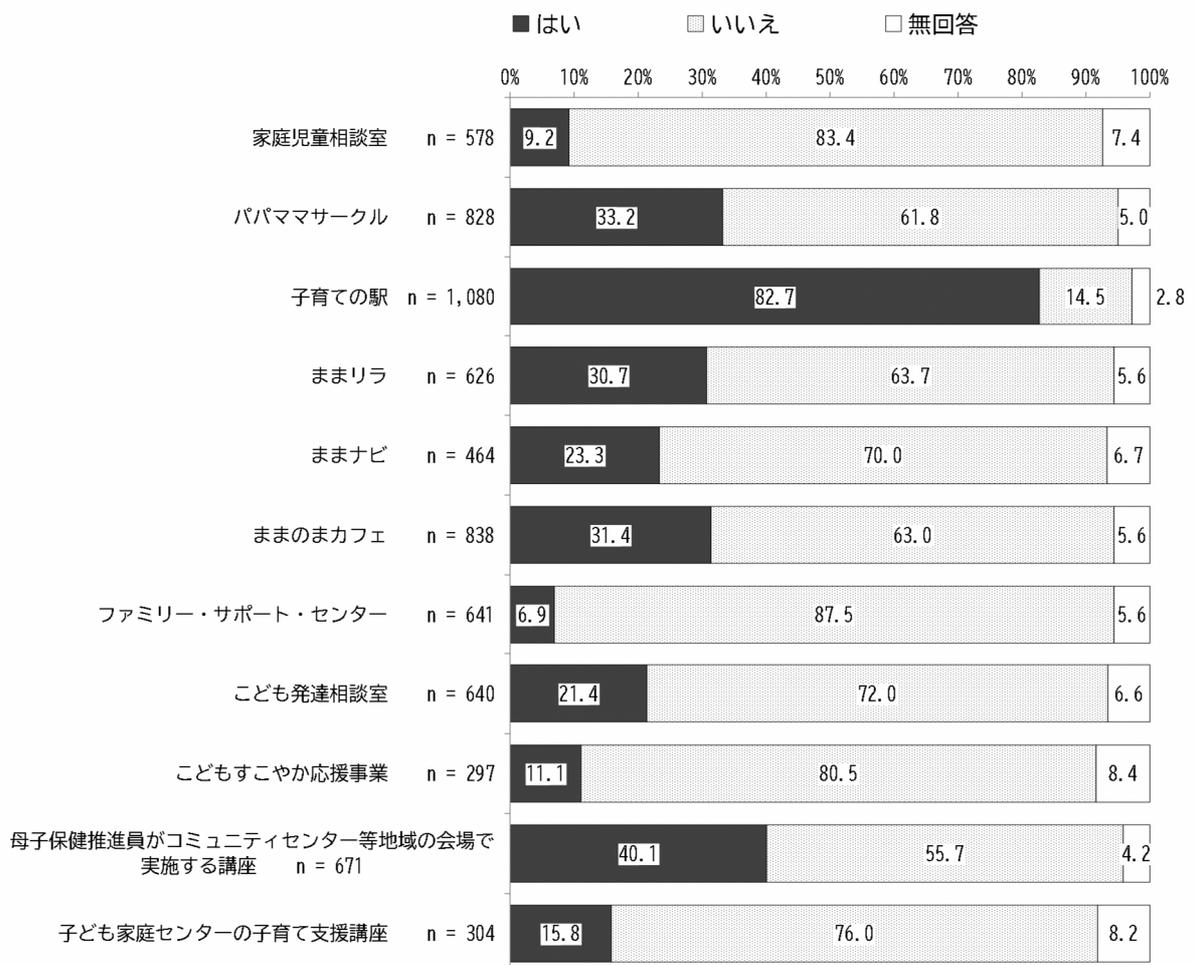


## 2) 利用経験

(知っている方のみ) 下記のサービスを利用したことがありますか。(○はサービスの種類ごとに1つ)

➤ 利用が多いのは「子育ての駅」です。

図表 162 子育て支援事業等の利用経験(就学前児童)

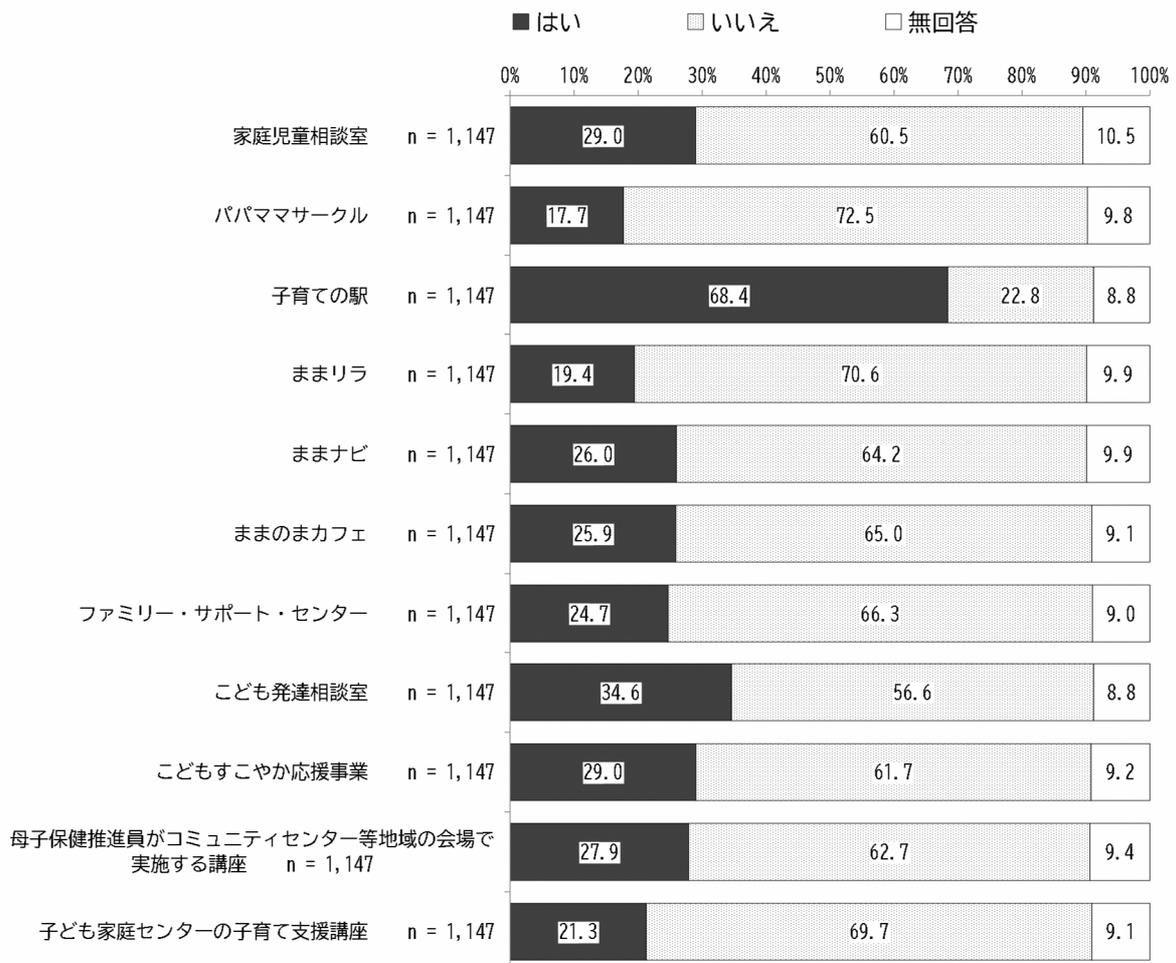


### 3) 今後の利用意向

下記のサービスを今後、利用しますか。(○はサービスの種類ごとに1つ)

➤ 今後の利用意向が高いのは「子育ての駅」です。

図表 163 子育て支援事業等の今後の利用意向(就学前児童)



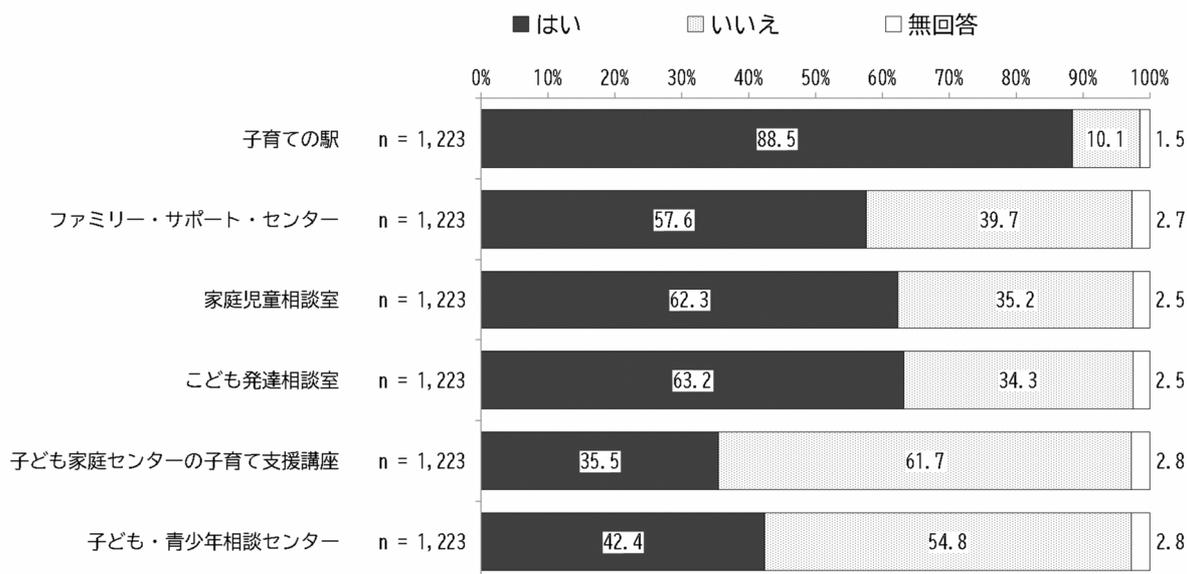
(2) 小学生.....

1) 認知度

下記のサービスを知っていますか。(○はサービスの種類ごとに1つ)

- 認知度が高いのは「子育ての駅」です。
- 認知度が低いのは「子ども家庭センターの子育て支援講座」です。

図表 164 子育て支援事業等の認知度(小学生)

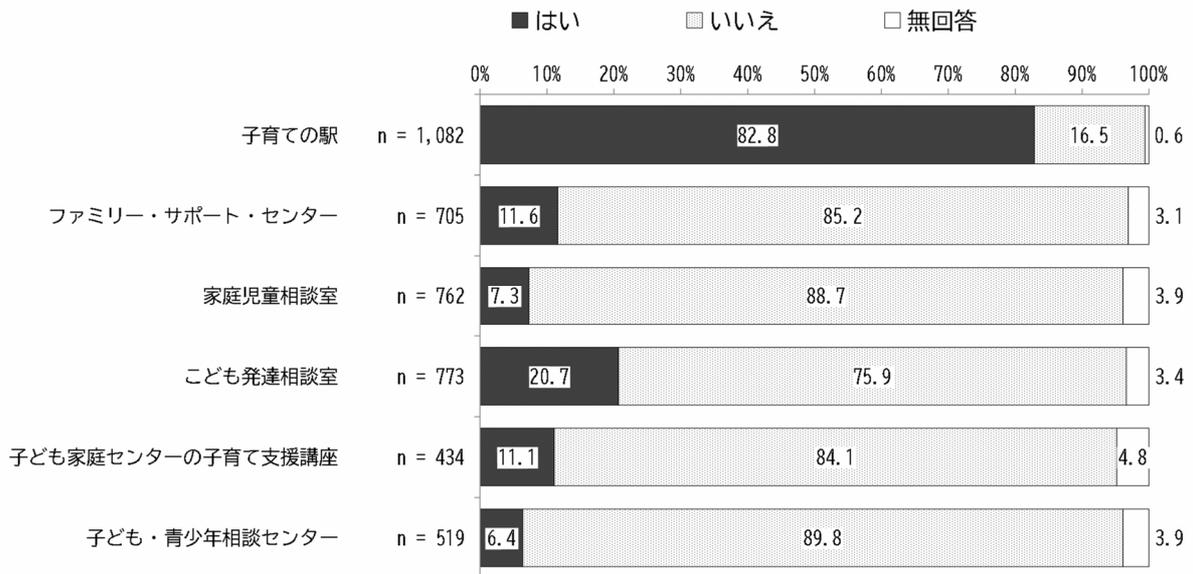


## 2) 利用経験

(知っている方のみ) 下記のサービスを利用したことがありますか。(○はサービスの種類ごとに1つ)

➤ 利用が多いのは「子育ての駅」です。

図表 165 子育て支援事業等の利用経験(小学生)

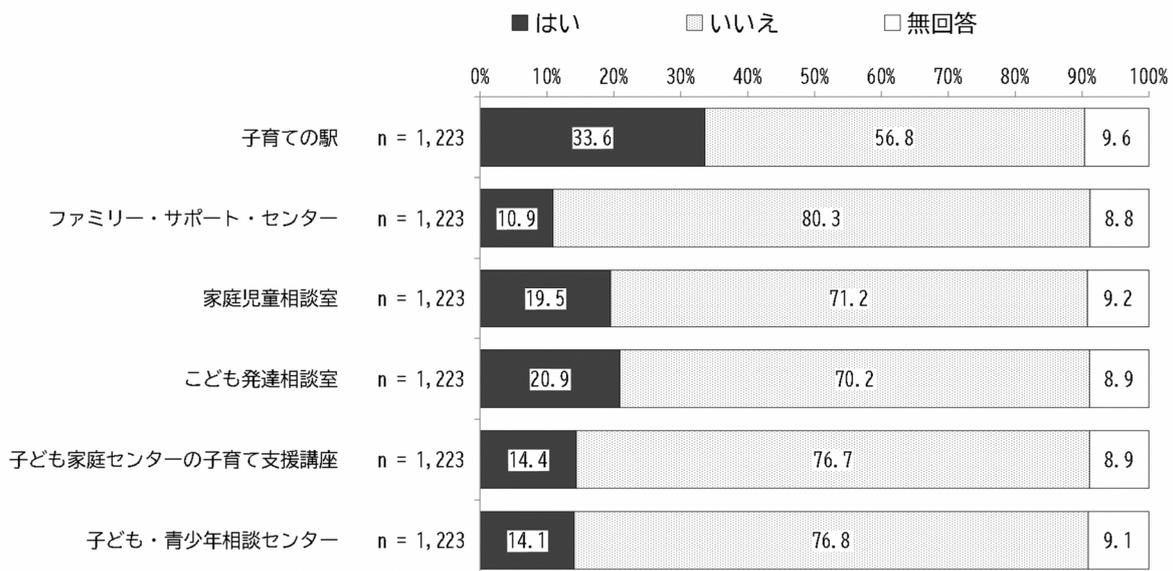


## 3) 今後の利用意向

下記のサービスを今後、利用しますか。(○はサービスの種類ごとに1つ)

➤ 今後の利用意向が高いのは「子育ての駅」です。

図表 166 子育て支援事業等の今後の利用意向(小学生)



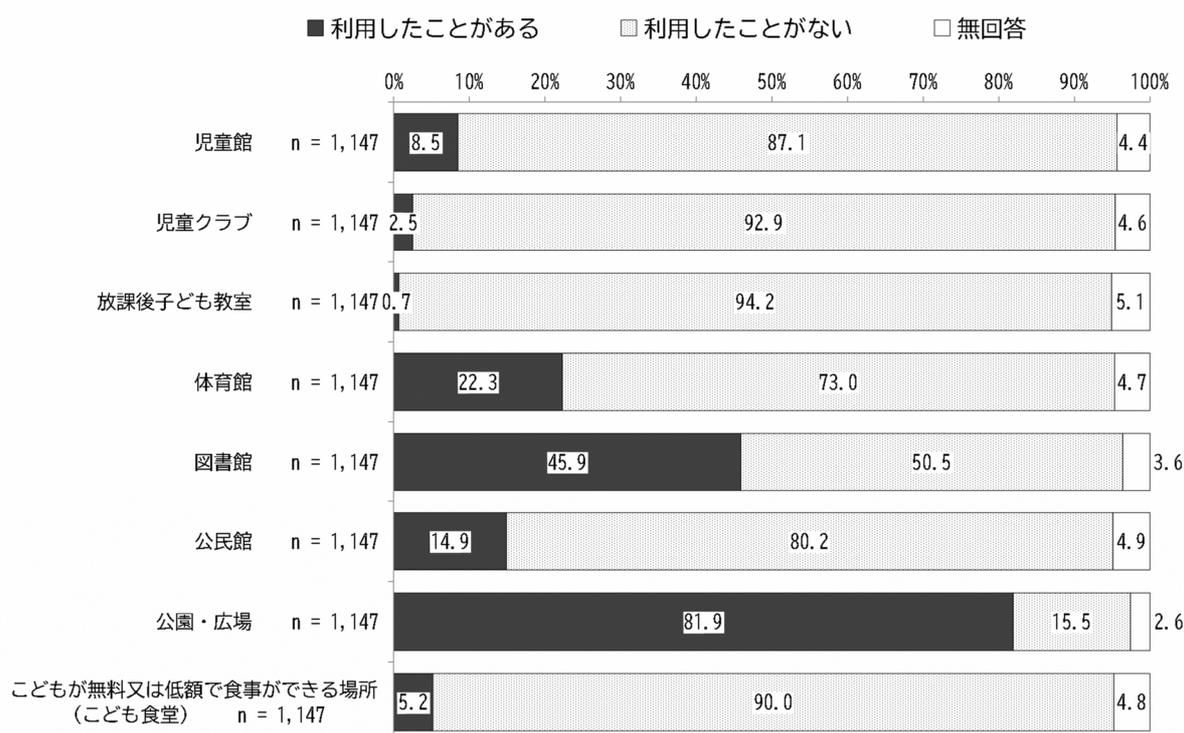
## 18. 「こどもの居場所」の利用経験

宛名のお子さんは、次のような「こどもの居場所」を利用したことがありますか。(○はサービスの種類ごとに1つ)

### (1) 就学前児童

➤ 利用経験が多いのは「公園・広場」「図書館」です。

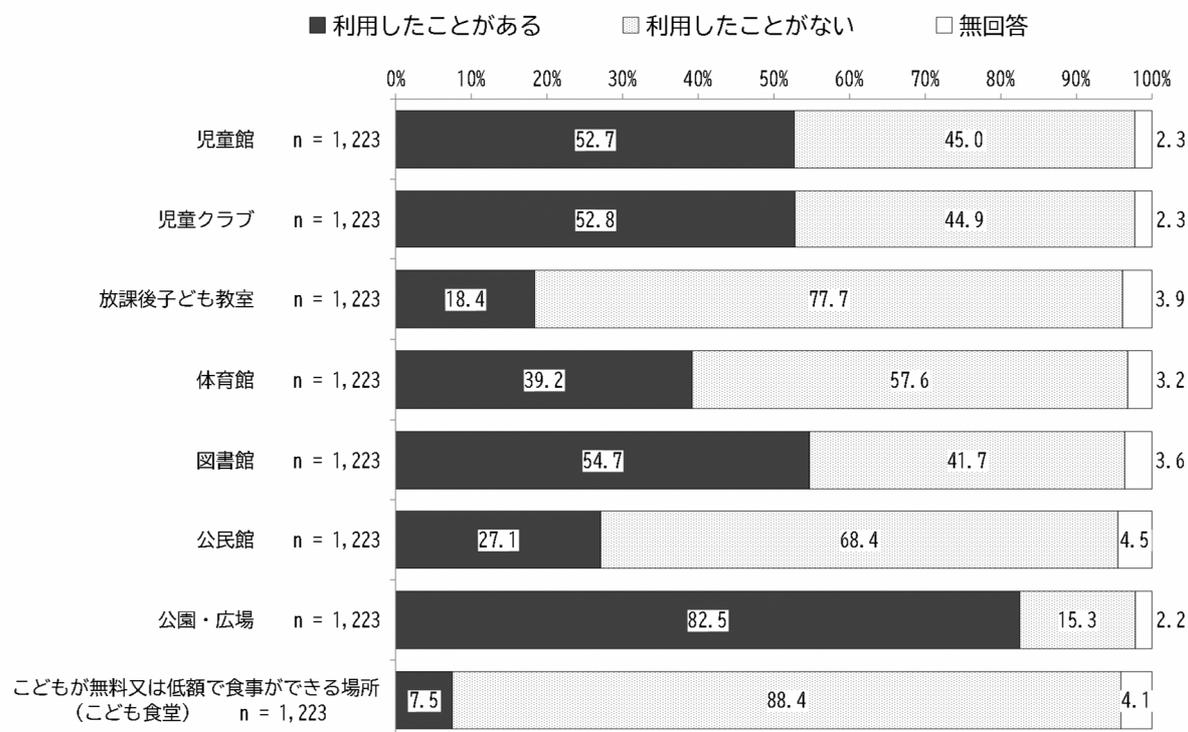
図表 167 「こどもの居場所」の利用経験(就学前児童)



(2) 小学生.....

➤ 利用経験が多いのは「公園・広場」「図書館」「児童クラブ」「児童館」です。

図表 168 「こどもの居場所」の利用経験(小学生)

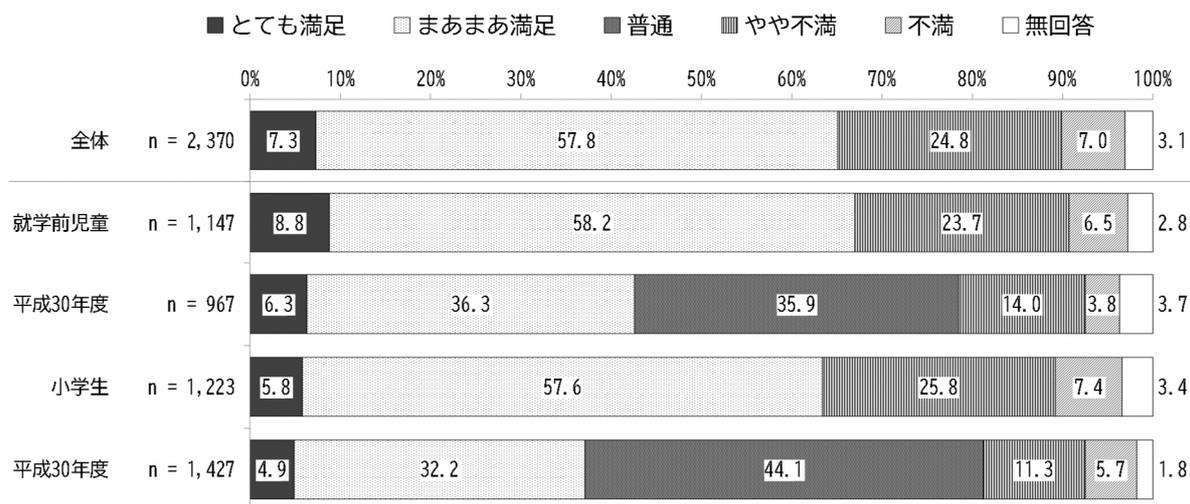


## 19. 子育て環境や支援に対する満足度

長岡市における子育ての環境や支援への満足度について、あてはまる番号1つに○をつけてください。

- 「とても満足」「まあまあ満足」を合わせると65.1%です。

図表 169 子育て環境や支援に対する満足度



※本調査では「普通」の選択肢を設定していません。

- 次ページの図は、満足度の評価理由を整理した共起ネットワーク図です。多く出てきた言葉、どの言葉とどの言葉と一緒に使われていたのかを表しています。
- 「とても満足」「まあまあ満足」の理由としては、子育ての駅などの施設が充実していることや、放課後児童クラブの費用や医療に関する助成制度などがあげられています。
- 「やや不満」「不満」の理由としては、他の市町村と長岡市の子育て支援を比べたうえで、医療、給食、保育料など経済的な内容に不満がみられます。また、遊べる場所の少なさや、児童クラブや病児・病後児保育の利用に関することがあげられています。

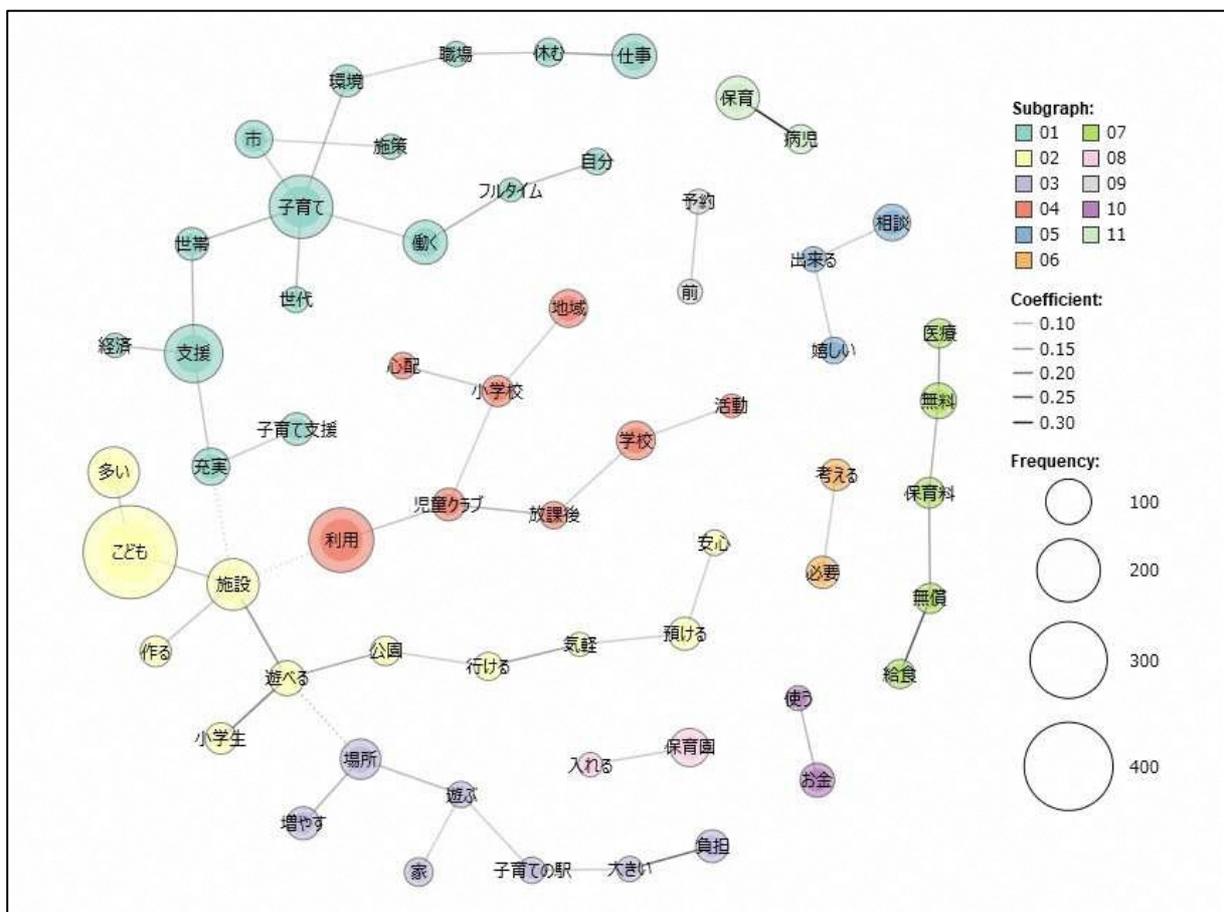


## 20. 長岡市の子育て支援に対する意見

子育て支援に関する市の施策に関するご意見やご要望がありましたら、自由にご記入ください。

- 働きながら子育てをする世帯に対する支援や気軽に行けるこどもが遊べる公園や施設の充実を求める意見があげられています。
- 児童クラブなど放課後に小学生が過ごせる場所の充実を求める意見があります。
- 前述の満足度の理由と同様に、医療、給食、保育料など経済的な支援に対する意見があげられています。

図表 172 子育て支援に関する市の施策に関する意見・要望



## 第3章 市内の中学校、高等学校に通学する中高生に対する調査結果

### I. 調査の概要

#### 1. 調査対象及び調査方法

本調査は、中学生と高校生を対象に実施しました。

図表 173 調査対象及び配付・回収方法

調査対象	配付方法	回収方法
中学生	学校経由での配付	学校経由での回収及びWEB回答方式
高校生	学校経由での配付	郵送での回収及びWEB回答方式

図表 174 調査期間

調査期間	令和6年1月13日～令和6年1月31日 (2月14日までに市役所に到着した回答票を集計対象としました)
------	--

#### 2. 配付数、回収数

図表 175 配付数、回収数

調査対象	配付数	回収数	有効回収数	有効回収率	(参考：回収方法別)			
					郵送回収		WEB回答	
					回収数	回収率	回収数	回収率
中高生	605	446	445	73.6%	331	54.7%	115	19.0%

#### 3. 結果の見方

- ・ グラフ・表中の「n」は構成比算出の母数を示しています。
- ・ 比率はすべて百分率(%)で表し、小数点第2位を四捨五入して算出しています。そのため、合計が100.0%にならない場合もあります。
- ・ 複数回答の場合、回答の合計比率が100.0%となりません。
- ・ 質問文、選択肢の見出しを簡略化してある場合があります。
- ・ 比較できる質問は平成30年度調査(有効回収数:428票)や国、県の調査結果と比較をしています。

## Ⅱ. 調査結果

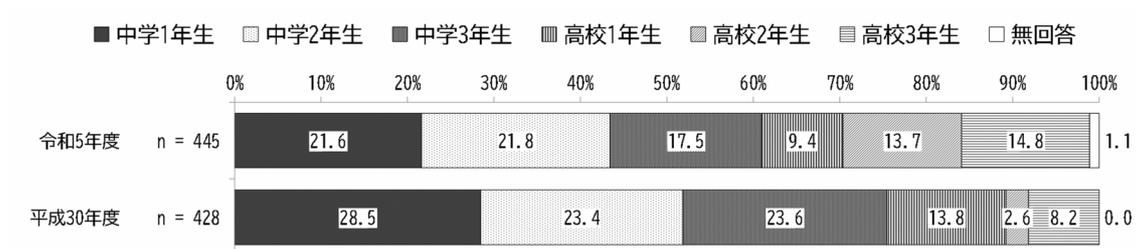
### 1. 回答者の属性

#### (1) 学年.....

問2 あなたの学年を教えてください。(○は1つ)

➤ 「中学2年生」が21.8%で最も多く、次いで「中学1年生」が21.6%、「中学3年生」が17.5%となっています。

図表 176 学年

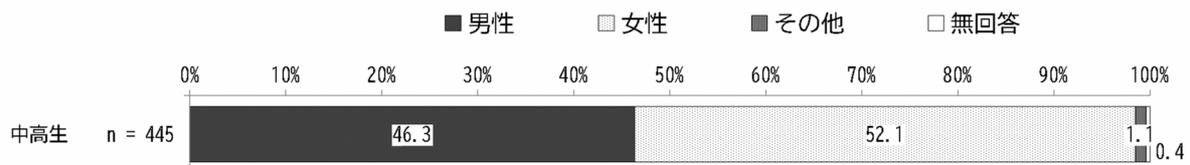


#### (2) 性別.....

問1 あなたの性別を教えてください。(○は1つ)

➤ 「女性」が52.1%、「男性」が46.3%となっています。

図表 177 性別



(3) 居住地域.....

問3 あなたのお住まいの地域はどちらですか。(○は1つ)

- 「長岡地域(川東地域)」が36.2%で最も多く、次いで「長岡地域(川西地域)」が22.0%、「長岡市外」が11.5%となっています。

図表 178 居住地域

	調査数	長岡地域(川東地域)	長岡地域(川西地域)	中之島地域	越路地域	三島地域	山古志地域	小国地域	和島地域	寺泊地域	栃尾地域	与板地域	川口地域	長岡市外	無回答
令和5年度	445	36.2	22.0	2.7	5.6	3.1	0.7	1.1	1.1	1.6	8.5	1.1	1.1	11.5	3.6
平成30年度	428	75.5		3.0	4.0	2.3	0.9	1.2	0.9	0.9	4.7	1.6	0.9	4.0	0.0

※平成30年度調査では川東地域、川西地域を「長岡地域」にまとめています。

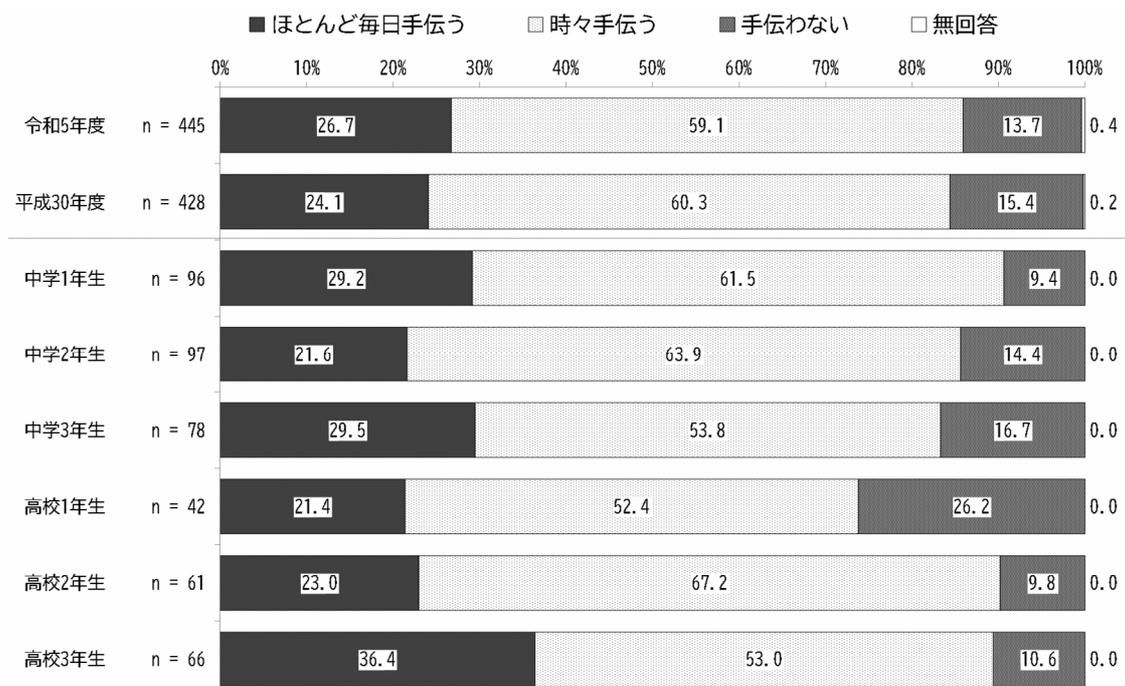
## 2. 日常生活

### (1) 手伝い.....

問4 あなたは、家で手伝いをしますか（○は1つ）

➤ 「時々手伝う」が59.1%、「ほとんど毎日手伝う」が26.7%となっています。

図表 179 手伝いの頻度



問5 （問4で「ほとんど毎日手伝う」「時々手伝う」と回答した人のみ）どんなことを手伝いますか。（○は主なもの2つまで）

➤ 「食事の準備や後片付け」が65.4%で最も多く、次いで「掃除」が30.6%、「洗濯」が20.7%となっています。

図表 180 手伝うこと

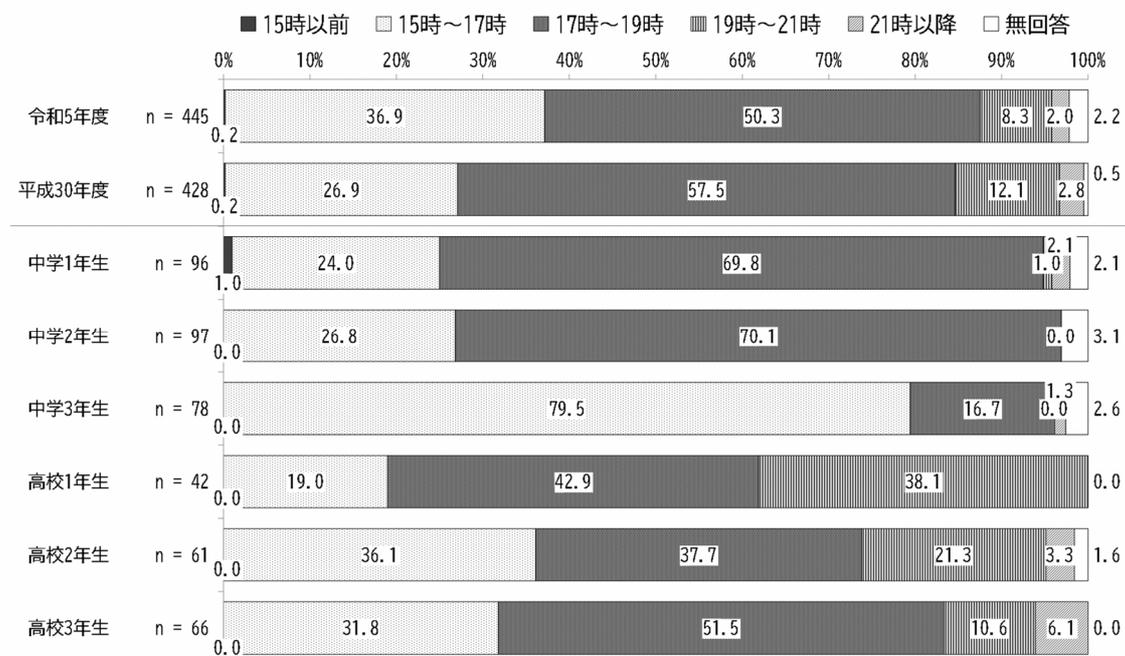
	調査数	後食片事の準備や	掃除	洗濯	買い物	家業を手伝う	の兄弟姉妹などの世話	介護	その他	無回答
令和5年度	382	65.4	30.6	20.7	17.8	7.3	6.8	1.3	2.6	5.2
平成30年度	361	70.1	37.1	24.1	11.6	7.5	10.8	0.8	6.1	0.0
中学1年生	87	66.7	25.3	23.0	10.3	6.9	12.6	2.3	2.3	5.7
中学2年生	83	60.2	30.1	18.1	14.5	6.0	4.8	1.2	2.4	10.8
中学3年生	65	67.7	29.2	15.4	15.4	6.2	12.3	0.0	4.6	3.1
高校1年生	31	58.1	25.8	22.6	12.9	9.7	3.2	3.2	6.5	3.2
高校2年生	55	70.9	45.5	27.3	23.6	7.3	1.8	1.8	1.8	0.0
高校3年生	59	67.8	30.5	20.3	30.5	10.2	1.7	0.0	0.0	5.1

(2) 帰宅時間.....

問6 平日の帰宅時間は何時ごろですか。(○は1つ)

➤ 「17時～19時」が50.3%で最も多く、次いで「15時～17時」が36.9%、「19時～21時」が8.3%となっています。

図表 181 平日の帰宅時間



(3) 放課後過ごす場所

問7 あなたは放課後どこにすることが多いですか。(○は3つまで)

➤ 「自宅」が90.8%で最も多く、次いで「学校(部活動を含む)」が45.6%、「学習塾・予備校」が13.5%となっています。

図表 182 放課後過ごす場所

調査数	自宅	学校(部活動を含む)	学習塾・予備校	友だちの家	アルバイト先	かの公共施設	アオーレ、ミライエ、まちな	ゲームセンター・カラオケ店	駅前等のショッピングセンターや	学習塾以外の習い事	ファーストフード店	図書館	児童館	体育館	公園・広場	その他	無回答
令和5年度	445	90.8	45.6	13.5	6.3	5.6	4.9	4.9	4.7	4.3	1.6	1.1	0.0	4.0	0.9	2.2	0.7
平成30年度	428	85.7	59.6	22.2	9.6	0.7	3.5	0.9	3.5	4.7	0.5		1.2		2.3	1.6	0.0
中学1年生	96	96.9	60.4	19.8	3.1	0.0	5.2	0.0	1.0	8.3	0.0	1.0	0.0	6.3	1.0	2.1	1.0
中学2年生	97	93.8	54.6	13.4	13.4	0.0	0.0	0.0	0.0	8.2	0.0	0.0	0.0	5.2	2.1	1.0	0.0
中学3年生	78	97.4	16.7	23.1	5.1	0.0	2.6	1.3	5.1	1.3	1.3	1.3	0.0	2.6	0.0	2.6	0.0
高校1年生	42	71.4	64.3	19.0	0.0	2.4	21.4	9.5	4.8	0.0	2.4	2.4	0.0	0.0	0.0	2.4	0.0
高校2年生	61	85.2	47.5	3.3	6.6	9.8	8.2	13.1	11.5	0.0	0.0	3.3	0.0	8.2	0.0	1.6	0.0
高校3年生	66	89.4	33.3	0.0	4.5	27.3	1.5	13.6	10.6	3.0	7.6	0.0	0.0	0.0	1.5	4.5	0.0

(4) 土日祝日過ごす場所

問8 あなたは土日・祝日どこにすることが多いですか。(○は3つまで)

➤ 「自宅」が91.0%で最も多く、次いで「大型ショッピングセンターや駅前等のショッピングできる場所」が31.5%、「学校(部活動を含む)」が26.7%となっています。

図表 183 土日祝日過ごす場所

調査数	自宅	駅前等のショッピングセンターや	学校(部活動を含む)	友だちの家	ゲームセンター・カラオケ店	学習塾・予備校	アルバイト先	かの公共施設	アオーレ、ミライエ、まちな	学習塾以外の習い事	ファーストフード店	図書館	児童館	体育館	公園・広場	その他	無回答
令和5年度	445	91.0	31.5	26.7	12.6	8.8	8.1	5.6	4.9	4.7	4.5	2.2	0.0	3.4	0.7	2.5	1.8
平成30年度	428	89.5	28.7	38.8	20.6	6.1	12.1	1.4	4.9	4.0	2.3		3.3		1.9	3.3	0.0
中学1年生	96	87.5	32.3	45.8	14.6	5.2	6.3	0.0	7.3	10.4	2.1	2.1	0.0	6.3	1.0	3.1	1.0
中学2年生	97	93.8	34.0	36.1	15.5	7.2	6.2	0.0	1.0	7.2	4.1	0.0	0.0	6.2	1.0	2.1	2.1
中学3年生	78	94.9	32.1	2.6	7.7	6.4	21.8	0.0	11.5	2.6	2.6	9.0	0.0	1.3	0.0	3.8	1.3
高校1年生	42	88.1	19.0	40.5	2.4	11.9	9.5	2.4	4.8	0.0	2.4	2.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
高校2年生	61	91.8	31.1	27.9	18.0	14.8	1.6	9.8	4.9	0.0	6.6	0.0	0.0	1.6	1.6	3.3	0.0
高校3年生	66	92.4	33.3	3.0	13.6	12.1	0.0	27.3	0.0	3.0	9.1	0.0	0.0	1.5	0.0	1.5	3.0

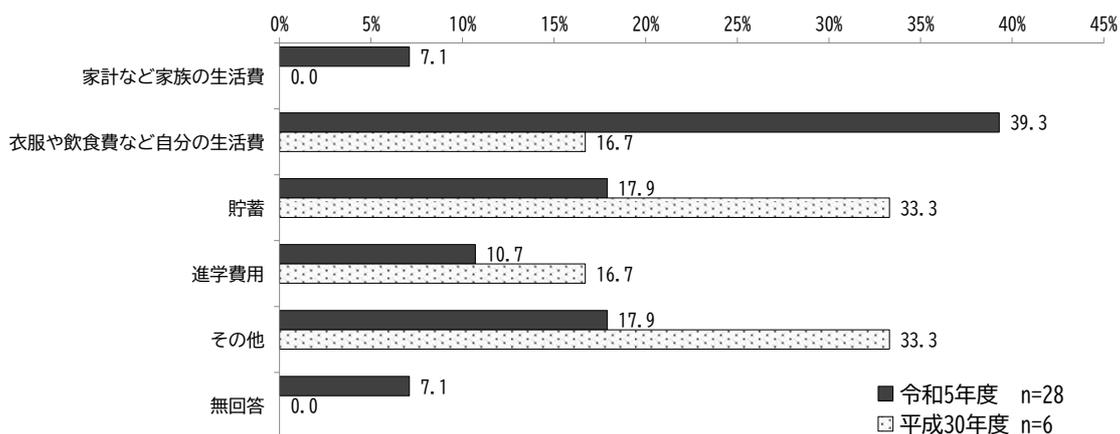
※平成30年度調査では「図書館・児童館等の公共施設」とまとめていました。

(5) アルバイトで得た収入の使い道.....

問9 (問7、問8のいずれか、または、両方で「アルバイト先」と回答した人のみ) アルバイトで得た収入の主な使い道は何ですか。(○は1つ)

➤ 「衣服や飲食費など自分の生活費」が39.3%で最も多く、次いで「貯蓄」が17.9%、「進学費用」が10.7%となっています。

図表 184 アルバイトで得た収入の使い道



(6) 放課後や土日祝日を過ごす際に求める場所やサービス……………

問 10 放課後や休日を過ごすにはどういう場所やサービスがあればよいと思いますか。(○は3つまで)

➤ 「Wi-Fi が無料で利用できる環境」が43.8%で最も多く、次いで「一人でゆっくりと過ごせる場所」が42.9%、「仲の良い友だちと気軽にしゃべりできる場所」が40.4%となっています。

図表 185 放課後や土日祝日を過ごす際に求める場所やサービス

調査数	環境	Wi-Fi が無料で利用できる	一人でゆっくりと過ごせる場所	仲の良い友だちと気軽にしゃべりできる場所	等 体育館や運動場、スポーツジム	読書や勉強ができる場所	無料で勉強を教えてくれる場所	を 楽しめるダンスや音楽等の趣味	友だちとダンスや音楽等の趣味	し、友達になれる場所	学校以外の同年代の仲間と交流	る 悩みなどを話せたり、相談できる場所	体 様々なボランティア活動や職業	と 地域でいろいろな年代の人	地 域のいろいろな年代の人	そ の 他	必 要 不 要	無 回 答
令和5年度	445	43.8	42.9	40.4	30.8	23.1	16.2	15.3	9.4	2.7	2.5	2.2	2.7	4.0	1.6			
平成30年度	428	-	43.5	44.6	34.3	32.0	24.3	16.1	9.1	3.5	6.1	2.1	2.6	4.0	0.0			
中学1年生	96	33.3	39.6	42.7	33.3	22.9	20.8	15.6	9.4	4.2	4.2	2.1	1.0	4.2	3.1			
中学2年生	97	51.5	46.4	38.1	32.0	12.4	17.5	10.3	13.4	1.0	1.0	1.0	1.0	7.2	1.0			
中学3年生	78	41.0	30.8	39.7	25.6	37.2	23.1	19.2	9.0	5.1	3.8	1.3	3.8	3.8	0.0			
高校1年生	42	61.9	38.1	26.2	21.4	35.7	21.4	14.3	2.4	0.0	2.4	4.8	0.0	4.8	2.4			
高校2年生	61	39.3	45.9	44.3	41.0	26.2	9.8	14.8	6.6	1.6	1.6	1.6	9.8	1.6	0.0			
高校3年生	66	43.9	59.1	48.5	28.8	12.1	3.0	19.7	10.6	3.0	1.5	4.5	1.5	1.5	0.0			

※ 「Wi-Fi が無料で利用できる環境」の選択肢は、令和5年度調査に新たに設定しました。

### 3. 悩みや不安

#### (1) 困っていることや悩み……………

問11 最近、よく考えることや困っていることはありますか。(○は3つまで)

➤ 「勉強、成績、受験」が48.8%で最も多く、次いで「将来(進路)」が38.0%、「特にな  
い」が24.9%となっています。

図表 186 困っていることや悩み

	調査数	勉強、成績、受験	将来(進路)	友人(異性)関係	お金	部活動	人生、生活	遊び	学校、先生	社会の出来事	家族、きょうだいのケア	性	インターネット上の人間関係	その他	特にな い	無回答
令和5年度	445	48.8	38.0	16.4	14.8	14.2	8.1	4.5	3.4	3.4	1.8	1.1	0.9	1.1	24.9	1.8
平成30年度	428	54.7	40.2	19.4	10.0	20.1	8.4	4.4	5.1	2.6	3.3	1.6	2.1	2.1	18.2	1.2
中学1年生	96	49.0	24.0	19.8	6.3	33.3	4.2	5.2	4.2	1.0	1.0	2.1	0.0	2.1	29.2	3.1
中学2年生	97	50.5	40.2	11.3	9.3	12.4	8.2	6.2	4.1	5.2	1.0	0.0	1.0	1.0	24.7	3.1
中学3年生	78	66.7	32.1	20.5	6.4	2.6	6.4	1.3	1.3	5.1	5.1	0.0	0.0	1.3	24.4	0.0
高校1年生	42	57.1	31.0	11.9	14.3	19.0	7.1	2.4	4.8	0.0	2.4	0.0	0.0	2.4	21.4	0.0
高校2年生	61	55.7	63.9	19.7	18.0	11.5	6.6	6.6	3.3	0.0	0.0	1.6	1.6	0.0	18.0	0.0
高校3年生	66	13.6	45.5	12.1	43.9	3.0	18.2	3.0	3.0	7.6	1.5	3.0	3.0	0.0	30.3	0.0

#### (2) 悩みや不安の相談先……………

問12 あなたは、悩みや不安を誰に相談しますか。(○はいくつでも)

➤ 「友人」が56.9%で最も多く、次いで「母親」が56.6%、「父親」が26.1%となっ  
ています。

図表 187 悩みや不安の相談先

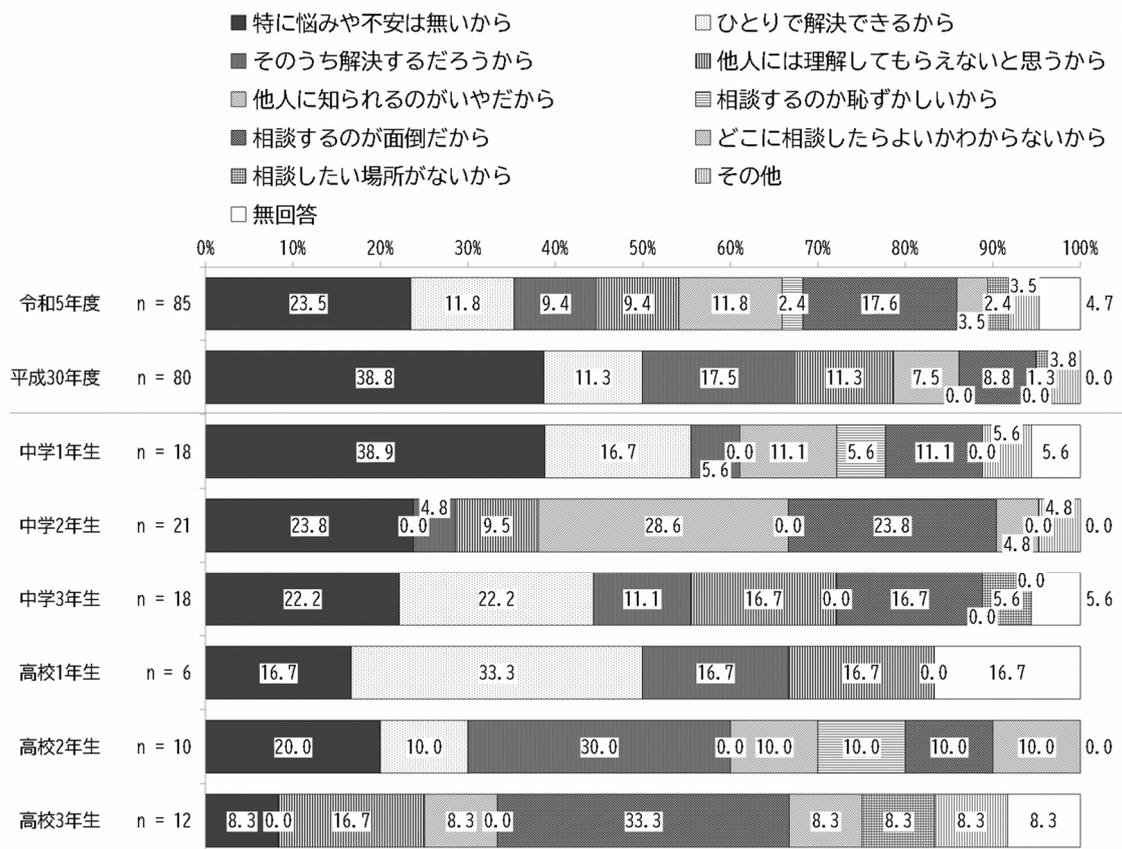
	調査数	友人	母親	父親	学校の先生	兄弟姉妹	祖父母	親戚	習い事や塾の先生	インターネットを利用した相談サービス	教育センター	健康センター	青少年育成センター	民間の電話相談	その他	相談しない	無回答
令和5年度	445	56.9	56.6	26.1	15.7	14.6	7.2	2.7	2.7	0.7	0.2	0.0	0.0	0.0	1.6	19.1	0.2
平成30年度	428	57.7	50.2	17.5	12.1	14.0	6.8	1.2	5.8	0.7	0.0	0.2	0.0	0.2	1.4	18.7	0.7
中学1年生	96	55.2	61.5	29.2	20.8	14.6	11.5	4.2	4.2	1.0	1.0	0.0	0.0	0.0	2.1	18.8	0.0
中学2年生	97	51.5	50.5	19.6	15.5	8.2	6.2	1.0	3.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.1	21.6	1.0
中学3年生	78	53.8	61.5	26.9	19.2	19.2	3.8	1.3	6.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.3	23.1	0.0
高校1年生	42	59.5	64.3	33.3	11.9	16.7	7.1	7.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	14.3	0.0
高校2年生	61	55.7	59.0	27.9	16.4	11.5	4.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.3	16.4	0.0
高校3年生	66	71.2	45.5	22.7	7.6	21.2	9.1	4.5	0.0	1.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	18.2	0.0

### (3) 相談しない理由

問 13 相談しないのはなぜですか。(〇は1つ)

- 「特に悩みや不安は無いから」が 23.5%で最も多く、次いで「相談するのが面倒だから」が 17.6%、「ひとりで解決できるから」「他人に知られるのがいやだから」が 11.8% となっています。
- 平成 30 年度調査を比べると「特に悩みや不安は無いから」が低下しています。

図表 188 相談しない理由



### (4) 相談しやすくなる要素

問 14 どのような所だったら、相談しやすいと思いますか。(〇は3つまで)

- 「匿名で相談できる」「その他」がそれぞれ 50.0%となっています。

図表 189 相談しやすくなる要素

調査数	匿名で相談できる	気軽に相談できる場所や窓口で	個別の相談室で安心して話ができる	個別の相談室で安心して話ができる	LINE等のメッセージ	電話で相談できる	メールで相談できる	予約なしで相談ができる	予約制できつちり話ができる	土日に相談できる	放課後に相談できる	直接会って相談できる	駅周辺にある公共交通機関が充実した	その他	無回答
令和5年度	2	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0
平成30年度	1	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

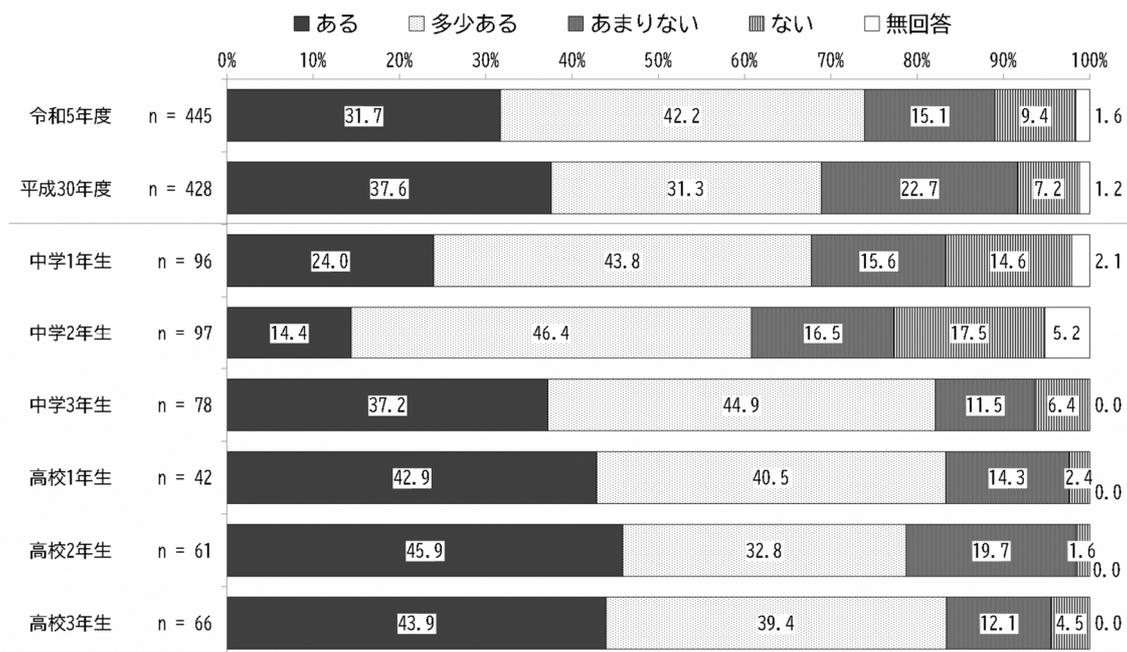
## 4. 将来への考えや意識

### (1) 将来を思い描くこと.....

問 15 あなたは、自分の人生における仕事や家庭を持つ・持たないなどの将来を思い描くことがありますか。(○は1つ)

➤ 「ある」「多少ある」を合わせると 73.9%となっています。

図表 190 将来を思い描くことの有無

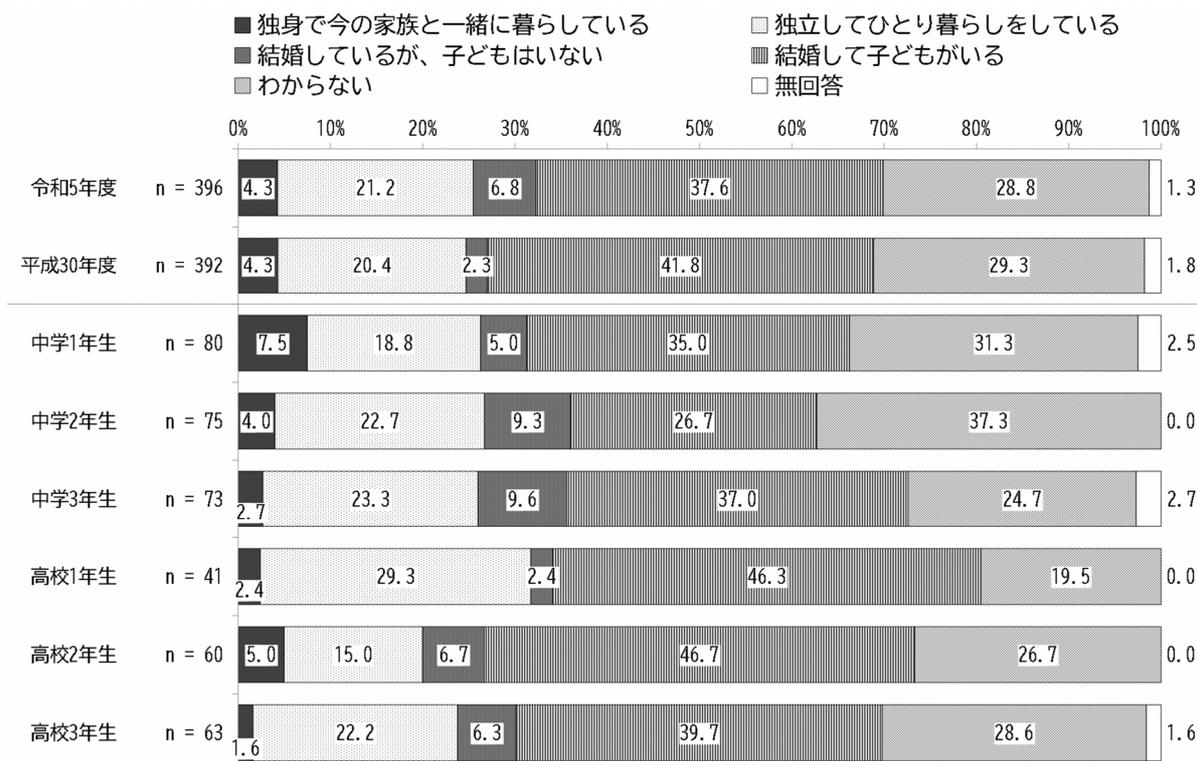


(2) 想定している将来の生活.....

問 16 将来のあなたを思い浮かべたとき、次のどれに最も近いと思いますか。(○は1つ)

- 「結婚して子どもがいる」が37.6%で最も多く、次いで「わからない」が28.8%、「独立してひとり暮らしをしている」が21.2%となっています。
- 平成30年度調査と比べると「結婚して子どもがいる」が低下し、「結婚しているが子どもはいない」が上昇しています。

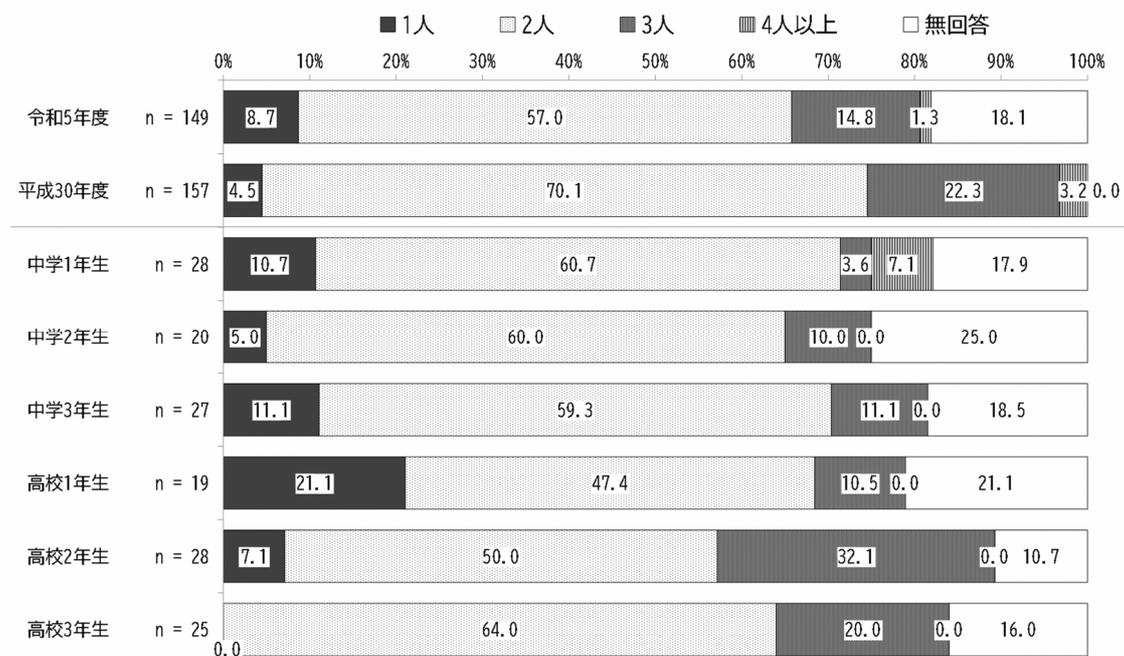
図表 191 想定している将来の生活



問 16 で「子どもがいる」と回答した人はほしい子どもの人数を教えてください。

- 「2人」が57.0%で最も多くなっている。
- 平成30年度調査と比べると「1人」が上昇し、「2人」「3人」「4人以上」が低下しています。

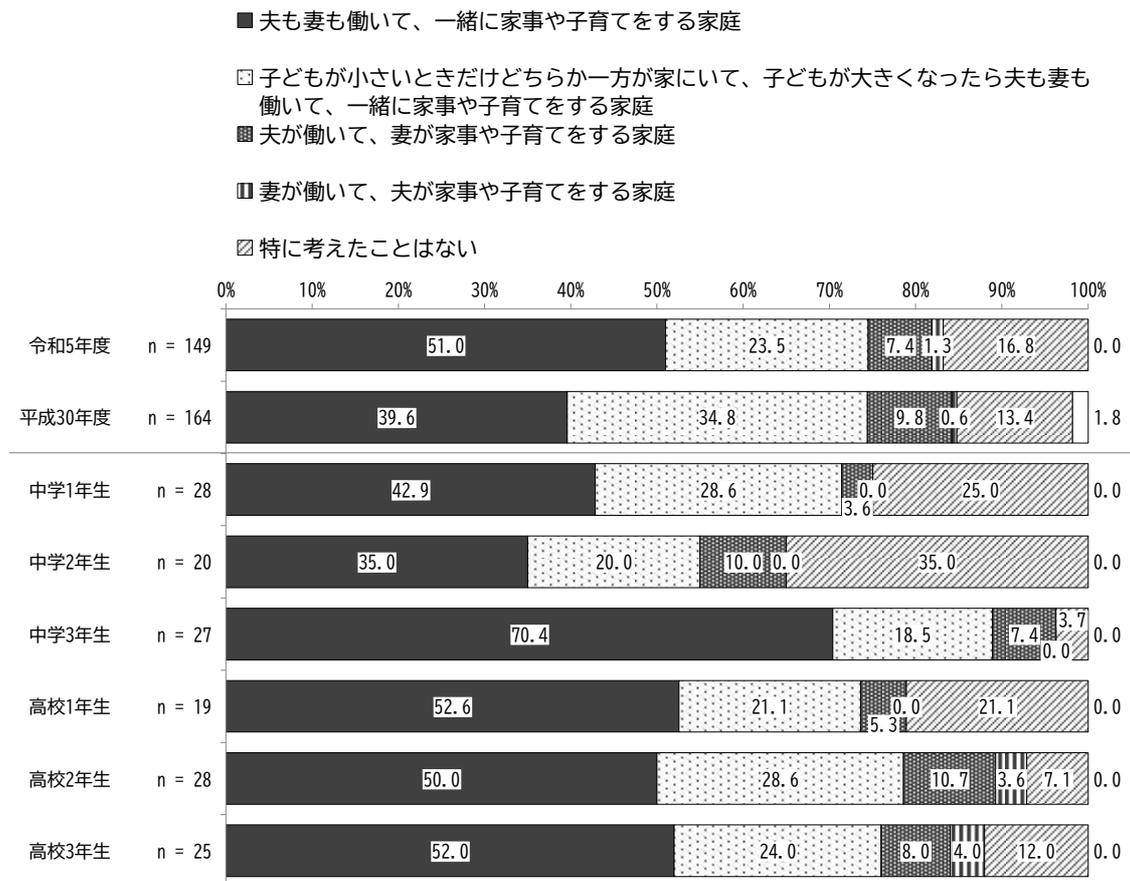
図表 192 ほしい子どもの人数



問 17 あなたは、将来どんな家庭を作りたいですか。(○は1つ)

- 「夫も妻も働いて、一緒に家事や子育てをする家庭」が51.0%で最も多く、次いで「子どもが小さいときだけどちらか一方が家にいて、子どもが大きくなったら夫も妻も働いて、一緒に家事や子育てをする家庭」が23.5%、「特に考えたことはない」が16.8%となっています。
- 平成30年度調査と比べると「夫も妻も働いて、一緒に家事や子育てをする家庭」が上昇し、「子どもが小さいときだけどちらか一方が家にいて、子どもが大きくなったら夫も妻も働いて、一緒に家事や子育てをする家庭」が低下しています。

図表 193 将来作りたい家庭



(3) 将来就きたい職業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

問 18 将来つきたい職業は何ですか。(○は3つまで)

➤ 「会社員」が30.3%で最も多く、次いで「公務員」が23.1%、「保育士・幼稚園教諭」が9.7%となっています。

図表 194 将来就きたい職業

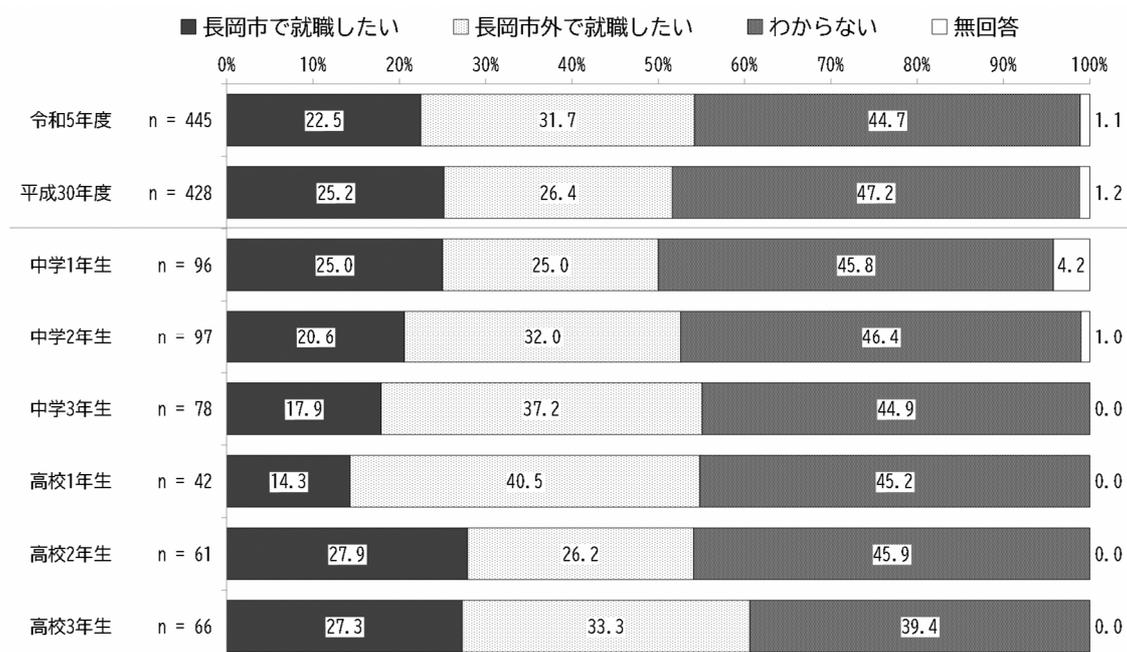
	調査数	会社員	公務員	保育士・幼稚園教諭	教師・教員	デザイナー	Youtuberなどのインフルエンサー	社長などの会社経営者・起業家	漫画家・イラストレーター	看護師	プロスポーツ選手	ゲームクリエイター
令和5年度	445	30.3	23.1	9.7	8.8	8.8	8.5	7.4	6.5	6.3	5.8	5.6
平成30年度	428	25.5	22.7	13.8	9.3	6.3	6.3	4.9	5.6	8.9	8.2	6.3
中学1年生	96	25.0	22.9	12.5	8.3	10.4	10.4	4.2	7.3	8.3	11.5	6.3
中学2年生	97	32.0	24.7	6.2	7.2	17.5	9.3	9.3	8.2	5.2	7.2	7.2
中学3年生	78	25.6	23.1	10.3	9.0	5.1	10.3	7.7	9.0	10.3	2.6	6.4
高校1年生	42	45.2	26.2	2.4	11.9	0.0	4.8	11.9	0.0	4.8	0.0	4.8
高校2年生	61	36.1	24.6	9.8	11.5	0.0	9.8	8.2	4.9	3.3	6.6	8.2
高校3年生	66	28.8	18.2	10.6	6.1	12.1	4.5	6.1	6.1	4.5	3.0	0.0
	調査数	カウンセラー・臨床心理士	ITエンジニア・プログラマー	医者	歌手・俳優・声優などの芸能人	運転手・パイロット	学者・研究者	マスコミ関係	作家・ライター	その他	無回答	
令和5年度	445	4.9	4.5	3.6	3.4	3.1	2.7	1.8	1.6	19.8	3.6	
平成30年度	428	4.0	6.5	5.4	6.5	1.6	3.7	1.6	2.6	22.7	1.9	
中学1年生	96	3.1	1.0	5.2	6.3	1.0	2.1	0.0	0.0	19.8	8.3	
中学2年生	97	5.2	5.2	4.1	4.1	7.2	2.1	1.0	1.0	13.4	3.1	
中学3年生	78	5.1	7.7	3.8	5.1	1.3	3.8	0.0	5.1	16.7	3.8	
高校1年生	42	4.8	2.4	7.1	0.0	2.4	4.8	9.5	0.0	16.7	2.4	
高校2年生	61	6.6	9.8	0.0	1.6	1.6	4.9	3.3	0.0	24.6	1.6	
高校3年生	66	6.1	1.5	1.5	0.0	4.5	0.0	1.5	1.5	28.8	0.0	

(4) 長岡市での就職意向

問 19 将来長岡市で就職したいと思いますか。(○は1つ)

- 「わからない」が44.7%で最も多く、次いで「長岡市外で就職したい」が31.7%、「長岡市で就職したい」が22.5%となっています。
- 平成30年度調査と比べると「長岡市で就職したい」が低下しています。
- 中学1年生から高校1年生までは学年が上がるにつれて、「長岡市で就職したい」が低下していますが、高校2年生以上では上昇しています。

図表 195 長岡市での就業意向

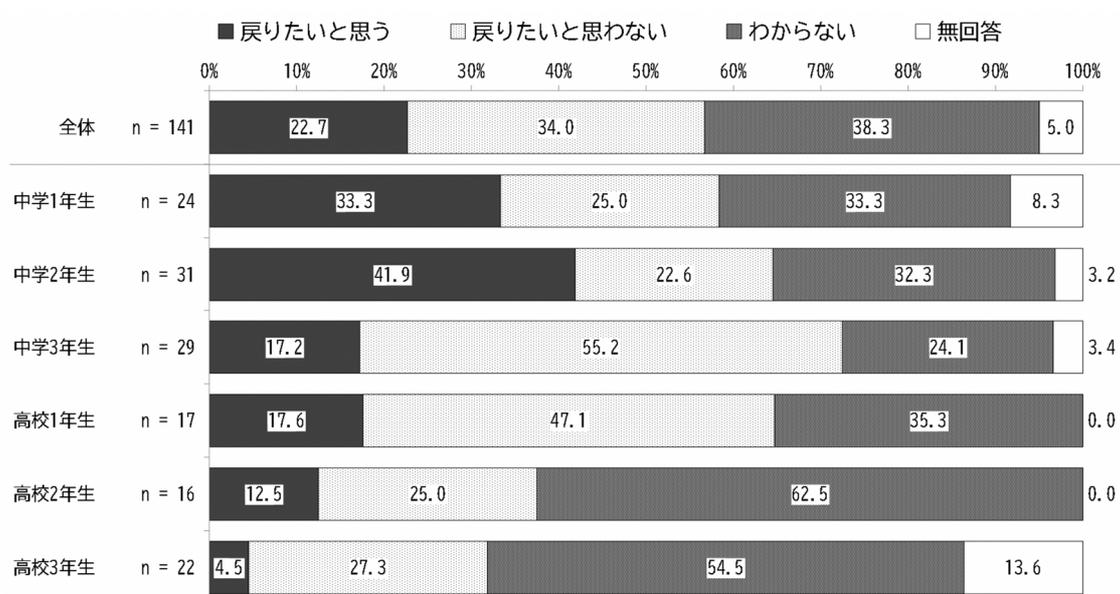


(5) 長岡市へのUターン意向・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

問 20 将来的に、長岡市に戻りたいと思いますか。(○は1つ)

- 「わからない」が38.3%で最も多く、次いで「戻りたいと思わない」が34.0%、「戻りたいと思う」が22.7%となっています。
- 学年が上がるにつれて「戻りたいと思う」が低下しています。

図表 196 長岡市へのUターン意向



(6) 長岡市へUターンする要因・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

問21 どのようなもの・ことがあれば長岡市に戻りたいと思えるようになりますか。(○はいくつでも)

➤ 「希望する仕事がある」が47.9%で最も多く、次いで「趣味が楽しめる」が41.7%、「日常の買い物が便利」が29.2%となっています。

図表 197 長岡市へUターンする要因

	調査数	希望する仕事がある	趣味が楽しめる	日常の買い物が便利	公共交通の利便性がよい	交通の利便性がよい	生活にかかるコストが低い	生活時間ゆとりが持てる	起業しやすい環境がある	子育て環境が整っている	医療・福祉・介護施設が充実している	その他	無回答
全体	48	47.9	41.7	29.2	27.1	25.0	22.9	16.7	14.6	8.3	6.3	12.5	2.1
中学1年生	6	66.7	33.3	33.3	33.3	0.0	33.3	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7
中学2年生	7	57.1	28.6	42.9	28.6	42.9	28.6	14.3	28.6	0.0	28.6	0.0	0.0
中学3年生	16	43.8	37.5	31.3	25.0	31.3	25.0	25.0	18.8	12.5	0.0	18.8	0.0
高校1年生	8	62.5	62.5	25.0	50.0	25.0	25.0	12.5	0.0	0.0	0.0	12.5	0.0
高校2年生	4	0.0	75.0	0.0	25.0	25.0	0.0	0.0	25.0	0.0	25.0	0.0	0.0
高校3年生	6	33.3	33.3	33.3	0.0	16.7	16.7	16.7	16.7	33.3	0.0	33.3	0.0

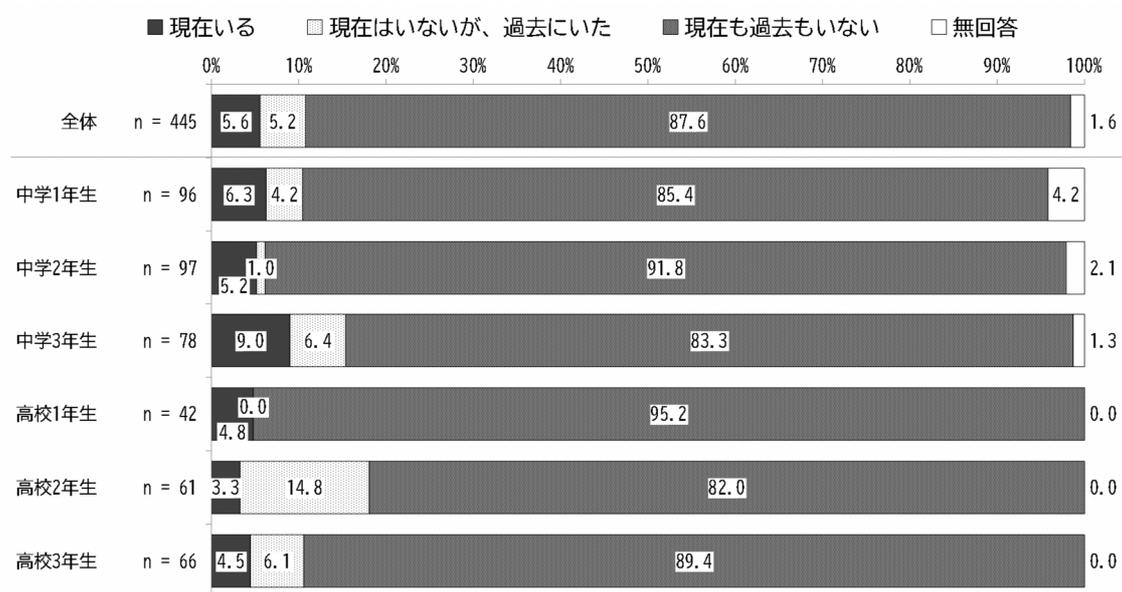
## 5. 家族のお世話

### (1) お世話している家族の有無

問 22 家族の中にあなたがお世話をしている人はいますか。(ここでいう「お世話」とは、ふつう大人が行うような家事や家族のお世話などをすることです。)(○は1つ)

- 「現在いる」が5.6%、「現在はいないが過去にはいた」が5.2%、「現在も過去もない」が87.6%となっています。
- 令和4年度に新潟県が実施した「ヤングケアラーに関する実態調査」(※)では、「お世話をしている家族がいる」の割合は3.6%です。

図表 198 お世話している家族の有無



※調査対象者が中学2年生、全日制高校2年生となっているなど、実施方法が異なることに留意を要します。

(2) お世話を必要としている家族・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

問 23 お世話を必要としている方を教えてください。(○はいくつでも)

➤ 「母親」が36.0%で最も多く、次いで「弟」が28.0%、「祖母」が24.0%となっています。

図表 199 お世話を必要としている家族

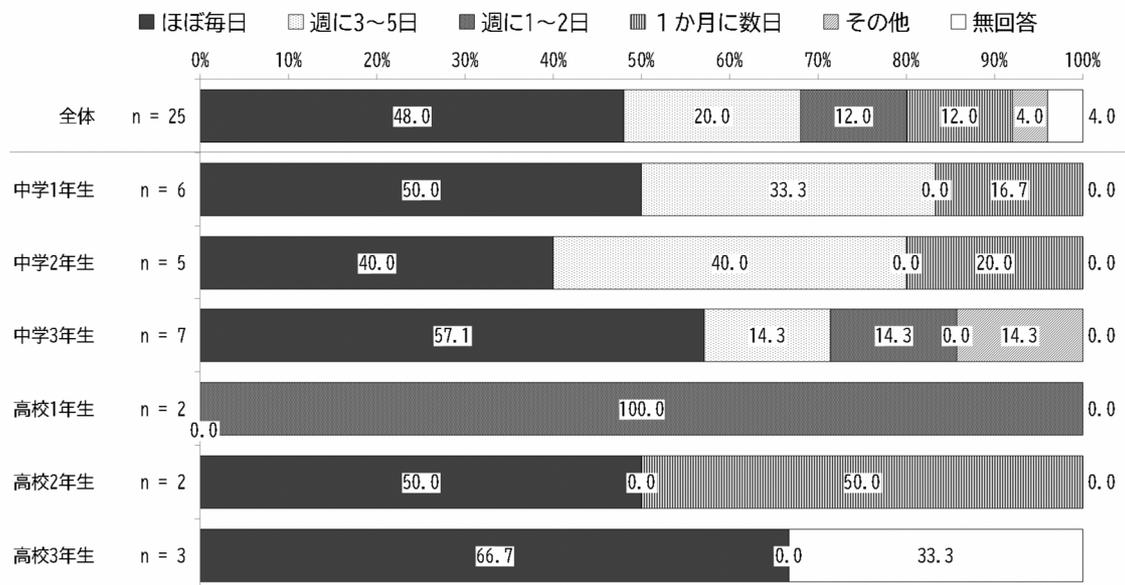
	調査数	母親	父親	祖母	祖父	兄	姉	弟	妹	その他の方	無回答
全体	25	36.0	16.0	24.0	12.0	4.0	12.0	28.0	16.0	4.0	0.0
中学1年生	6	50.0	33.3	66.7	0.0	16.7	0.0	0.0	16.7	0.0	0.0
中学2年生	5	20.0	20.0	0.0	0.0	0.0	20.0	40.0	20.0	0.0	0.0
中学3年生	7	42.9	14.3	14.3	0.0	0.0	0.0	57.1	14.3	0.0	0.0
高校1年生	2	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0
高校2年生	2	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0
高校3年生	3	66.7	0.0	33.3	33.3	0.0	0.0	0.0	33.3	33.3	0.0

(3) お世話の頻度と平日1日当たりの時間.....

問 24 あなたはどれくらいお世話をしていますか。(○は1つ)

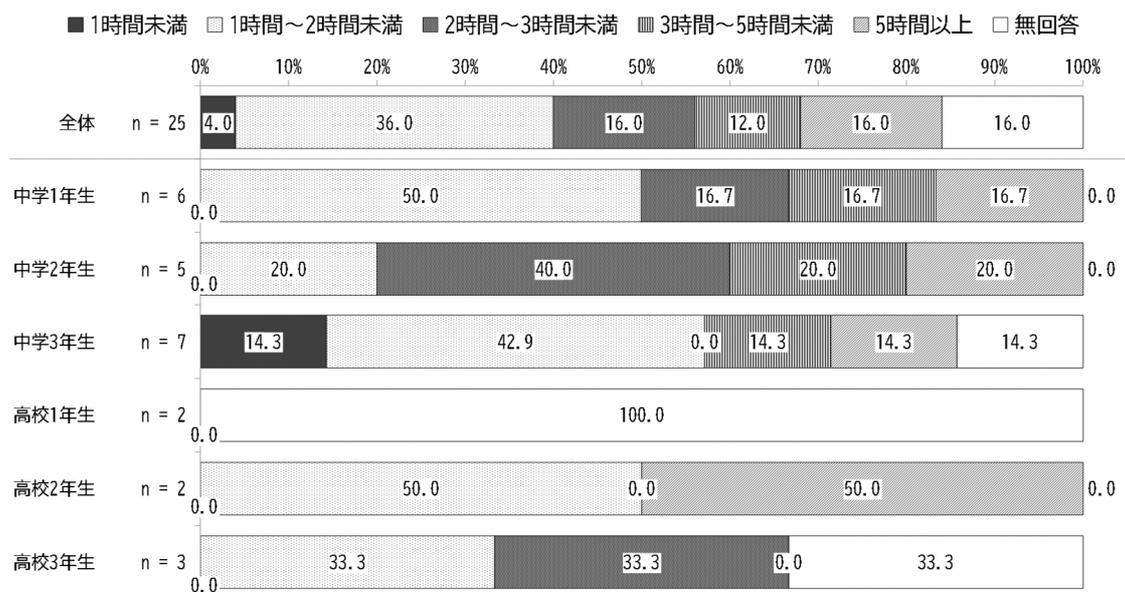
➤ 「ほぼ毎日」が48.0%、「週に3~5日」が20.0%となっています。

図表 200 お世話の頻度



➤ 「1時間~2時間未満」が36.0%で最も多く、次いで「2時間~3時間未満」「5時間以上」が16.0%、「3時間~5時間未満」が12.0%となっています。

図表 201 平日1日当たりの時間



(4) お世話の内容

問 26 あなたはどのようなお世話をしていますか。(○はいくつでも)

- 「家事(食事の準備や掃除、洗濯)」が56.0%で最も多く、次いで「買い物や散歩と一緒に行く」が40.0%、「見守り」が28.0%となっています。

図表 202 お世話の内容

	調査数	家事(食事の準備や掃除、洗濯)	買い物や散歩と一緒に行く	見守り	やさしいお世話を迎える	話し相手になって話を聞く	入浴やトイレのお世話	病院と一緒にいく	通訳(日本語や手話など)	お金の管理	薬の管理	その他	無回答
全体	25	56.0	40.0	28.0	24.0	24.0	20.0	4.0	4.0	0.0	0.0	12.0	0.0
中学1年生	6	33.3	83.3	16.7	16.7	50.0	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7	0.0
中学2年生	5	40.0	20.0	80.0	20.0	20.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0	0.0
中学3年生	7	57.1	28.6	14.3	57.1	14.3	28.6	0.0	14.3	0.0	0.0	14.3	0.0
高校1年生	2	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
高校2年生	2	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
高校3年生	3	100.0	66.7	33.3	0.0	33.3	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

(5) お世話をしていることで経験したこと

問 27 お世話をしていることで、以下のような経験をしたことはありますか。(○はいくつでも)

- 「特にない」が64.0%で最も多く、次いで「宿題など勉強をする時間がない」「自分の時間が取れない」が16.0%、「学校を休んだ」「友達と遊ぶことができない」が8.0%となっています。

図表 203 お世話をしていることで経験したこと

	調査数	宿題など勉強をする時間がない	自分の時間が取れない	学校を休んだ	友達と遊ぶことができない	遅刻や早退をした	眠る時間が足りない	習い事ができない	部活に参加(所属)できない	その他	特にない	無回答
全体	25	16.0	16.0	8.0	8.0	4.0	4.0	0.0	0.0	0.0	64.0	0.0
中学1年生	6	16.7	16.7	0.0	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0
中学2年生	5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
中学3年生	7	42.9	42.9	14.3	14.3	14.3	14.3	0.0	0.0	0.0	28.6	0.0
高校1年生	2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
高校2年生	2	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0
高校3年生	3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0

(6) 周りの大人にしてもらいたいこと……………

問 28 学校や周りの大人にしてもらいたいことはありますか。(〇はいくつでも)

- 「特にない」が44.0%で最も多く、次いで「自由に使える時間がほしい」が32.0%、「自分のことについて話を聞いてほしい」「勉強を教えてほしい」が20.0%となっています。

図表 204 周りの大人にしてもらいたいこと

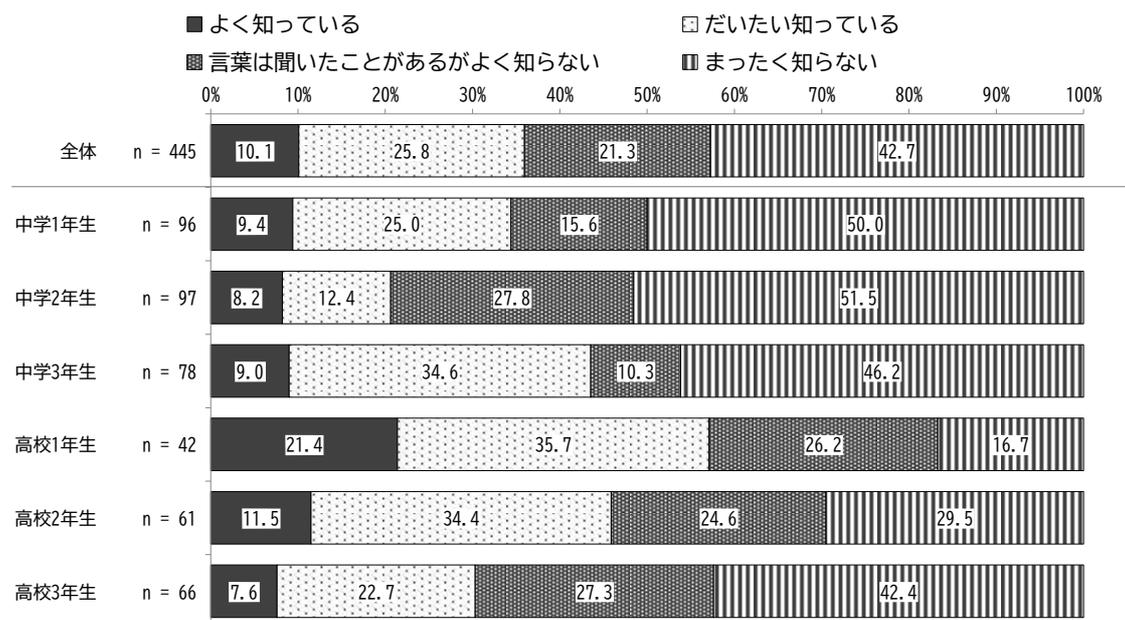
	調査数	自由に使える時間がほしい	自分のことについて話を聞いてほしい	勉強を教えてほしい	お金の面で支援してほしい	自分が行っているお世話のすべてをだれかに代わってほしい	自分が行っているお世話の一部をだれかに代わってほしい	家族のお世話について相談にのってほしい	家族の病気や障がい、お世話のことなどをわかりやすく教えてほしい	その他	特にない
全体	25	32.0	20.0	20.0	12.0	4.0	4.0	0.0	0.0	8.0	44.0
中学1年生	6	33.3	0.0	0.0	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7	33.3
中学2年生	5	60.0	40.0	40.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0	40.0
中学3年生	7	28.6	28.6	28.6	14.3	14.3	0.0	0.0	0.0	0.0	42.9
高校1年生	2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
高校2年生	2	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0
高校3年生	3	33.3	0.0	33.3	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	33.3

(7) ヤングケアラーの認知度

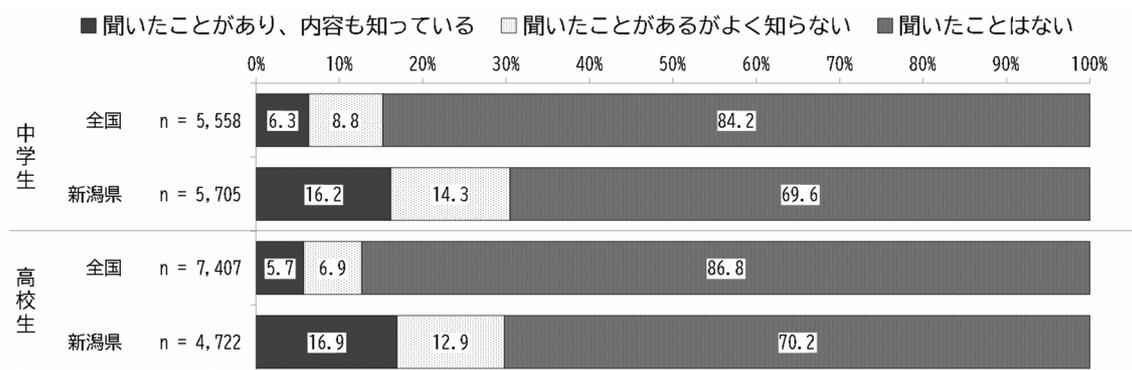
問 29 ヤングケアラーという言葉についてどれくらい知っていますか。(○は1つ)

- ▶ 「まったく知らない」が42.7%で最も多くなっています。
- ▶ 「よく知っている」「だいたい知っている」を合わせると35.9%となっています。
- ▶ 参考となりますが、新潟県が実施した「ヤングケアラーに関する実態調査」では、「聞いたことがあり、内容も知っている」の割合は中学生で16.2%、高校生で16.9%です。

図表 205 ヤングケアラーの認知度



図表 206 (参考) 国、県調査結果 ヤングケアラーの認知度



出典：全国「ヤングケアラーの実態に関する調査研究報告書」（令和3年3月）

新潟県「新潟県ヤングケアラー実態調査結果」（令和4年6月）

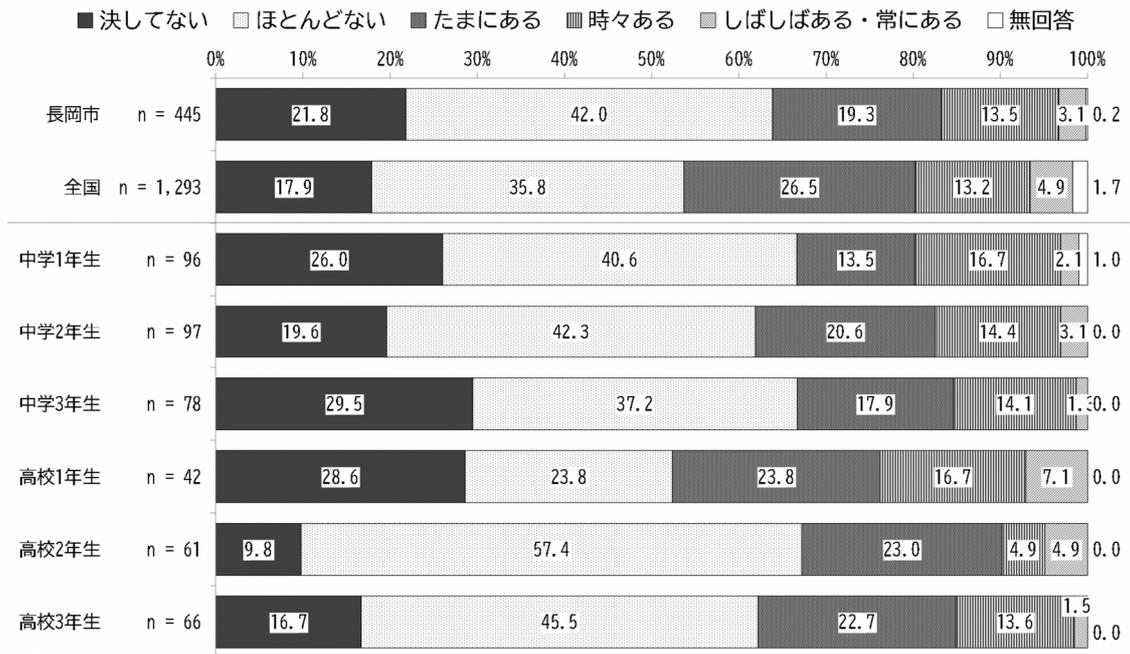
## 6. 自身の状況

### (1) 孤独感

問 30 あなたはどの程度、孤独であると感じることがありますか。(○は1つ)

- 「決してない」「ほとんどない」を合わせた割合は63.8%となっています。
- 令和4年度に内閣府が実施した「こども・若者の意識と生活に関する調査」(※)では、「決してない」「ほとんどない」を合わせた割合は53.7%です。

図表 207 孤独感



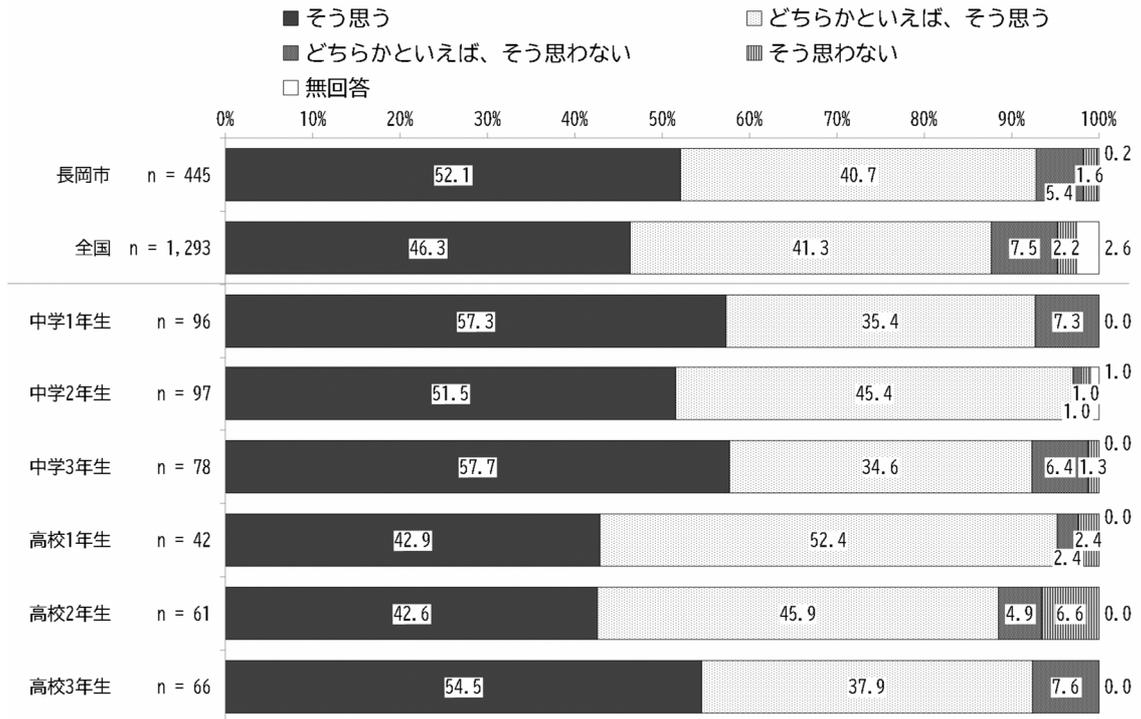
全国の数値の出典：こども・若者の意識と生活に関する調査（令和4年度）における15～19歳の集計結果

(2) 幸福感.....

問 31 あなたは、今、自分が幸せだと思いますか。あなたの実感を教えてください。(○は1つ)

- 「そう思う」「どちらかといえば、そう思う」を合わせた割合は92.8%となっています。
- 令和4年度に内閣府が実施した「こども・若者の意識と生活に関する調査」(※)では、「そう思う」「どちらかといえば、そう思う」を合わせた割合は87.6%です。

図表 208 幸福感



全国の数値の出典：こども・若者の意識と生活に関する調査（令和4年度）における15～19歳の集計結果



## 第4章 考察

### 「長岡市子育て・育ち“あい”プラン策定に関するニーズ調査」結果考察 長岡市子ども・子育て会議 アドバイザー 小池由佳（新潟県立大学）

#### 1. はじめに

本考察は、令和5年度に長岡市が実施した「長岡市子育て・育ち“あい”プラン策定に関するニーズ調査」（以下、「ニーズ調査」）報告書に基づくものである。詳細な結果は報告書に委ね、ここでは、今回調査結果から推察されること、前回調査との比較、計画策定にあたって期待したいことを中心に述べる。

#### 2. 「就学前児童、小学生のいる家庭の保護者を対象とした調査」の考察

##### (1) 子育て期の生活バランス……………

子育て環境や支援に対する満足度（P.80）を確認すると、「とても満足」「まあまあ満足」が計65.1%という結果であった。

その背景には、平日の保育・教育事業の状況（P.29～59）に対する高い評価および「子育ての駅」を子育て支援の拠点と位置づけ、環境構成や広報に精力的に取り組んだ地域子育て支援事業の成果がある（P.40～45）。「子育ての駅」が市民に浸透していることを裏付ける高い利用率と同時に、現在の利用状況（利用頻度）に満足している（P.40～45）様子もうかがえた。

これらの結果から、乳幼児の子育て環境は、いくつかの課題はあるものの、概ね好評価であることが推察される。

一方、課題として見えてきたのは、生活（仕事・子育て・家事）のバランスについて、子どもの世代（就学前児童と学童）の違いや母親・父親の間での認識の違いである。ここでは、子育て期の生活バランスという観点から考察を行う。

##### 1) 親の就労状況

ここでは特に母親の就労状況を取り上げる。前回調査と比較し、就学前児童、小学生の母親いずれもフルタイム就労者が増加している。注目したいのは、パート・アルバイト等の就労者のうち、フルタイムへの転換希望の意向である。全体で見ると、「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」55.8%、「フルタイムへの転換希望（実現の見込み有無）」40.7%となっており、今の働き方を選択している回答者と転換を希望する回答者が混在していることがわかる。転換希望について、前回調査との比較で見ると、就学前児童では、パート・アルバイト等での就労継続の希望者が占める割合が増えているが、小学生では、フルタイムへの転換希望が増える結果であった。

父親の就労形態と比べて、母親の就労形態は多様である。子どもの状況、回答者（養育者）の状況、家族環境、職場環境等を加味した結果、母親が就労形態を調整することで、子育て・家事が成立していると言える。「母親の調整」は、希望する保育園に入園するた

めに育休の調整をしていることから明らかである。調整の結果、成立しているが、希望どおりとなっていないことも生じている。

## 2) 育児休業の取得

父親の取得状況から確認する。特に「取得しなかった理由」として、就学前児童・小学生いずれについても、前回調査結果より「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」の選択率が高くなっている。男性の育児休業取得の制度化が進むなかで、職場の雰囲気を理由に取得を断念している父親の存在が明らかになった。

育休を取得している父親も、希望通りの育休が取得できているわけではない。希望より早く復帰した理由に経済的理由が37.0%と最も高い選択率であった。同時に、父親は長期間の育休取得を希望しているわけでもない（育休後の復帰の時期および育休取得期間の意向）。父親の育休取得について、職場理解と同時に、母親や家族、子どものニーズと父親の意向の折り合いをつけることができるか、が重要である。

母親の取得状況を見ると、「取得しなかった」「就労していなかった」の合計が34.7%を占めること、取得しなかった理由として「子育てや家事に専念するために退職した」が45.3%となっていることから、妊娠がわかった時点で、4割近くが退職を選択していることが推察される結果であった。

父親の「取得しなかった理由」と違い、母親は「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」が占める割合が前回調査と比較して、大きく減少している。近年の両立支援策の進展の結果、母親が制度を利用するようになった。その結果、育児休業取得者が増加し、育児休業取得が普遍化しつつある。雇用主も労働力確保、制度によるバックアップ、企業の福利厚生として取り組むことで、同一企業内に取得者が増えることで、より取得しやすい労働環境が構築されてきた。一方で、父親の育児休業制度は、はじまったばかりである。今後、母親の育児休業取得同様の展開となることを期待したい。

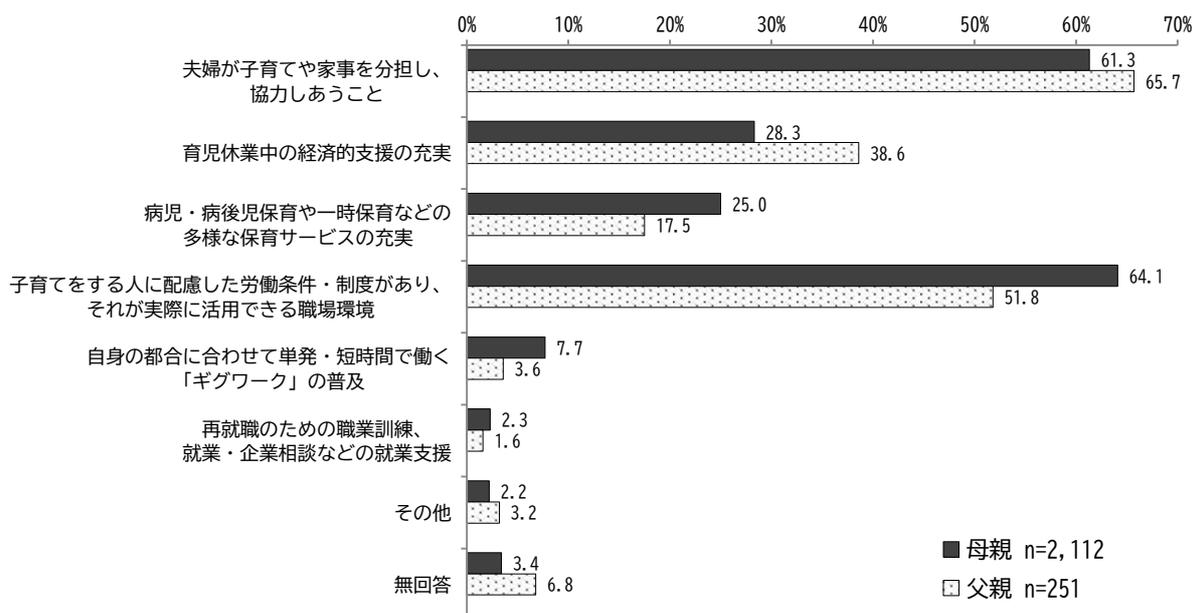
## 3) 子育てしながら働くために必要なこと／父親の子育て・家事／生活のバランス

全体結果として、「子育てをする人に配慮した労働条件・制度があり、それが実際に活用できる職場環境」が最も高い選択率であったこと、「育児休業中の経済的支援の充実」が就学前児童においてより顕著な結果であったことは、前述した考察とつながる。

「夫婦が子育てや家事を分担し、協力しあうこと」も高い選択率であるが、前回調査結果との比較に着目したい。小学生の回答をみると、前回調査とほぼ変わらない結果であったが、就学前児童では、10ポイント高い結果となった。

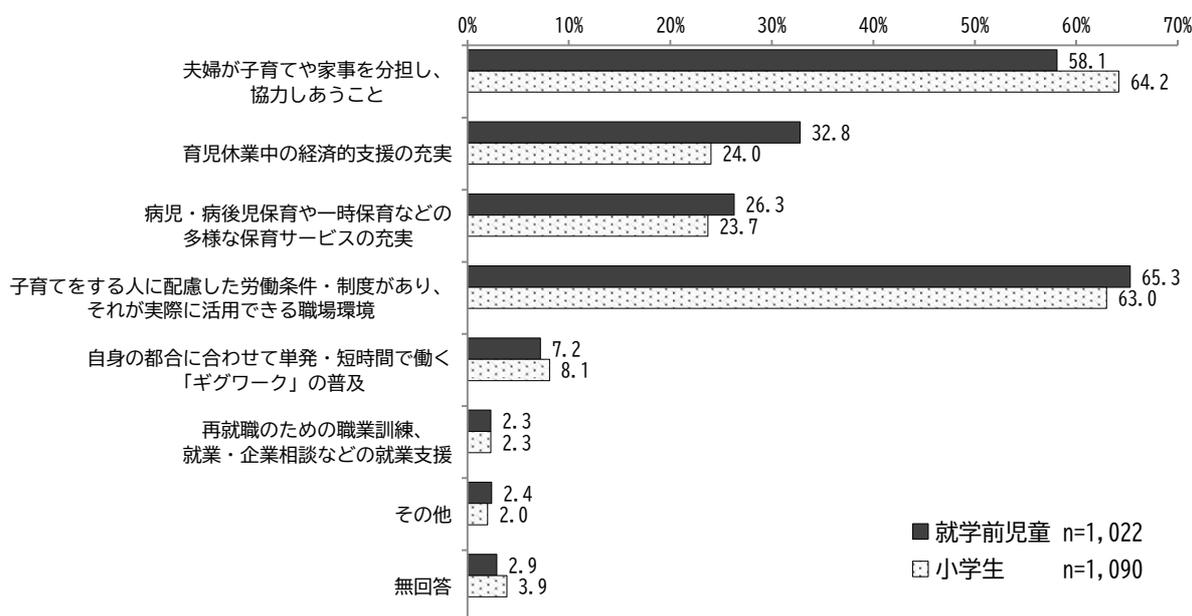
ここで、子育てしながら働くために必要なことについて、①父親・母親別、②子どもの年代別に分析した結果を確認したい。

図表 210 子育てしながら働くために必要なこと(父親・母親別)

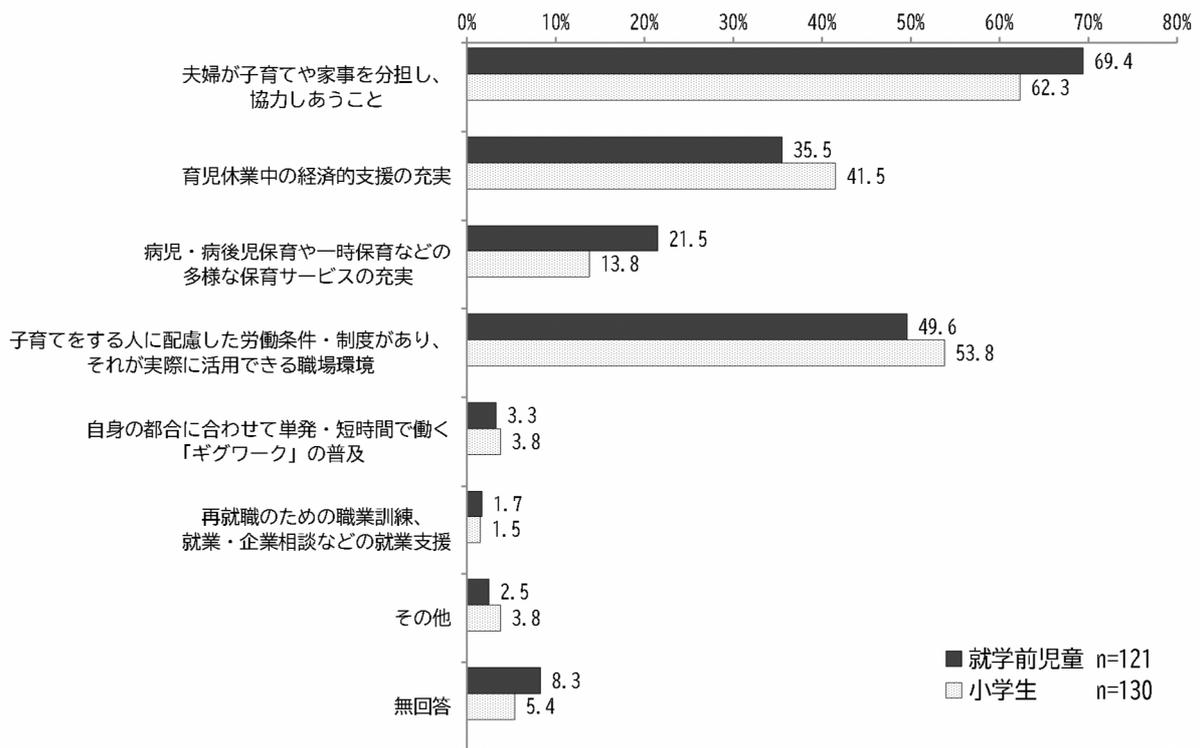


父親はどちらかというとな夫婦や家族の協力体制を選択しているが、母親はサービスの充実を選択する傾向にある。

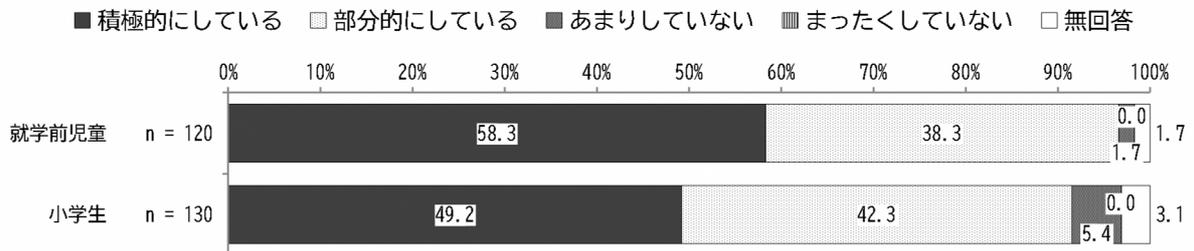
図表 211 子育てしながら働くために必要なこと(母親回答:子どもの年代別)



図表 212 子育てしながら働くために必要なこと(父親回答:子どもの年代別)

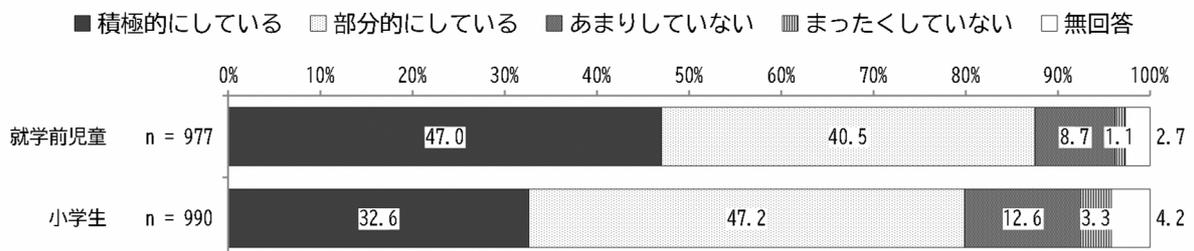


図表 213 お父さんの子育て・家事(父親回答:子どもの年代別)



※父親が回答したもの(父親自身からみた父親の子育て・家事の頻度)

図表 214 お父さんの子育て・家事(母親回答:子どもの年代別)



※母親が回答したもの(母親からみた父親の子育て・家事の頻度)

図表の結果から以下のことが明らかである。

①学童期の「子育てしながら働くために必要なこと」は、母親は、就学前より学童期以降の方が「夫婦で子育てや家事を分担すること」が高い選択率となっている（図表 211）が、父親は「子育てや家事の分担」の選択率が減少し、経済的負担や職場環境の充実を選択する傾向が見られる。

②「お父さんの子育て・家事」について、父親と母親のいずれの回答においても、就学前児童と小学生で「積極的にしている」割合が減少している。子どもが小学生になると、父親自身も母親からも子育てへの関与が低い、と認識している。

学童期の子育て支援について、長岡市としての施策も必要である。学童期も含めた、切れ目ない子育て支援が必要ではないだろうか。そのためには、①学童期の子どもがいる家庭に対する支援の充実、特に働き方を含めて検討する、②学童期の子育て・家事について、夫婦や家族で願いや希望を共有することが考えられる。

## (2) 地域子育て支援の在り方……………

次に、地域子育て支援のあり方について、気になった点をいくつか述べる。

### 1) 地域とのつながりの脆弱化

本調査の結果および前回調査からの比較を通じて、子育て期における地域とのつながりが脆弱化したことが明らかになった。

子どもの預け先として、配偶者・パートナー、近親者の割合が増え、知人・友人等が占める割合が減った。相談先にも、知人・友人の占める割合が減少、小学生保護者では、学校の先生への相談割合が減っている。

これは、新型コロナウイルス感染症対策として、学校の一斉休校、母子保健や地域子育て支援事業等の閉鎖がもたらした影響といえるだろう。子育てに関わる支援者や関係者は、このような状況下において、子育て期の保護者同士、子ども同士のつながりをいかに維持することの大切さを認識しながら、できる範囲のことに取り組んできた。しかしながら、社会全体で人とつながることに制限がかけられていたなかで、他者とのつながりのなかで子どもを育てる基盤づくりが弱くなってしまったことも否めない。3. 子育ての状況 (1) 「主に子育てを担っている方」の結果 (P. 8) より、「父母共に子育て」という気運が高まっていることが明らかになった。父母で子育てを担うというプラスの側面があるが、それは父母のみの子育てで完結することを意味するのではなく、父母に加えて、地域とのつながりもあることで、子どもの社会化が促されることが望まれる。子どもの社会化には、家庭、園や学校等、地域の居場所という3つの居場所があることが指摘されている（山縣 2022）。湯浅誠氏は居場所の定義として「誰かにちゃんと見てもらえる、受け止められている、尊重されている、つながっていると本人が感じられるような関係性の場のこと」と表現している（2024年4月25日 新潟県こどもの居場所づくりトップセミナー配付資料より）。今回の調査結果は、親子の居場所の意義を再確認する機会となった。

## 2) 子どもの生育環境と発達保障

子どもの発達の相談をしやすい場所・機会として、「個別の相談室で安心して話ができる」が最も高い選択率(56.9%)であり、続いて「保育園・幼稚園・認定こども園等」(33.9%)、「直接会って相談できる」(31.4%)であった。こども園や保育所等、園への期待が高いことが明らかになった。園に対する期待を踏まえて、発達相談を受け止められる園内の体制づくりと、園全体を支えるしくみが必要だろう。発達相談の場としての役割を果たすことで、保育者や園全体が疲弊しないことへの配慮が必要である。

## 3) 就学前児童に対する支援への高い評価

本調査結果から、長岡市で展開されている教育／保育について、利用者から高い評価が得られていた。前回調査から本調査の間には、コロナ禍による休園等を経験したが、それを乗り越えて高い評価が得られたことは、日頃、子ども・保護者のニーズに応じた教育／保育が展開されていると言えるだろう。引き続き、利用者からの信頼が継続される質の担保を期待したい。そのためには、今日課題となっている、保育事故を防ぐ体制づくりや不適切保育が生じない環境づくりが必要である。

## 4) 子育てに関する相談

明確に「相談しない」と回答した割合は全体の3.2%であり、「その他」「無回答」の計3.2%については、相談の有無の判断がつかないために正確には言い切れないものの、少なくとも回答者の93.6%は子育てに関する悩みや不安を相談していることが明らかになった。悩みや不安が生じたときに、言葉にして他者に伝えることができる環境のなかで、子育てが営まれていることがわかる。そのことを前提に、前回調査結果との大きな違いとして、①知人・友人、近所の人・地域の人への相談が減っていること、②小学生保護者において学校等の先生への相談する割合が減っていること、③「相談しない理由」として、就学前児童において、「ひとりで解決できるから」「相談するのが面倒だから」が占める割合が高くなっていることが明らかになった。

①について、前回調査と同じ選択肢でないために正確な比較とはならないが、「配偶者(夫又は妻)、パートナー」や「その他の親族(親・兄弟姉妹など)」が占める割合は増加しており、家族・親族に相談する傾向が高まり、知人・友人等への相談が減っている。主な子育ての担い手として「父母ともに」の割合が増加していることを鑑みると、配偶者やパートナーが相談相手として増加することも当然の結果である。一方で、知人・友人、近所の人等の減少は、相談先に偏りが生じているとも言えるだろう。子育ての些細な悩みや不安を地域で受け止める機会が減ったと言える。

②と③が生じた背景には、感染症対策の影響が推察される。長岡市は他者とのつながりのある子育てを大切に、「子育ての駅」を核とした地域づくりに尽力されてきた。それでも地域とのつながりの脆弱さが生じている。令和5年5月より行動制限は緩和されたが、以

前とは違う子育て環境のなかで、既存の制度や社会資源を活用しながら、つながりの再構築をめざすこととなる。

### 3. 長岡市内の中学校・高等学校に通学する中高生を対象とした調査

本調査結果を概観すると、現在の生活に概ね満足している傾向といえる。

それを前提にいくつか気になった点について考察する。なお、本調査の実施期間が、令和5年1月であることから、①中学3年生は部活動から引退し高校受験の時期であること、②高校3年生は進路が確定した生徒と共通試験の受験中である生徒が混在している時期であることを踏まえて、分析する必要がある。

#### (1) 日常生活

手伝いについて、前回調査と比べると、「ほとんど毎日手伝う」「時々手伝う」の割合はやや増加しているが、手伝う内容ごとにみると、選択された項目が減っている。手伝いの内容をみると、中高生が家庭内で一定の役割を担っていることが読み取れる。

帰宅時間について、前回調査より「15～17時」の選択率が高くなっているが、先に述べたように、中学3年生の回答結果の影響を受けている可能性がある。

放課後／土日祝日を過ごす場所について、前回調査との比較において、いずれにおいても、「自宅で過ごす」の選択率が高くなり「学校、友人宅」「学習塾・予備校」が低下、「ゲームセンターやカラオケ店」、「アルバイト先」が全体に占める割合は1割には届かないが、選択率の増加が見られた。今回の調査対象となった中高生は、「ソーシャルネイティブ世代」と言われる年代であり、幼少期からSNSを身近に使うことができる環境に育った世代である。自宅で過ごしていても、SNSを通じて人とのつながりを構築していくが、その傾向が前回調査より進んだと言える。学習塾・予備校の低下の背景にもオンライン化の可能性も否定できない。「アルバイト先」に着目すると、高校2年生から選択率が高くなり、高校3年生で一気に高くなっている。高校卒業後の進路に見通しがついた生徒がアルバイトをしていることが推察される。しかしながら、その目的が将来のこと（貯蓄や進学費用）ではなく、今の生活（家計など家族の生活費や自分の生活費）の維持を目的とした傾向がみられた。1つを選択、とされた設問で「家計など家族の生活費」を選択した生徒がいること、前回調査では見られなかったが、本調査では回答があったことを受け止めるべきだろう。

放課後や土日祝日を過ごす際に求める場所やサービスで、選択率が高かったのが「Wi-Fiが無料で使える場所」「一人でゆっくりと過ごせる場所」であったことも、上記結果とつながる。前回調査と比べると選択率は下がっているが「仲の良い友だちと気軽におしゃべりできる場所」が4割近く選択されていることから、この3点が成立する場を求めている。一方、直接的な他者との関わりが生じる場所やサービスが選択される率は減っている。回答方法が3つまでの選択となっているため、優先度が高い項目の選択になっている可能性があること、「読書や勉強ができる場所」「無料で勉強を教えてくれる場所」については、高校3年生の選択率が低い（進路が決定していることが推察）ことも考慮して検討する必要がある。

ソーシャルネイティブ世代の中高生の放課後保障を社会がどう構築するのか、そこに子どもの声をいかに反映させることができるか。部活動の時間を含め、小学生より多くの時間を学校で過ごすことになる中高生は、自宅と学校での過ごし方が中心となり、地域での過ごし方を検討する機会が少ない。その結果、地域での中高生の姿が見えづらくなる。

調査結果から、直接的な他者との関わりが生じる場所やサービスを選択する率は減っているが、その背景には、自宅で楽しめること、他者とつながることができることがあるだろう。同時に、地域に中高生が過ごせる場の小ささもあるのではないだろうか。地域で暮らすひとりとして、相互に顔の見える関係をつくるきっかけが地域に存在することが期待される。

悩みや不安について、受験等進路に関する項目の選択率が高い結果であった。着目したいのは、高校3年生で「お金」「人生、生活」「性」「インターネット上の人間関係」の選択率が高くなっていることである。調査設計として、選択は3つまでとなっていること、調査時期から、受験が終了し、将来（進路）が確定したことで、それらの選択肢が該当しなかったため、他の項目を選択している可能性もある（「特になし」が他の学年に比べても高い）。中高生にとって、受験等進路が悩みや不安の中心となる。どのような選択であっても、進路選択に伴う悩みや不安はつきものであり、寄り添うことのできる具体的な相談先や機会が中高生に伝わる機会の提供が求められる。相談しない理由として「特に悩みや不安は無いから」の選択率が減り、「相談するのが面倒だから」が前回調査より高い結果であった。この傾向は、保護者を対象としたアンケート調査でも一定の選択率がある（全体の13.2%が選択。就学前児童では、20.0%が選択）。いずれも選択数としてはわずかであるが、相談したいことを抱えつつ時間が経過し、深刻化することもありえる（時間が解決している場合もある）。「面倒」と受け止める要因について、個人・環境・制度の側面から検討する必要があるだろう。

## (2) 将来への考えや意識・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

将来の考えや意識について、家族の姿を中心に尋ねている。「こどもがいる」生活を思い浮かべた回答者は全体の4割弱にとどまった。中高生が将来「こどもがいる」生活をイメージできない／しない／したくないことを真摯に受け止める必要がある。個々人の選択を尊重することを前提に「こどもがいる」将来を描かない中高生が成人となったときに、「こどもがいる」社会を消極的に捉えることにつながることを危惧している。子ども数も尋ねているが、現状として、自ら子育てするか否かではなく「こどもがいる」社会をイメージできるか否かのレベルになりつつある。

「こどもがいる」家庭のイメージとして、子どもの年代に合わせた働き方を希望しているが、父親・母親のいずれも働く姿をイメージしている回答者が全体の4分の3を占めていた。この割合は、今回調査と前回調査で変わっていない。変わったのは、子どもが0-2歳の時も、共働きをイメージする中高生の割合が増えたことである。0-2歳児の子育てを社会で担う希望が高くなるなかで、課題として①保育の質の確保、②在宅で子育てする家庭支援の必要性とその地域醸成、専門職のモチベーション担保、である。こども家庭庁が示した「幼児期までのこどもの育ちに係る基本的なビジョン（はじめの100か月の育ちビジョン）」（平成5年12月公表）で示されている理念の実現とも関連させてとらえていきたい。

長岡市での就職意向について、中高生の段階では判断がつきかねる傾向ではあるものの、「希望する仕事がある」ことや「趣味が楽しめる」ことで就職は市外であっても、Uターンにつながる可能性があることが示唆された。

### (3) 家族のお世話・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

「現在も過去もない」を選択した 87.6%を除く 12.4%において、「お世話している家族」について、思い当たることがある結果であった。あえて「無回答」を加味したのは、回答者が家庭で行っている行為が、問われている「家族のお世話」に該当するかどうかの判断がつきかねる、あるいは「答えたくない」という回答者が含まれることが想定されるからである。「お世話を必要としている」家族をみると、「母親」「弟」「祖母」と続く。「母親」「祖母」という子どもにとって女性にあたる親族のケアは子どもに委ねる傾向があること、「兄」「姉」より「弟」「妹」といった下のきょうだいケアを託される傾向があることが読み取れる。福祉関係者はこの点を意識する必要がある。関係者がこの傾向を認め、強化している可能性も否定できない。

お世話をしていることで経験したこととして、「特にない」が 64.0%と過半数であるが、何らかの項目を選択した回答者 (N=9) に着目すると「宿題など勉強をする時間がない」「自分の時間がとれない」がいずれも 44.4%、「学校を休んだ」「友達と遊ぶことができない」いずれも 22.2%、「遅刻や早退をした」「眠る時間が足りない」いずれも 11.1%となる。周りの大人にしてもらいたいこととして、「特にない」は 44.0%にとどまり、経験したことの回答「特にない」(64.0%)とのずれが生じている。つまり、選択肢に該当する項目にはあてはまらないが、周りの大人からしてもらいたいことがある、という回答者の希望が反映されている。家族内で起きている事象について、子どもと大人の認識のずれがあることに目を向ける必要がある。何らかの項目を選択した回答者 (N=14) に着目すると「自由に使える時間が欲しい」57.1%、「自分のことについて話を聞いて欲しい」「勉強を教えて欲しい」いずれも 35.7%となる。「自由に使える時間が欲しい」という声に応えることのできる寄り添いにとどまらない、具体的支援の提供が必要である。

ヤングケアラーの認知度は今後の課題といえる。「ヤングケアラー」の課題は、子どもがその言葉を知ることが目的ではなく、子どもは家族の世話のために、子ども期に経験・体験できることに専念できない状況から解放されていいことを知ることである。

## 4. 総括

以上の考察をふり返り、今年度の計画策定にあたって、3点を掲げたい。

### (1) 「ワークライフバランス」から「ライフワークバランス」に……………

本調査は、今、子育て中の回答者が、子育て期をどう過ごしたいかが伝わる結果であった。

「ワークライフバランス」の推進は、国を挙げての取組となっている。内閣府の定義では、「国民一人ひとりがやりがいや充実感を感じながら働き、仕事上の責任を果たすとともに、家庭や地域生活などにおいても、子育て期、中高年期といった人生の各段階に応じて多様な生き方が選択・実現できる社会」とされている（出典：内閣府

<https://www.cao.go.jp/wlb/towa/definition.html>）。ワークとライフを両立させることを目指すような定義となっているが、今回の調査結果も含め、ライフ（生活、人生、生命）のなかにワーク（仕事）を位置づけるという捉え方を選択する傾向が見られる。ライフにおけるワークのバランスをどう設定するかは個人差や家族での捉え方も多様化している。この多様化への対応が個人に委ねられていること、特に母親が就労の調整をすることで成立している。父親の役割、雇用主や社会全体で分担しながら、「ライフワークバランス」の実現を期待したい。

また、父親と母親の認識の違い、特に学童期における差が明らかとなった。乳幼児期の子育て支援は、父親、母親、双方に対する支援の充実が、休業制度や所得保障も含めて充実してきた。一方、学童期になると、父親に意識の変化が生じている。この差をいかに埋めるか、これも父親、雇用主、社会全体での意識化が期待される。

### (2) 地域子育て支援の再構築……………

本調査結果および「長岡市子育て世帯の生活に関する調査」のいずれにおいても、地域とのつながりの脆弱化が生じていた。繰り返すが、長岡市の取組が不十分であったのではない。行動制限がもたらす影響の大きさである。感染症対策を継続しつつ、「つながりのなかでの子育て」の再構築を目指すことになる。

2024年4月より、改正児童福祉法にもとづく子ども家庭福祉サービスの充実が図られる。市には「こども家庭センター」が設置され、母子保健と児童福祉の一体的な相談支援体制を構築することになる。利用者支援事業（母子保健型）は、こども家庭センター型に移行し、公的機関と民間団体との協働を踏まえた体制づくりが進められることとなる。これまでの地域子育て支援事業に加えて、あらたに「家庭支援事業」が盛り込まれた。地域子育て支援拠点事業は、社会福祉法に基づく重層的体制整備事業における「地域づくり」を担うことを求められている。児童福祉法改正によって制度化されたサービスは、子ども・子育て支援法に基づく地域子育て支援事業として位置づけられる。それら事業を、こども計画に反映することで、実効性のある計画策定につなげることができる。

### (3) 子どもの声を反映する……………

中高生を対象とした調査結果から、中高生が暮らす現状が明らかになった。計画策定にあたって、明らかになった点を反映させていきたい。その際、①中高生の声を聴く、②具体的な支援を提供することを改めて確認したい。

本調査結果では、中高生が自宅で過ごす時間が長くなっていること、子どもがいる社会や子育てのイメージを持ちづらいことが明らかになった。この結果を中高生はどのように受け止めるだろうか。今回策定する「こども計画」では、子どもの声を反映するよう示されている。本調査結果は対話のきっかけになるだろう。

また、家族への世話の調査結果からは、具体的な支援を求めていることが示された。支援者による寄り添いも大切であるが、子どもが担っている家事や見守りを代替する支援の提供が必要とされている。障害者、高齢者福祉に関する機関との連携強化が望まれる。

「長岡市子育て・育ち“あい”プラン」を通じて醸成してきた、4つの“あい”を大切に、子育て当事者や若者の声が一層反映された「こども計画」が策定されることを期待したい。

長岡市子育て・育ち“あい”プラン  
策定に関するニーズ調査 報告書

---

令和6年3月

発行：長岡市教育委員会

編集：長岡市教育委員会 子ども未来部 子ども・子育て課  
〒940-0084

新潟県長岡市幸町2丁目1番1号

さいわいプラザ4階

TEL 0258-39-2300 FAX 0258-39-2605